

平成18年度  
福島県医療機能調査  
報告書

平成19年3月

福島県

# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
	1. 調査の目的 .....	1
	2. 調査の対象 .....	1
	3. 調査の期日 .....	1
	4. 主な調査項目 .....	1
	5. 調査の方法 .....	2
	6. 調査の集計・分析 .....	2
	7. 用語の説明 .....	2
	8. 報告書の見方 .....	2
<b>II</b>	<b>調査の回収状況</b> .....	<b>3</b>
<b>III</b>	<b>医療施設の概要</b> .....	<b>5</b>
	1. 医療施設の状況 .....	5
	(1) 病院 .....	5
	(1) 一般診療所 .....	5
<b>IV</b>	<b>病院の状況</b> .....	<b>7</b>
	1. 基礎項目 .....	7
	(1) 病床数、入院患者数.....	7
	(2) 併設施設の状況.....	9
	(3) 平均在院日数 .....	9
	(4) 従事者数 .....	10
	(5) 診療科目 .....	11
	(6) 社会保険診療等の状況.....	11
	(7) 承認等の状況 .....	12
	(8) 各種委員会の設置状況.....	12
	(9) 医療安全体制の整備状況.....	13
	(10) 医療費明細書の発行状況.....	13
	(11) 表示診療時間の状況.....	13
	(12) 予約診療の実施状況.....	14
	(13) 看護の実施状況.....	14
	(14) 看護職員の週休状況.....	15
	(15) 外来患者への処方数.....	15
	(16) ジェネリック医薬品の使用状況.....	15
	(17) 財団法人日本病院評価機構の認定状況.....	16

(18) セカンド・オピニオン外来の実施状況	16
(19) 保健事業等の実施状況	16
(20) 受動喫煙防止対策の状況	17
(21) 栄養食事指導の実施状況	17
(22) 職員のための院内保育サービスの実施状況	17
<b>2. がん対策について</b>	<b>18</b>
(1) 実施しているがんの部位別治療方法	18
(2) 院内がん登録の実施状況	20
<b>3. 脳卒中対策について</b>	<b>21</b>
(1) 受け入れ可能な脳卒中患者の状態	21
(2) 脳卒中急性期患者に対する検査・治療の対応状況	21
(3) 脳卒中急性期患者を受け入れる専用病棟等の設置状況	21
(4) 脳卒中の急性期リハビリテーションの実施状況	22
(5) 実施している脳卒中の治療方法	22
(6) 脳卒中回復期患者の受け入れ範囲	23
(7) 脳卒中患者がリハビリテーション目的で入院できる病床の有無	23
(8) 脳卒中維持期患者の受け入れ範囲	23
(9) 脳卒中維持期患者に対する訪問診療の実施状況	23
<b>4. 急性心筋梗塞対策について</b>	<b>24</b>
(1) 冠状動脈疾患専用集中治療室CCU等の設置状況	24
(2) 急性心筋梗塞患者に対する検査・治療の対応状況	24
(3) 実施している急性心筋梗塞の治療方法	24
<b>5. 糖尿病対策について</b>	<b>25</b>
(1) 糖尿病診療スタッフの配置状況	25
(2) 実施している糖尿病の治療方法	25
(3) 人工透析を必要とする糖尿病性腎症、 糖尿病性網膜症、糖尿病性足病変への対応	25
(4) 糖尿病教育入院・教室（日帰り）の実施状況	26
(5) 糖尿病指導の実施状況	26
(6) 関係機関との連携状況	27
<b>6. 周産期医療について</b>	<b>27</b>
(1) 周産期医療の状況	27
<b>7. 小児医療について</b>	<b>27</b>
(1) 小児科専用病床の設置状況	27
(2) 時間外の小児救急診療への対応	28
(3) 時間外の小児救急診療における対応医師	28
<b>8. 救急医療について</b>	<b>29</b>
(1) 時間外救急診療への対応	29
(2) 救急告示の有無	29
(3) 救急医療体制	29

9.	災害医療について	30
	(1) 災害対応の状況	30
10.	在宅医療について	31
	(1) 在宅医療サービスの実施状況	31
	(2) 在宅医療サービスで対応可能な医療行為	31
11.	地域における連携状況について	32
	(1) 患者の受け入れ・紹介体制	32
	(2) 地域連携退院時共同指導の実施状況	32
	(3) 地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議への参画状況	32
	(4) 紹介医師との相互連携状況	33
	(5) 診療所への後方支援体制	33
12.	リハビリテーション医療について	34
	(1) リハビリテーション医療の実施状況	34
	(2) リハビリテーション医療の充実	34
	(3) 今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類	34
13.	緩和ケアについて	35
	(1) 緩和ケアの実施状況	35
	(2) 緩和ケアの実施に関する課題	35
	(3) 緩和ケアの実施に関する課題について今後の予定	36
14.	精神医療について	36
	(1) 精神医療の対応状況	36
15.	感染症対策について	37
	(1) 感染症医療の対応状況	37
16.	臓器等移植対策について	37
	(1) 臓器等移植医療の対応状況	37
17.	電子システムについて	38
	(1) 電子カルテの導入状況	38
	(2) レセプト電算システムの導入状況	38
	(3) ホームページの開設状況	38
	(4) 遠隔医療システムの実施状況	39
	(5) オーダリングシステムの導入状況	39
18.	難病対策について	40
	(1) 対応可能な特定疾患（難病）	40
<b>V</b>	<b>一般診療所の状況</b>	<b>41</b>
1.	基礎項目	41
	(1) 診療科目	41
	(2) 社会保険診療等の状況	41
	(3) 併設施設の状況	42
	(4) 診療所の種類	42

(5) 期間診療所等	43
(6) 表示診療時間の状況	43
(7) 表示診療時間外の対応	43
(8) 在宅医療サービスの実施状況	44
(9) 従事者数	45
(10) 看護職員等の採用	45
<b>2. 一般診療所の状況</b>	<b>46</b>
(1) 糖尿病診療スタッフの配置状況	46
(2) 糖尿病教育入院及び糖尿病教室（日帰り）の実施状況	46
(3) 糖尿病指導の実施状況	46
(4) 糖尿病にかかる関係機関との連携	47
(5) 周産期医療の状況	47
(6) 精神医療の状況	47
(7) リハビリテーション医療の実施状況	48
(8) 災害対応の状況	48
(9) 医療機関との連携の状況	49
(10) 外来患者への処方数	49
(11) ジェネリック医薬品	50
(12) その他の状況	50
(13) 電子カルテシステムの導入状況	51
(14) レセプト処理用コンピュータの使用状況	51
(15) ホームページの開設状況	51
(16) 遠隔医療システムの導入状況	52
(17) 受動喫煙防止対策の状況	52

## **VI 調査票** **53**

1. 福島県医療機能調査票（病院）
2. 福島県医療機能調査票（一般診療所）

## I 調査の概要

---

---

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

福島県内の医療施設の診療機能及び整備の状況を把握し、医療供給体制の実態を明らかにするために実施するものであり、本県保健医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査の対象

福島県内の全医療施設を対象とした。

ただし、介護老人福祉施設内診療所、事業所内診療所、専ら検診事業を行う診療所は、本施設の対象から除外した。

## 3. 調査の期日

調査期間：平成19年1月22日～平成19年2月9日（3月回収分までを有効とする）

※平成19年1月1日（月）現在で実施

## 4. 主な調査項目

### （1）病 院

1. 併設施設の状況	19. 職員のための院内保育サービスの実施状況
2. 病床数・入院患者数・平均在院日数	20. がん対策
3. 従事者数	21. 脳卒中対策
4. 診療科目・診療時間	22. 急性心筋梗塞対策
5. 社会保険診療等の状況	23. 糖尿病対策
6. 承認等の状況	24. 周産期医療について
7. 各種委員会の設置状況	25. 小児医療について
8. 医療安全体制	26. 救急医療について
9. 医療費明細書の発行状況	27. 災害医療について
10. 医療設備	28. 在宅医療について
11. 看護体制	29. 地域における連携について
12. 外来患者への処方数	30. リハビリテーション医療について
13. ジェネリック医薬品	31. 緩和ケアについて
14. 財団法人日本病院評価機構の認定	32. 精神医療について
15. セカンド・オピニオン外来の実施	33. 感染症対策について
16. 保健事業等の実施	34. 臓器移植対策について
17. 受動喫煙防止対策の状況	35. 電子システムについて
18. 栄養食事指導	36. 難病対策について

### （2）一般診療所

1. 従事者数	10. 栄養食事指導
2. 診療科目・診療時間	11. 糖尿病対策
3. 社会保険診療等の状況	12. 周産期医療について
4. 医療設備	13. 災害医療について
5. 看護体制	14. 在宅医療について
6. 外来患者への処方数	15. 地域における連携について
7. ジェネリック医薬品	16. リハビリテーション医療について
8. セカンド・オピニオン外来の実施	17. 精神医療について
9. 受動喫煙防止対策の状況	18. 電子システムについて

## 5. 調査の方法

福島県が郵送によるアンケートを実施。

## 6. 調査の集計・分析

株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

## 7. 用語の説明

### (1) 医療施設の種類

病院 医師又は歯科医師が、医業又は歯科医業を行う場所であって、患者 20 人以上の収容施設を有するもの

一般診療所 医師又は、歯科医師が、医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く）であって、患者の収容施設を有しないもの又は、患者 19 人以下の収容施設を有するもの

### (2) 病院の種類

精神病院 病院のうち、精神病棟のみを有する病院

一般病院 上記以外の病院

### (3) 病床の種類

精神病床 病院の病床のうち、精神疾患を有する者を入院させるための病床

感染症病床 病院の病床のうち、感染症の予防及び、感染症の患者に対する医療に関する法律が規定する 1 類感染症・2 類感染症・指定感染症・新感染症の所見がある者を入院させるための病床

結核病床 病院の病床のうち、結核の患者を入院させるための病床

療養病床 病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床及び結核病床以外の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床

一般病床 病院又は診療所の病床のうち、精神病床、感染症病床、結核病床及び療養病床以外の病床

## 8. 報告書の見方

- ・調査数（n = number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100% を超える。
- ・調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。



## II 調査の回収状況

---

---

## II 調査の回収状況

調査票の回収は下表のとおり、病院は146施設全て、一般診療所は対象数1,244施設のうち1,111施設から回収した。回収率は病院で100.0%、一般診療所で89.3%となった。

\* 図表1 調査票回収状況

医療施設の種類	対象数	回収数			回収率(%)
		計	休止及び 1年以上休診中	通常診療及び 1年未満休診中	
病 院	146	146	0	146	100.0
一般診療所	1,244	1,111	6	1,105	89.3
合 計	1,390	1,257	6	1,251	90.4

※ 回収した施設のうち、休止及び1年以上休診中の施設は「社会保険診療等の状況」以外の集計からは除く。



### Ⅲ 医療施設の概要

---

---

## Ⅲ 医療施設の概要

### 1. 医療施設の状況

#### (1) 病院

福島県内の病院 146 施設のうち、一般病院が 123 施設、精神病院は 23 施設となっている。二次医療圏別では、県北・県中がともに 34 施設と最も多く、次いで、いわき市（29 施設）、会津（19 施設）となっている。

また、病床規模別にみると一般病床では 100～199 床が 43 施設と最も多く、次いで 50～99 床（37 施設）となっている。これに対し、精神病床では 200～299 床（10 施設）が最も多くなっている。

#### (2) 一般診療所

一般診療所について二次医療圏別にみると、県内にある診療所 1,111 施設のうち、県北の 312 施設が最も多く、次いで県中（303 施設）、いわき市（197 施設）の順となっている。

\* 図表2 病院区分別にみた二次医療圏ごとの施設数 \*

二次医療圏別	病院区分		計	構成割合 (%)
	一般病院	精神病院		
合計	123	23	146	100.0
県北	26	8	34	23.3
県中	30	4	34	23.3
県南	12	1	13	8.9
会津	18	1	19	13.0
南会津	1	0	1	0.7
相双	13	3	16	11.0
いわき市	23	6	29	19.9

\* 図表3 病院区別にみた病床規模ごとの施設数 \*

病床規模別	病 院 区 分		計	構成割合 (%)
	一般病院	精神病院		
合 計	123	23	146	100.0
20～49床	10	0	10	6.8
50～99床	37	0	37	25.3
100～199床	43	8	51	34.9
200～299床	13	10	23	15.8
300～499床	14	3	17	11.6
500～699床	1	2	3	2.1
700床以上	5	0	5	3.4

\* 図表4 二次医療圏別にみた一般診療所数 \*

二次医療圏別	施設数	構成割合 (%)
合 計	1,111	100.0
県北	312	28.1
県中	303	27.3
県南	67	6.0
会津	131	11.8
南会津	10	0.9
相双	91	8.2
いわき市	197	17.7

## IV 病院の状況

---

---

## IV 病院の状況

### 1. 基礎項目

#### (1) 病床数、入院患者数

平成19年1月1日現在の病床数は、一般病床17,096床、精神病床7,730床、結核病床241床、感染症病床36床、療養病床（医療保険適用）3,643床、療養病床（介護保険適用）877床となっている。

病床の利用率は、療養病床（医療保険適用）が84.2%、療養病床（介護保険適用）が87.8%と療養病棟で高く、精神病床でも86.9%の利用率になっている。また、一般病棟の利用率は71.5%だった。

病床利用率を二次医療圏別にみると、一般病床では、相双・県南・いわき市で利用率が高くなっている。一方、南会津では、合計の病床利用率71.5%を大きく下回る39.9%となっている。精神病床では相双・いわき市で高く、療養病床では相双・県北で高い。

\* 図表5 病床区分別 入院患者数 \*

病床区分	平成18年調査			平成13年調査			増 減		
	病床数 (床)	入院患者数 (人)	病床利用率 (%)	病床数 (床)	入院患者数 (人)	病床利用率 (%)	病床数 (床)	入院患者数 (人)	病床利用率 (%)
合 計	29,623	22,826	77.1	31,525	24,544	77.9	△ 1,902	△ 1,718	△ 0.8
一般病床	17,096	12,231	71.5	22,787	17,054	74.8	△ 5,691	△ 4,823	△ 3.3
精神病床	7,730	6,716	86.9	8,377	7,402	88.4	△ 647	△ 686	△ 1.5
結核病床	241	41	17.1	326	83	25.5	△ 85	△ 42	△ 8.4
感染症病床	36	0	0.0	34	5	14.7	2	△ 5	△ 14.7
療養病床 (医療保険適用)	3,643	3,068	84.2	-	-	-	-	-	-
療養病床 (介護保険適用)	877	770	87.8	-	-	-	-	-	-

注1：平成13年入院患者数は福島県患者調査の結果を使用している。



\* 図表6 二次医療圏・病床区分別 病床利用率 \*

二次医療圏別		病床区分						合 計
		一般病床	精神病床	結核病床	感染病床	療養病床 (医療保険適用)	療養病床 (介護保険適用)	
県 北	施 設 数	25	10	2	2	9	2	(34)
	病 床 数	4,351	1,631	26	8	399	68	6,483
	入院患者数	2,997	1,445	12	0	384	66	4,905
	病床利用率	68.9	88.6	45.7	0.0	96.3	97.1	75.7
県 中	施 設 数	24	5	3	1	14	6	(34)
	病 床 数	4,695	1,989	94	6	842	342	7,968
	入院患者数	3,330	1,662	6	0	645	269	5,912
	病床利用率	70.9	83.5	6.8	0.0	76.5	78.7	74.2
県 南	施 設 数	11	3	1	1	7	4	(13)
	病 床 数	1,137	568	25	4	323	63	2,120
	入院患者数	855	404	2	0	280	50	1,590
	病床利用率	75.2	71.0	7.2	0.0	86.6	79.7	75.0
会 津	施 設 数	13	6	1	1	9	5	(19)
	病 床 数	2,649	1,333	50	8	638	224	4,902
	入院患者数	1,877	1,139	6	0	568	223	3,812
	病床利用率	70.8	85.4	12.2	0.0	89.0	99.6	77.8
南会津	施 設 数	1	0	0	0	0	0	(1)
	病 床 数	150	0	0	0	0	0	150
	入院患者数	60	0	0	0	0	0	60
	病床利用率	39.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.9
相 双	施 設 数	12	5	0	1	7	3	(16)
	病 床 数	1,368	901	0	4	393	47	2,713
	入院患者数	1,047	848	0	0	376	48	2,319
	病床利用率	76.5	94.1	0.0	0.0	95.7	103.0	85.5
いわき市	施 設 数	18	7	1	1	15	4	(29)
	病 床 数	2,746	1,308	46	6	1,048	133	5,287
	入院患者数	2,064	1,219	15	0	816	113	4,228
	病床利用率	75.2	93.2	32.6	0.0	77.9	85.2	80.0
合 計	施 設 数	104	36	8	7	61	24	(146)
	病 床 数	17,096	7,730	241	36	3,643	877	29,623
	入院患者数	12,231	6,716	41	0	3,068	770	22,826
	病床利用率	71.5	86.9	17.1	0.0	84.2	87.8	77.1

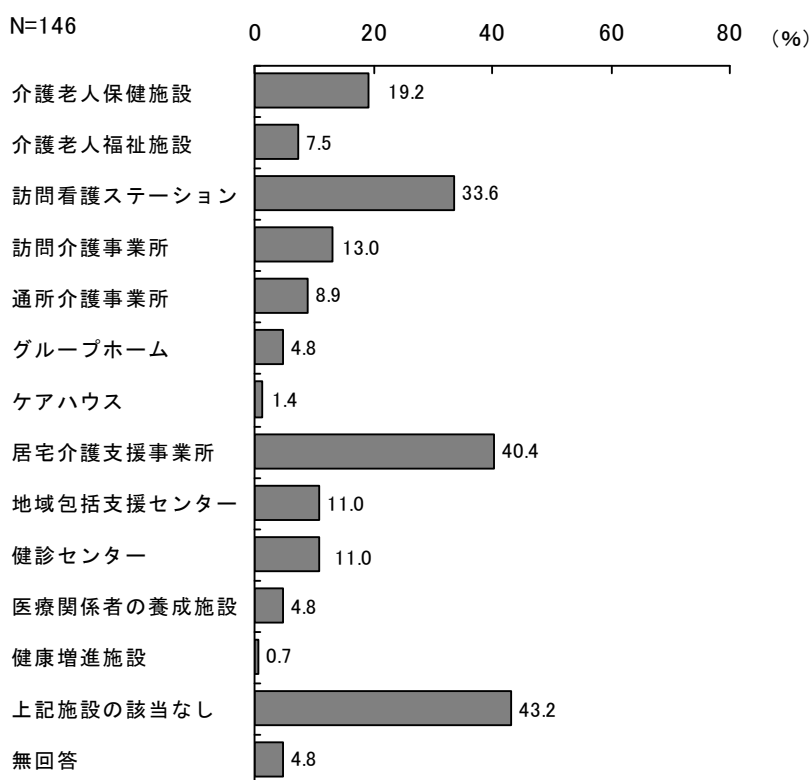
注1：合計欄中の（）内施設数は、病床区分による重複を除いた施設実数を計上している。

## (2) 併設施設の状況

施設の併設状況をみると、「居宅介護支援事業所」が40.4%と最も多く、次いで「訪問看護ステーション」(33.6%)が多くなっている。

また、該当する施設はないと回答した施設も43.2%と多い。

\* 図表7 併設施設の状況 \*



## (3) 平均在院日数

病床区分ごとの平均在院日数をたずねたところ、精神病床で666.3日と最も長かった。以下、「療養病床（介護保険適用）」(486.8日)、「療養病床（医療保険適用）」(227.2日)となっている。

\* 図表8 病床規模別にみた病床区分ごとの平均在院日数 \*

(単位：日)

	合計	20～49床	50～99床	100～199床	200～299床	300～499床	500～699床	700床以上
全病床合計	199.2	70.7	137.2	270.0	304.6	109.2	231.0	22.1
精神病床	666.3	0.0	0.0	1198.2	597.0	316.8	317.9	157.0
感染症病床	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
結核病床	89.1	0.0	0.0	188.0	0.0	93.4	0.0	51.8
療養病床（医療保険適用）	227.2	199.1	267.8	223.5	152.5	109.5	336.8	92.2
療養病床（介護保険適用）	486.8	0.0	792.3	338.5	340.8	0.0	185.8	108.3
一般病床	42.6	18.6	67.2	48.9	19.2	19.1	45.6	19.3

## (4) 従事者数

県内の病院従事者数は下表のとおりとなった。

常勤従事者の採用状況をみると、ほとんどの職種で内定人数が募集人数に達しておらず、医師に関しては採用内定人数が募集人数の約3割にとどまっている。

\* 図表9 病院の従事者数 \*

(単位：人)

	常勤	非常勤	常勤採用 募集人数	うち採用 内定人数
合計	27,107	1,169.8	1,639	1,016
01 医師	1,932	125.8	172	51
循環器専門医	55	-	-	-
糖尿病専門医	32	-	-	-
小児科専門医	56	-	-	-
小児外科専門医	5	-	-	-
脳卒中・神経内科・ 脳神経外科専門医のいずれか	80	-	-	-
産婦人科専門医	56	-	-	-
救急科専門医	16	-	-	-
リハビリテーション科専門医	16	-	-	-
02 歯科医師	164	13.7	4	3
03 薬剤師	564	21.5	51	24
04 保健師	191	0.4	18	21
05 助産師	334	9.5	33	13
06 看護師	9,150	384.1	781	480
07 准看護師	4,155	117.4	138	78
08 理学療法士	376	7.3	97	65
09 作業療法士	299	3.0	83	63
10 言語聴覚士	86	2.3	22	17
11 視能訓練士	40	2.4	2	1
12 歯科衛生士	84	5.9	4	4
13 歯科技工士	23	0.3	0	0
14 社会福祉士	53	0.0	5	8
15 精神保健福祉士	95	0.0	12	10
16 診療放射線技師・診療X線技師	583	9.8	17	17
17 臨床検査技師・衛生検査技師	813	17.9	19	17
18 臨床工学技師	197	2.0	18	16
19 管理栄養士	296	3.0	15	9
20 栄養士	119	2.4	0	1
21 あん摩マッサージ指圧師等	110	1.0	0	0
22 臨床心理士	60	10.2	4	4
23 健康運動指導士	5	0.0	0	0
24 健康運動実践指導者	2	0.0	1	1
25 医療社会事業従事者	110	5.6	4	2
26 事務職員	2,678	104.4	35	33
27 その他の職員	4,588	319.9	104	78

## (5) 診療科目

病院施設で診療している科目をみると、「内科」を診療科目としている施設が調査施設 146 施設のうち 131 施設と最も多かった。以下、「外科」「整形外科」（ともに 92 施設）、精神科（55 施設）となっている。

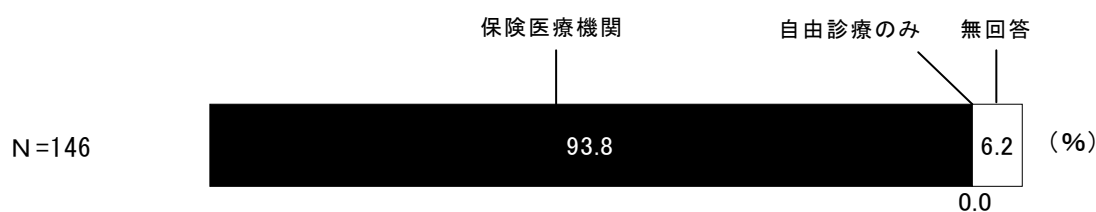
\* 図表 10 病院の診療科目 \*

診療科目	施設数	診療科目	施設数
01 内 科	131	19 小 児 外 科	7
02 呼 吸 器 科	32	20 産 婦 人 科	29
03 消 化 器 科	51	21 産 科	2
04 循 環 器 科	47	22 婦 人 科	11
05 小 児 科	47	23 眼 科	51
06 精 神 科	55	24 耳 鼻 咽 喉 科	43
07 神 経 科	9	25 気 管 食 道 科	3
08 神 経 内 科	27	26 皮 膚 科	46
09 心 療 内 科	13	27 泌 尿 器 科	49
10 ア レ ル ギ ー 科	4	28 性 病 科	1
11 リ ウ マ チ 科	10	29 肛 門 科	10
12 外 科	92	30 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	34
13 整 形 外 科	92	31 放 射 線 科	26
14 形 成 外 科	23	32 麻 酔 科	34
15 美 容 外 科	1	33 歯 科	26
16 脳 神 経 外 科	31	34 矯 正 歯 科	3
17 呼 吸 器 外 科	5	35 小 児 歯 科	1
18 心 臓 血 管 外 科	23	36 歯 科 口 腔 外 科	11

## (6) 社会保険診療等の状況

社会保険診療の状況をみると、「保険医療機関」となっている施設は全体の 93.8%で、全体の 9割以上を占めている。回答があった施設の中では「自由診療のみ」行っている施設はなかった。

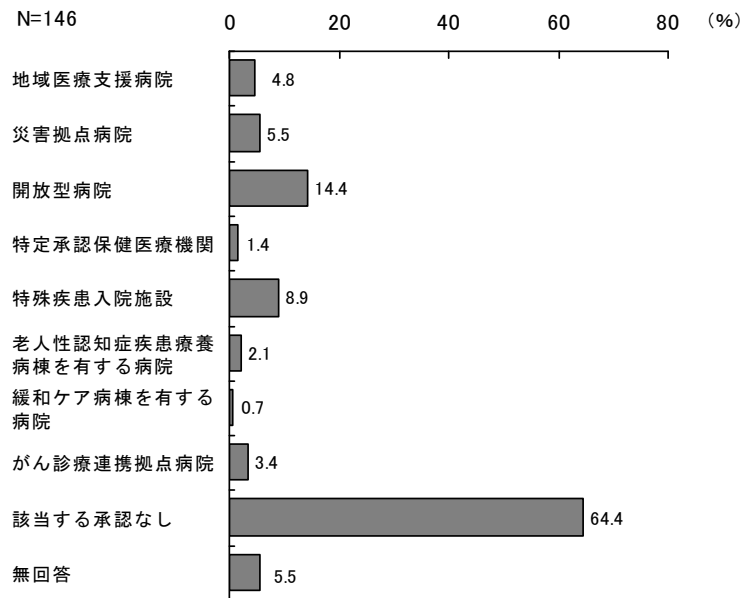
\* 図表 11 社会保険診療の状況 \*



(7) 承認等の状況

承認等の状況を見ると、「開放型病院」との回答が 14.4%と最も多い。しかし、該当する承認はないと回答した施設は 64.4%であり、それ以外の何らかの承認を得ている項目でも回答は2割以下である。

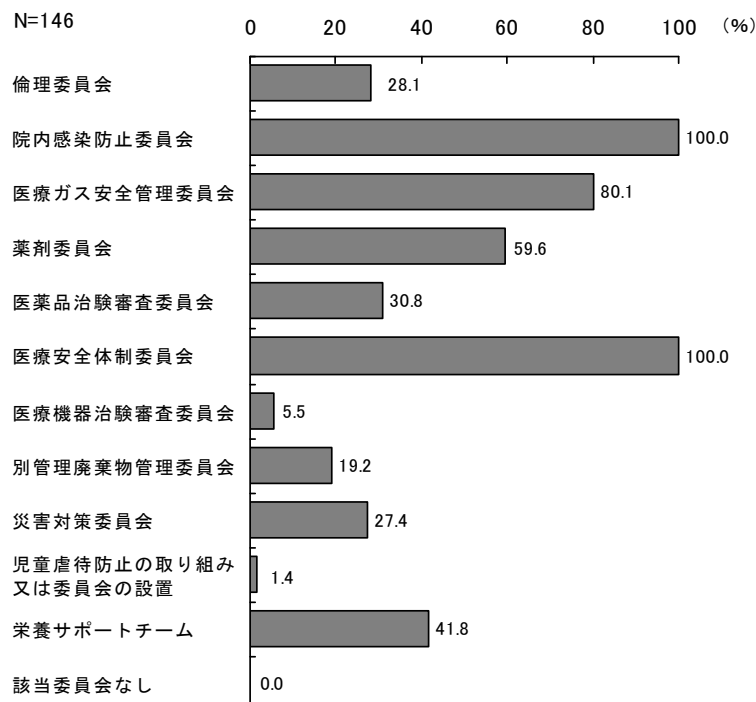
\* 図表 12 承認の状況 \*



(8) 各種委員会の設置状況

各種委員会の設置状況を見ると、「院内感染防止委員会」「医療安全体制委員会」が共に 100.0%とすべての施設で設置されている。また、「医療ガス安全管理委員会」との回答も 80.1%と多く、院内の安全に関する委員会が多く設置されている。

\* 図表 13 各種委員会の状況 \*



## (9) 医療安全体制の整備状況

医療安全体制の整備状況をみると、安全管理に関する項目ではほとんどの施設が体制の整備を行っている。一方で、安全管理を「部門」として整備している施設は全体の約6割となっている。

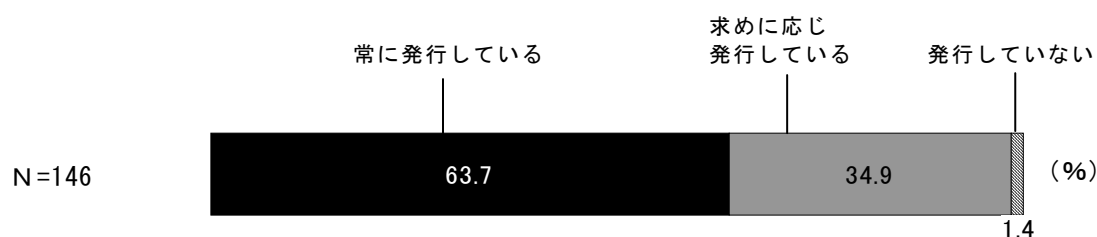
\* 図表 14 医療安全体制の整備状況 \*

	有	無	無回答
安全管理のための委員会	146	0	0
安全管理のための指針	145	1	0
安全管理の責任者	145	1	0
安全管理のための医療事故等の院内報告制度	146	0	0
安全管理のための職員研修	144	2	0
安全管理部門	93	52	1
患者のための相談窓口	117	28	1

## (10) 医療費明細書の発行状況

医療費明細書の発行状況をみると、「常に発行している」施設が63.7%と最も多く、「求めに応じ発行している」(34.9%)とあわせると明細書を発行している施設は全体の98.6%を占める。

\* 図表 15 医療費明細書の発行状況 \*



## (11) 表示診療時間の状況

表示診療時間の状況をみると、平日（月～金）の午前は141～142施設とほとんどの病院が診療を行っている。これに対して、午後の診療を行っている病院は120～133施設と午前よりも約10～20施設程少なくなっている。18時以降の診療に関しては、8～10施設のみである。

また、休日（土・日・祝日）は診療時間が表示されていない施設が多く、土曜の午前（106施設）、午後（31施設）以外の診療時間では4～10施設のための診療となっている。

\* 図表 16 表示診療時間の状況 \*

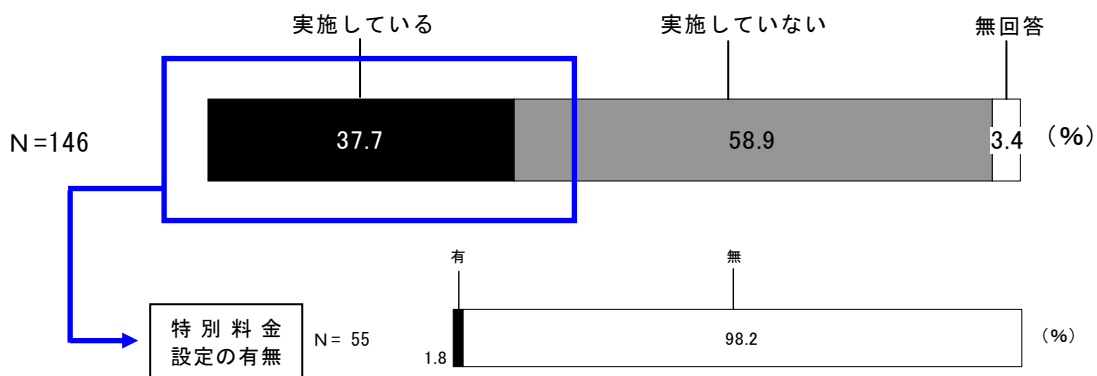
	月	火	水	木	金	土	日	休日
午前	142	141	141	141	142	106	10	8
午後	133	133	127	120	130	31	5	5
18時以降	9	9	10	8	9	7	4	4
無回答	3	4	4	4	3	39	136	138

(12) 予約診療の実施状況

予約診療の実施状況を見ると、「実施している」施設は37.7%で、全体の半数以上の58.9%の施設が予約診療は「実施していない」と回答した。

また、「実施している」と回答した施設のうち特別料金の設定が「有」の施設は1.8%のみとなっている。

\* 図表 17 予約診療の実施状況 \*



(13) 看護の実施状況

看護配置数をみると、精神病床で15:1、一般病床では10:1が最も多い。看護補助配置については精神病床で10:1、一般病床では看護配置と同様に10:1が最も多くなっている。

\* 図表 18 基本入院料(看護配置)基準別施設数 \*

	4:1	5:1	6:1	7:1	8:1	10:1	13:1	15:1	18:1	20:1	25:1	30:1
精神病棟								25	3	1	1	
結核病棟				1		5						
一般病棟	1			15		33	16	32		1		
療養病棟 (医療保険適用)	3	9			1	1		3		5	37	
療養病棟 (介護保険適用)	2	2	12								2	3

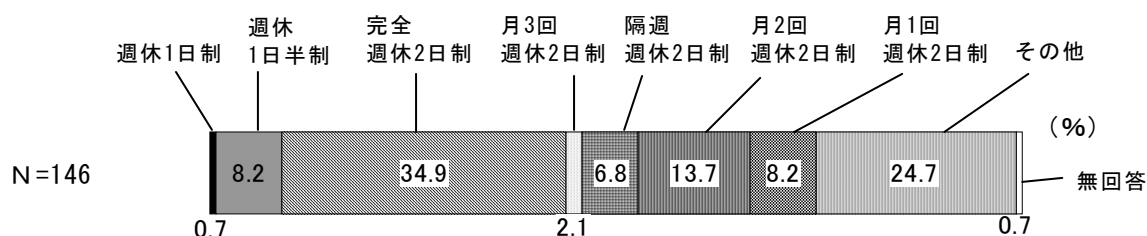
\* 図表 19 基本入院料(看護補助配置)基準別施設数 \*

	4:1	5:1	6:1	7:1	8:1	10:1	13:1	15:1	17:1	20:1	25:1	30:1
精神病棟			6			13		6				
結核病棟			1									
一般病棟	1		13			28		4	1			1
療養病棟 (医療保険適用)	7	7								5	28	3
療養病棟 (介護保険適用)	13	2	1							2	25	1

## (14) 看護職員の週休状況

看護職員の週休状況をみると、「完全週休2日制」が最も多く34.9%で全体の3割強の施設がこの体制をとっている。一方、週休2日制の体制をとる施設が多い中、「その他」の体制をとる施設も全体の24.7%とやや多い。

\* 図表 20 看護職員の週休状況 \*



## (15) 外来患者への処方数

外来患者の処方数を病床規模別にみると、すべての病床規模で院外処方せん交付数が、院内処方数を上回った。

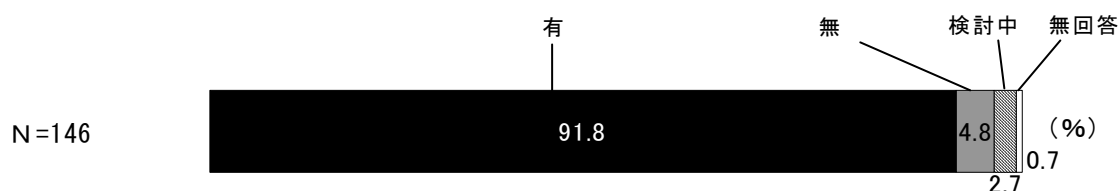
\* 図表 21 病床規模別処方数 \*

病床規模	施設数	院内処方数	院外処方せん交付数
合計	146	157,516	298,707
20～49床	10	5,768	6,777
50～99床	37	12,156	44,007
100～199床	51	47,306	77,574
200～299床	23	35,188	35,762
300～499床	17	30,798	77,849
500～699床	3	4,341	6,981
700床以上	5	21,959	49,757

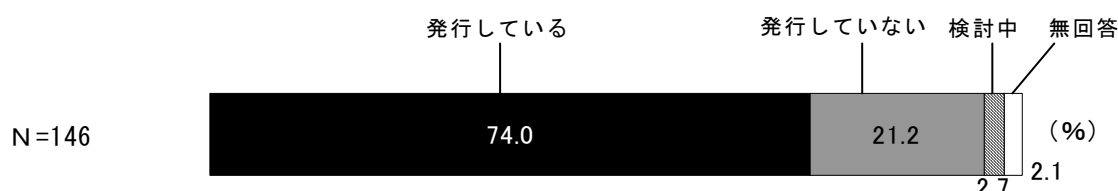
## (16) ジェネリック医薬品の使用状況

ジェネリック医薬品の使用状況をみると、「有」と回答した施設が最も多く、91.8%と全体の9割を占めている。院外処方に関しても「発行している」(74.0%)との回答が最も多く、ジェネリック医薬品の使用割合は高い。

\* 図表 22 ジェネリック医薬品の使用状況



\* 図表 23 ジェネリック医薬品院外処方せん発行状況 \*

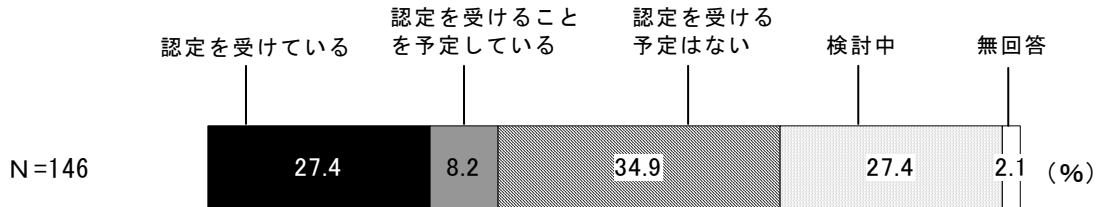




(17) 財団法人日本病院評価機構の認定状況

日本病院評価機構の認定状況を見ると、「認定を受ける予定はない」との回答が 34.9%と最も多く、現在「認定を受けている」施設は全体の2割半ばとなっている。

\* 図表 24 日本病院評価機構の認定状況 \*



(18) セカンド・オピニオン外来の実施状況

セカンド・オピニオン外来の実施状況を見ると、実施していない施設が全体の7割以上を占めており、実施している施設は2割程度にとどまっている。

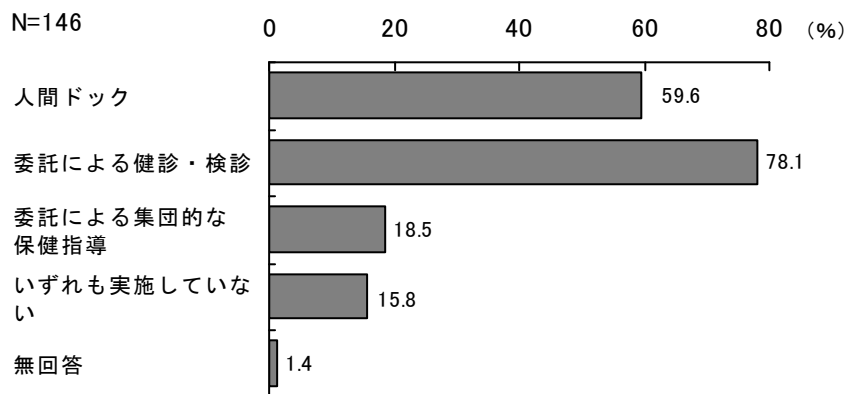
\* 図表 25 セカンドオピニオン外来の実施状況 \*



(19) 保健事業等の実施状況

保健事業の実施状況を見ると、「委託による健診・検診」との回答が 78.1%と最も多く、次いで「人間ドック」が 59.6%となっている。

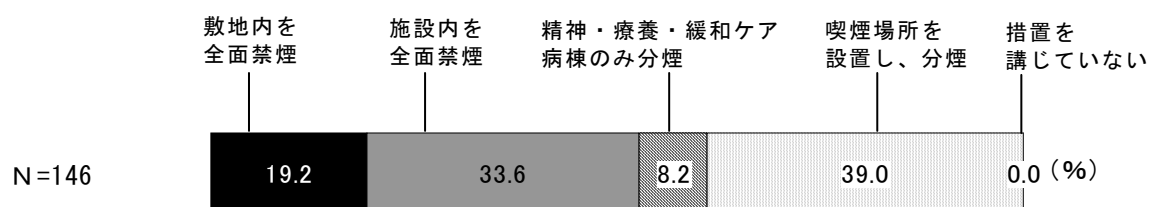
\* 図表 26 保健事業の実施状況 \*



## (20) 受動喫煙防止対策の状況

受動喫煙防止対策の状況を見ると、「喫煙場所を設置し、分煙」をしているとの回答が 39.0%と最も多く、次いで「施設内を全面禁煙」が 33.6%となっている。また「敷地内を全面禁煙」を足すと、『施設の中が全面禁煙』になっている割合は全体の約半数を占めている。また、受動喫煙に対して何ら措置を講じていないと回答した施設はなく、受動喫煙の防止の取り組みは十分と言える。

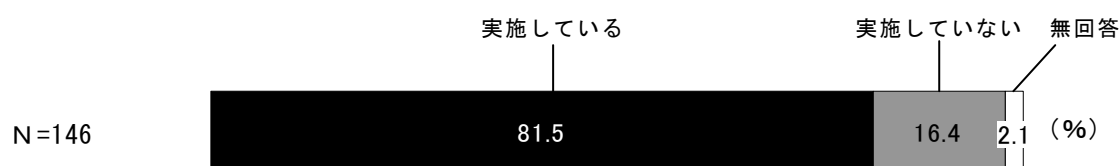
\* 図表 27 受動喫煙防止対策の状況 \*



## (21) 栄養食事指導の実施状況

栄養食事指導の実施状況を見ると、「実施している」と回答した施設は 81.5%で全体の約 8 割が指導を行っている事がわかる。

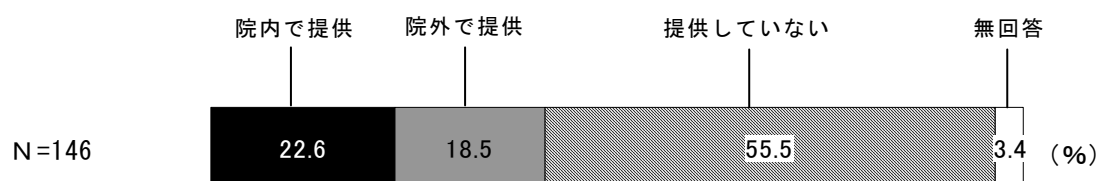
\* 図表 28 栄養食事指導の実施状況 \*



## (22) 職員のための院内保育サービスの実施状況

院内での保育サービスの実施状況を見ると、「提供していない」と回答した施設が 55.5%と最も多い。「院内で提供」している施設は 22.6%で、「院外で提供」しているとあわせた『保育サービスを提供している』施設は全体の約 4 割となっている。

\* 図表 29 職員のための院内保育サービスの実施状況 \*



## 2. がん対策について

## (1) 実施しているがんの部位別治療方法

がんの治療方法をみると、悪性リンパ腫・白血病を除くすべての項目で、手術療法よりも化学療法が多く実施されている。治療方法を部位別にみると、手術療法では「胃がん」が最も多く 45 施設、次いで「大腸がん」(43 施設)となっている。

また、化学療法でも手術療法と同様に「胃がん」が最も多く 65 施設、次いで「大腸がん」(62 施設)となっている。

\* 図表 30 部位別がん治療実施施設数 \*

部位別がん	治療方法	実施状況		
		当院の常勤 スタッフで実施	外部の応援を 求めて実施	実施していない
01 脳腫瘍	手術療法	18	1	83
	うち経耳的聴神経腫瘍摘出術	4	3	89
	うち経鼻的下垂体腫瘍摘出術	12	3	82
	化学療法	23	1	80
	放射線療法	8	0	93
02 咽頭がん	手術療法	7	2	90
	化学療法	16	1	84
	放射線療法	6	2	91
03 舌がん	手術療法	9	2	89
	化学療法	17	0	85
	放射線療法	6	2	92
04 喉頭がん	手術療法	7	2	90
	化学療法	15	1	85
	放射線療法	7	2	90
05 甲状腺がん	手術療法	26	7	69
	化学療法	32	0	71
	放射線療法	8	2	92
06 乳がん	手術療法	36	13	55
	うち乳癌冷凍凝固摘出術	2	0	97
	乳房再建術	12	6	84
	化学療法	52	1	50
	放射線療法	9	1	93
07 肺がん	手術療法	24	6	75
	うち胸腔鏡による悪性腫瘍切除術	14	8	78
	化学療法	51	1	56
	放射線療法	9	0	94
08 食道がん	手術療法	38	6	59
	うち早期食道悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術	32	1	65
	表在性食道悪性腫瘍光線力学療法	4	1	95
	化学療法	55	1	49
	放射線療法	9	1	92
09 胃がん	手術療法	45	16	45
	うち内視鏡による悪性腫瘍切除術	40	7	53
	うち腹腔鏡による胃切除及び全摘術	18	9	74
	表在性早期胃癌光線力学療法	8	3	91
	化学療法	65	0	44
	放射線療法	9	2	92

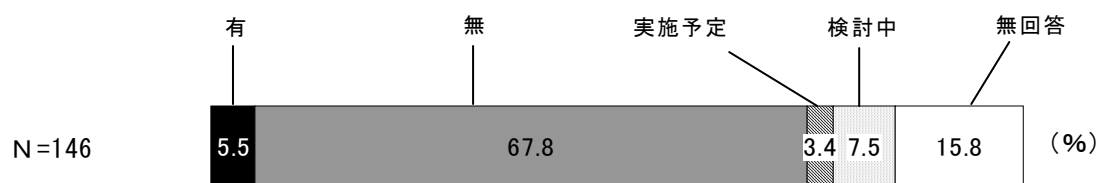
\* 図表 30 部位別がん治療実施施設数(続き) \*

部位別がん	治療方法	実施状況		
		当院の常勤 スタッフで実施	外部の応援を 求めて実施	実施していない
10 胆のうがん・胆管 がん	手術療法	34	10	58
	うち腹腔鏡による胆のう摘出術	33	8	59
	化学療法	56	1	49
	放射線療法	9	1	91
11 肝がん	手術療法	30	4	69
	エタノールの局所注入	28	4	69
	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法	16	3	81
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	21	2	78
	肝動脈塞栓術	29	2	70
	化学療法	54	1	50
	放射線療法	9	1	91
12 膵臓がん	手術療法	31	5	66
	化学療法	58	1	47
	放射線療法	9	1	91
13 大腸がん	手術療法	43	18	43
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	26	7	68
	うち内視鏡による悪性腫瘍切除術	43	7	51
	化学療法	62	1	43
	放射線療法	10	1	91
14 腎がん	手術療法	20	5	75
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	9	2	85
	化学療法	38	0	64
	放射線療法	9	0	91
15 膀胱がん	手術療法	23	7	70
	うち経尿道的切除術	26	4	68
	化学療法	39	0	63
	放射線療法	9	0	91
16 前立腺がん	手術療法	19	6	76
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	4	4	89
	化学療法	48	0	58
	放射線療法	8	0	93
17 子宮がん	手術療法	14	13	76
	レーザー照射治療	4	1	96
	光線力学療法	1	0	100
	化学療法	31	0	73
	放射線療法	7	2	92
18 卵巣がん	手術療法	15	9	79
	化学療法	33	0	72
	放射線療法	7	1	95
19 悪性リンパ腫	手術療法	16	3	81
	放射線療法	7	1	92
	骨髄移植等の移植治療	4	0	96
20 白血病	化学療法	19	0	82
	骨髄移植等の移植治療	4	0	95

(2) 院内がん登録の実施状況

院内がん登録の実施状況をみると、「無」との回答が67.8%と最も多く、「有」と回答した施設は全体の1割にも満たない5.5%だった。

\* 図表 31 院内がん登録の施状況 \*



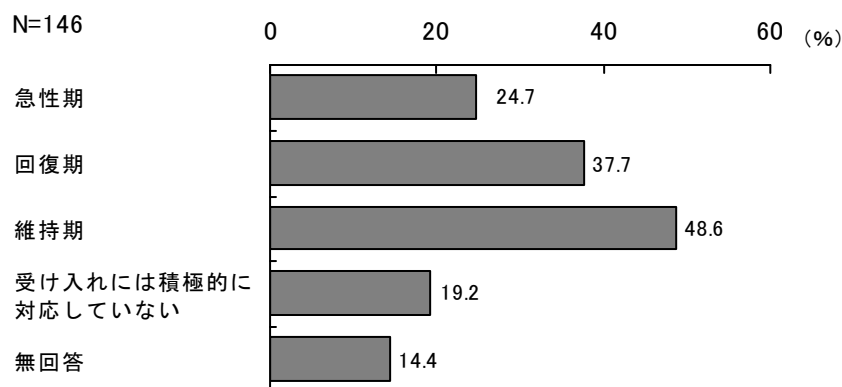
### 3. 脳卒中対策について

#### (1) 受け入れ可能な脳卒中患者の状態

受け入れ可能な脳卒中の状態をみると、維持期患者が全体の48.6%と最も多い。

また、全体の約2割の施設で脳卒中患者の受け入れには積極的に対応していないと回答している。

\* 図表 32 受け入れ可能な脳卒中患者の状態 \*



#### (2) 脳卒中急性期患者に対する検査・治療の対応状況

脳卒中急性期患者に対する検査・治療の対応状況をみると、通常の診療時間帯では「いつでも対応可能」としている施設が、放射線等機器検査（MRI・CT等）で75施設、臨床検査で68施設、治療（開頭手術・脳血管手術等）では20施設となっている。診療時間外では、放射線等機器検査（MRI・CT等）・臨床検査は「いつでも対応可能」としている施設が「対応不可」施設を上回っているが、治療（開頭手術・脳血管手術等）では「対応不可」が対応可能な施設を上回っている。

\* 図表 33 脳卒中急性期患者に対する検査・治療の対応状況 \*

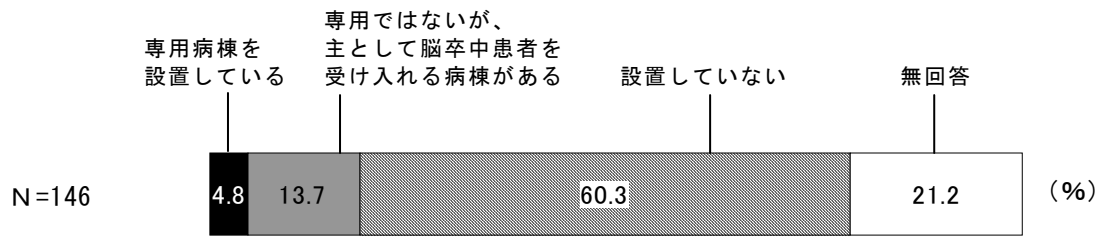
	通常時間帯		診療時間外		
	いつでも対応可能	曜日・時間帯により可能	いつでも対応可能	曜日・時間帯により可能	対応不可
01 放射線等機器検査 (MRI・CT等)	75	11	46	26	29
02 臨床検査	68	13	44	25	31
03 治療 (開頭手術・脳血管手術等)	20	8	18	4	69

#### (3) 脳卒中急性期患者を受け入れる専用病棟等の設置状況

専用病床の設置状況をみると、「設置していない」と回答した施設が60.3%と最も多い。

「専用病棟を設置している」と回答した施設数は全体の4.8%にとどまり、「専用ではないが、主として脳卒中患者を受け入れる病棟がある」とあわせても、急性期患者の受入病棟を設置している施設は18.5%となっている。

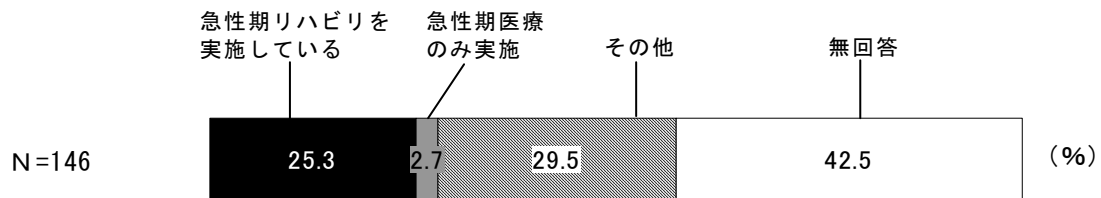
\* 図表 34 脳卒中急性期患者受け入れ専用病棟設置状況



(4) 脳卒中の急性期リハビリテーションの実施状況

脳卒中の急性期リハビリテーションの実施状況をみると、「急性期リハビリを実施している」と回答した施設は全体の2割半ばと多いが、この設問は無回答が多いため結果は参考程度にとどめる。

\* 図表 35 脳卒中の急性期リハビリテーションの実施状況 \*



(5) 実施している脳卒中の治療方法

脳卒中治療方法の実施状況をみると、すべての治療方法で「常勤スタッフで実施」と回答した施設は20施設以下である。「外部の応援を求めて実施」をあわせても、最も多いもので「経静脈的血栓溶解療法」の22施設となっている。

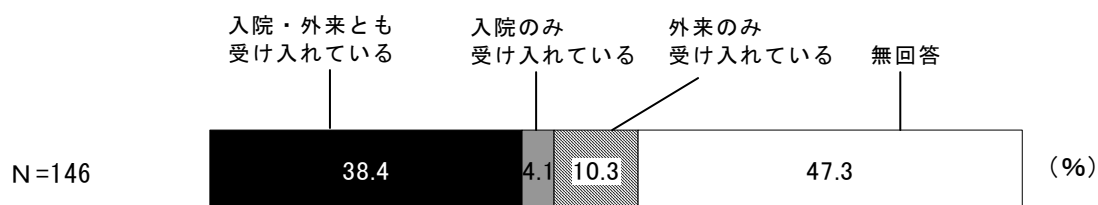
\* 図表 36 実施している脳卒中の治療方法 \*

脳卒中の種類	治療方法	実施状況			
		常勤スタッフで実施	外部の応援を求めて実施	実施していない	無回答
01 脳出血	脳内血腫摘出術	17	1	90	38
02 くも膜下出血	脳血管内手術 (コイル塞栓術等)	10	6	92	38
	脳動脈瘤被包術, 脳動脈瘤クリッピング*	17	1	89	39
03 脳梗塞	開頭手術 (バイパス移植術, 脳血管塞栓摘出術等)	16	1	91	38
	経皮的脳血管形成術 (バルーン・ステント等)	10	4	94	38
	t-PAを用いた経静脈的血栓溶解療法 (発症後3時間以内)	20	2	85	39

## (6) 脳卒中回復期患者の受け入れ範囲

脳卒中回復期患者の受け入れ範囲をみると、「入院・外来とも受け入れている」が最も多く 38.4%、「入院のみ受け入れている」は 4.1%、「外来のみ受け入れている」は 10.3%となっている。ただし、この設問は無回答が多いため、結果は参考程度とする。

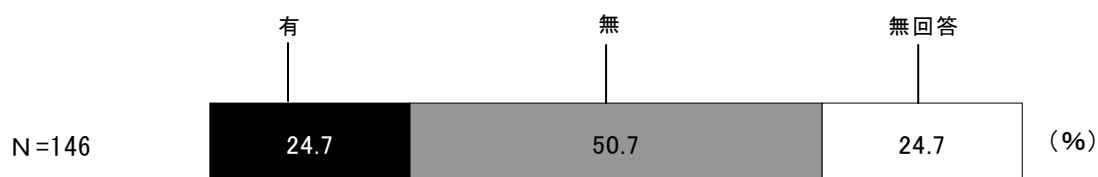
\* 図表 37 脳卒中回復期患者の受け入れ範囲 \*



## (7) 脳卒中患者がリハビリテーション目的で入院できる病床の有無

脳卒中患者のリハビリ入院できる病床をみると、「無」と回答した施設が 50.7%と過半数を超えている。「有」と回答した施設は 24.7%となっている。

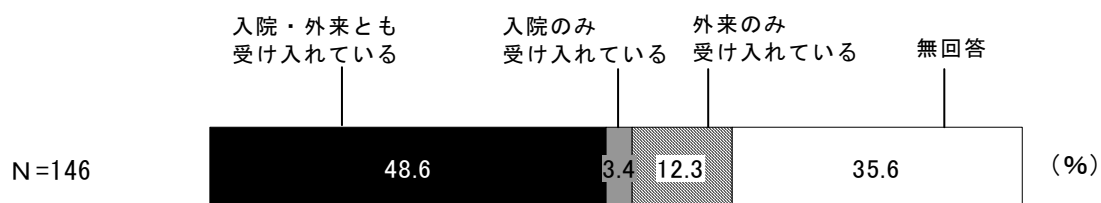
\* 図表 38 卒中患者がリハビリテーション目的で入院できる病床の有無 \*



## (8) 脳卒中維持期患者の受け入れ範囲

脳卒中維持期患者の受け入れ範囲をみると、「入院・外来とも受け入れている」が 48.6%と最も多く、約半数を占めている。

\* 図表 39 卒中維持期患者の受け入れ範囲 \*



## (9) 脳卒中維持期患者に対する訪問診療の実施状況

脳卒中維持期患者への訪問診療の実施状況をみると、「実施していない」との回答が 44.5%、「実施している」との回答が 34.2%となっており、訪問診療を実施していない施設の方が多くなっている。

\* 図表 40 卒中維持期患者に対する訪問診療の実施状況 \*



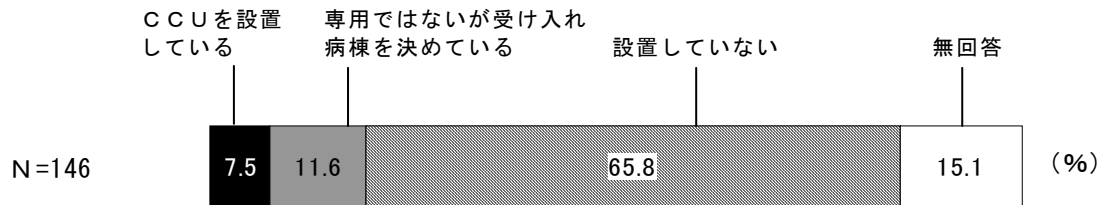


## 4. 急性心筋梗塞対策について

### (1) 冠状動脈疾患専用集中治療室CCU等の設置状況

CCU等の設置状況を見ると、「設置していない」施設が65.8%と、全体の6割以上を占めており、「CCUを設置している」(7.5%)施設を大きく上回っている。

\* 図表 41 冠状動脈疾患専用集中治療室CCU等の設置状況 \*



### (2) 急性心筋梗塞患者に対する検査・治療の対応状況

急性心筋梗塞患者に対する検査・治療の対応状況を見ると、通常の診療時間帯では「いつでも対応可能」としている施設が、放射線等機器検査で74施設、臨床検査で70施設、治療では20施設となっている。診療時間外では、放射線等機器検査・臨床検査は「いつでも対応可能」な施設が「対応不可」な施設を上回っているが、治療では対応可能な施設が対応不可と回答している施設より少ない。

\* 図表 42 急性心筋梗塞患者に対する検査・治療の対応状況 \*

	通常時間帯		診療時間外		
	いつでも対応可能	曜日・時間帯により可能	いつでも対応可能	曜日・時間帯により可能	対応不可
01 放射線等機器検査 (心電図・胸部X線写真等)	74	10	50	22	28
02 臨床検査	70	11	48	21	31
03 治療 (開胸手術・経皮的冠動脈形成手術等)	20	9	19	5	69

### (3) 実施している急性心筋梗塞の治療方法

実施している急性心筋梗塞の治療方法についてみると、「当院の常勤スタッフで実施」と回答している施設は、冠動脈バイパス手術で9施設、冠動脈閉塞に対する経皮的治療で23施設、経静脈的血栓溶解治療では27施設となっており、「外部の応援を求めて実施」をあわせても「実施していない」と回答している施設数を大きく下回っている。

\* 図表 43 実施している急性心筋梗塞の治療方法 \*

治療方法	実施状況			
	当院の常勤スタッフで実施	外部の応援を求めて実施	実施していない	無回答
01 冠動脈バイパス手術	9	3	100	34
02 冠動脈閉塞に対する経皮的治療 (カテーテルによる治療)	23	3	86	34
03 経静脈的血栓溶解療法	27	2	83	34

## 5. 糖尿病対策について

### (1) 糖尿病診療スタッフの配置状況

糖尿病の診療スタッフの配置状況を見ると、常勤の糖尿病療養指導士は109人、糖尿病の診療に従事する管理栄養士は130人となっている。また、非常勤スタッフのいる施設は糖尿病療養指導士（6施設）、管理栄養士（8施設）ともに全体の1割にも満たない。

二次医療圏別では、常勤の糖尿病療養指導士（33人）・管理栄養士（39人）ともに県中が最も多く、次いで県北となっている。

\* 図表 44 糖尿病診療スタッフの配置状況 \*

	糖尿病療養指導士			糖尿病の診療に従事する管理栄養士		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
	人数	有(施設数)	無(施設数)	人数	有(施設数)	無(施設数)
合計	109	6	74	130	8	71
県北	29	2	18	32	4	18
県中	33	2	15	39	2	16
県南	0	0	5	4	1	3
会津	26	0	10	25	0	10
南会津	0	0	1	1	0	1
相双	11	1	12	14	0	10
いわき市	10	1	13	15	1	13

### (2) 実施している糖尿病の治療方法

実施している糖尿病の治療方法についてみると、「当院の常勤スタッフで実施」と回答している施設は、強化インスリン療法で51施設、インスリン皮下持続注入療法で23施設、人工膵臓では4施設となっており、「外部の応援を求めて実施」をあわせても「実施していない」と回答している施設数より少ない。

\* 図表 45 実施している糖尿病の治療方法 \*

治療方法	実施状況			
	当院の常勤スタッフで実施	外部の応援を求めて実施	実施していない	無回答
01 強化インスリン療法	51	1	62	32
02 インスリン皮下持続注入療法	23	1	92	30
03 人工膵臓	4	0	112	30

(3) 人工透析を必要とする糖尿病性腎症，糖尿病性網膜症，糖尿病性足病変への対応

人工透析を必要とする糖尿病性の病症への対応についてみると、対応が可能な施設は糖尿病性腎症で43施設、糖尿病性網膜症で37施設、糖尿病性足病変で62施設となっている。

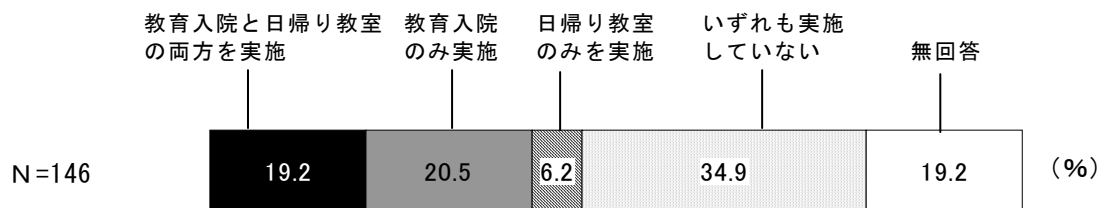
\* 図表 46 人工透析を必要とする糖尿病性病症への対応 \*

項目	可	否	無回答
01 糖尿病性腎症	43	73	30
02 糖尿病性網膜症	37	79	30
03 糖尿病性足病変	62	54	30

(4) 糖尿病教育入院・教室（日帰り）の実施状況

糖尿病の教育入院・教室の実施状況をみると、「いずれも実施していない」と回答した施設が34.9%と最も多く、次いで「教育入院のみ実施」（20.5%）となっている。どちらも実施している施設は全体の2割弱だった。

\* 図表 47 糖尿病教育入院・教室（日帰り）の実施状況 \*



(5) 糖尿病指導の実施状況

糖尿病指導の実施状況をみると、「自院の常勤スタッフで実施」と回答している施設が運動指導で96施設、栄養（食生活）指導で109施設、禁煙指導で81施設、生活指導で102施設となっている。すべての指導項目で「外部職員のみで実施」と回答した施設はなく、「外部機関に委託して実施」と回答した施設も、最も多い項目で4施設と少ない。

\* 図表 48 糖尿病指導の実施状況 \*

指導内容	実施状況				無回答
	自院の常勤スタッフで実施	自院と外部スタッフで実施	外部職員のみで実施	外部機関に委託して実施	
01 運動指導	96	1	0	1	48
02 栄養（食生活）指導	109	1	0	0	36
03 禁煙指導	81	1	0	4	60
04 生活指導	102	1	0	1	42

## (6) 関係機関との連携状況

糖尿病について関係機関との連携状況をみると、すべての項目で、連携が「無」と回答した施設が「有」と回答した施設を上回っている。連携がある施設数は、それぞれ、医療機関が 56 施設、保健所等が 50 施設、職域等で 43 施設となっている。

\* 図表 49 糖尿病関係機関との連携状況 \*

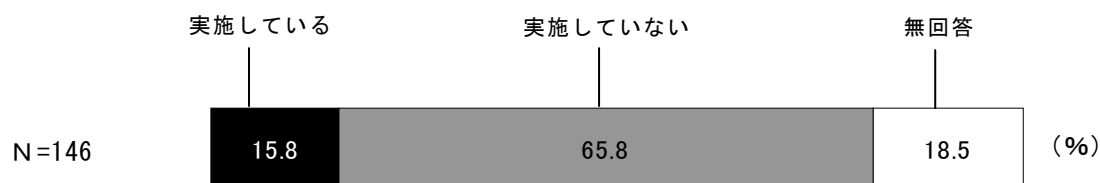
項目	有	無	無回答
01 医療機関との連携	56	61	29
02 保健所・市町村保健センターとの連携	50	65	31
03 職域・産業保健部門との連携	43	71	32

## 6. 周産期医療について

### (1) 周産期医療の状況

周産期医療の状況をみると、「実施していない」との回答が 65.8%、「実施している」との回答が 15.8%となっており、周産期医療を実施していない施設が 6 割以上を占めている。

\* 図表 50 周産期医療の状況 \*

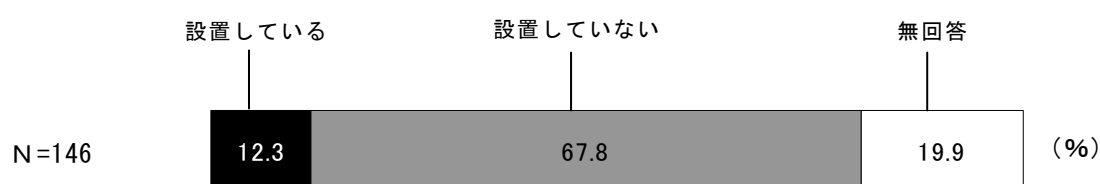


## 7. 小児医療について

### (1) 小児科専用病床の設置状況

小児科専用病床の設置状況をみると、「設置していない」との回答が 67.8%、「設置している」との回答が 12.3%となっており、小児科専用病床を設置していない施設が全体の約 7 割近くを占めている。

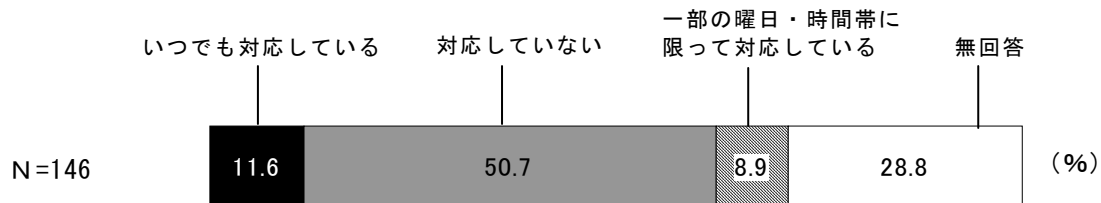
\* 図表 51 小児科専用病床の設置状況 \*



## (2) 時間外の小児救急診療への対応

時間外の小児救急診療への対応をみると、「対応していない」と回答した施設が 50.7%と最も多く、過半数を占めている。「いつでも対応している」と回答した施設は 11.6%で、「一部の曜日・時間帯に限り対応している」(8.9%) をあわせても、何らかの形で対応をしている施設は全体の約 2割となっている。

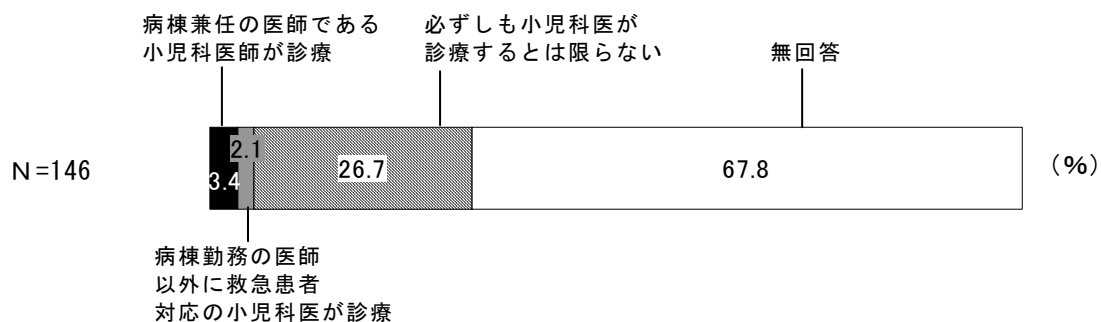
\* 図表 52 時間外の小児救急診療への対応 \*



## (3) 時間外の小児救急診療における対応医師

時間外の小児救急診療における対応医師は、「必ずしも小児科医が診療するとは限らない」が 26.7%と最も多い。「病棟兼任の医師である小児科医師が診療」しているのは全体の 3.4%で、「病棟勤務の医師以外に救急患者対応の小児科医が診療」(2.1%) とあわせても、小児科医による診療は全体の 1割に満たない。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

\* 図表 53 時間外の小児救急診療における対応医師 \*

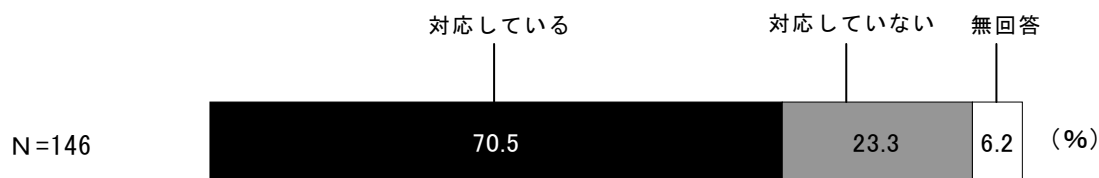


## 8. 救急医療について

### (1) 時間外救急診療への対応

時間外救急診療への対応をみると、「対応している」が70.5%、「対応していない」が23.3%となっており、約7割の病院施設で時間外の救急診療に対応している。

\* 図表 54 時間外救急診療への対応 \*



### (2) 救急告示の有無

救急告示の状況をみると、「有」が59.2%、「無」が40.8%となっており、約6割の病院施設が救急病院として告示されている。

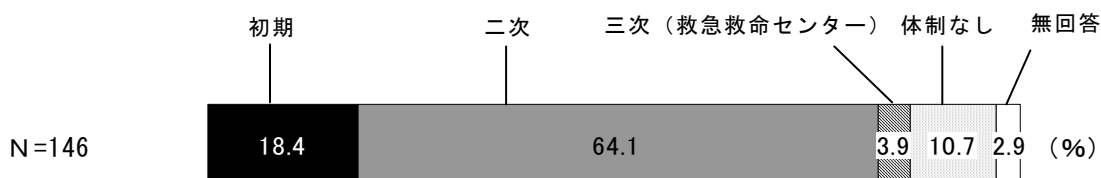
\* 図表 55 救急告示の有無 \*



### (3) 救急医療体制

救急医療体制についてみると、「二次」が64.1%と最も多く、次いで「初期」が18.4%となっている。救急医療の体制がない施設は10.7%だった。

\* 図表 56 救急医療体制 \*

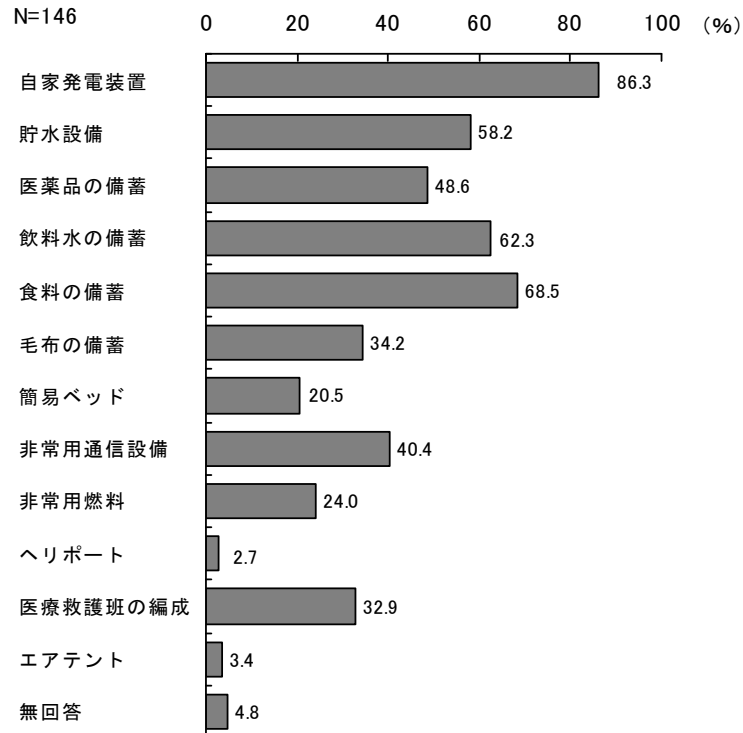


## 9. 災害医療について

## (1) 災害対応の状況

災害対応の状況をみると、「自家発電装置」が86.3%と最も多く、次いで「食料の備蓄」(68.5%)、「飲料水の備蓄」(62.3%)となっている。また、「貯水設備」も58.2%と過半数の施設が対応をしており、医療に関する項目よりも生命の維持に関わる項目での回答が優先されている。

\* 図表 57 災害対応の状況 \*



## 10. 在宅医療について

### (1) 在宅医療サービスの実施状況

在宅医療サービスの実施状況を見ると、実施の多いサービスは、「往診」(72 施設)、「在宅患者訪問診療」(74 施設)、「訪問看護ステーションへの指示書交付」(85 施設)で、全体の半数以上が行っている。これに対し、実施が特に少ないサービスは、「歯科訪問診療」、「在宅末期医療総合診療」、「居宅療養管理指導(医師によるもの)」以外で、いずれも実施している施設は10施設以下となっている。

\* 図表 58 在宅医療サービスの実施状況 \*

サービスの種類	可	否	無回答
01 往診	72	46	28
02 在宅時医学管理	21	82	43
03 在宅患者訪問診療	74	42	30
04 歯科訪問診療	9	98	39
05 在宅末期医療総合診療	4	99	43
06 在宅患者訪問看護・指導	38	71	37
07 精神科訪問看護・指導	24	96	26
08 在宅訪問リハビリテーション指導管理	20	85	41
09 訪問看護ステーションへの指示書交付	85	27	34
10 在宅療養機器貸出し	53	52	41
11 居宅療養管理指導(医師によるもの)	32	68	46
12 居宅療養管理指導(歯科医師によるもの)	8	89	49
13 居宅療養管理指導(歯科衛生士等によるもの)	5	92	49
14 居宅療養管理指導(薬剤師によるもの)	10	88	48
15 居宅療養管理指導(管理栄養士によるもの)	10	88	48
16 訪問看護	39	66	41
17 訪問リハビリテーション	15	84	47

### (2) 在宅医療サービスで対応可能な医療行為

在宅医療サービスで対応可能な医療行為を見ると、「酸素療法」が最も多く79施設、次いで「じょくそうの管理」「尿カテーテル」(ともに78施設)、点滴の管理(73施設)となっている。

\* 図表 59 在宅医療サービスで対応可能な医療行為 \*

サービスの種類	施設数
点滴の管理	73
中心静脈栄養	55
経鼻経管栄養	68
経皮経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	69
気管切開部の処置	49
人工肛門の管理	49
人工膀胱の管理	26
酸素療法	79
透析(CAPD)	15
レスピレーター(人工呼吸器)の管理	28
疼痛の管理	45
モニター測定(血圧・心拍等)	35
じょくそうの管理	78
尿カテーテル	78

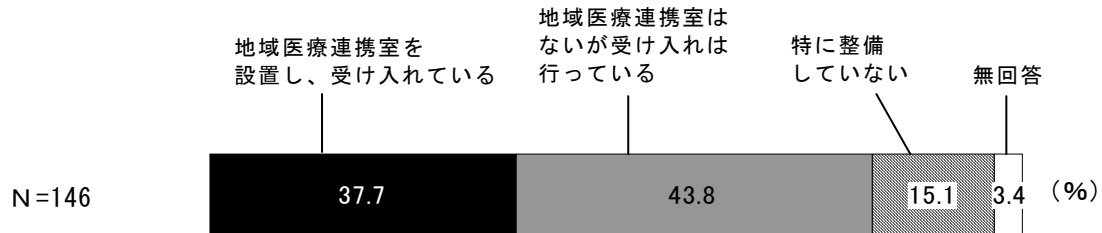


## 1 1. 地域における連携状況について

## (1) 患者の受け入れ・紹介体制

患者の受け入れ・紹介体制をみると、「地域医療連携室はないが受け入れは行っている」が最も多く 43.8%、次いで、「地域医療連携室を設置し、受け入れている」(37.7%)となっている。「特に整備していない」施設は 15.1%である。

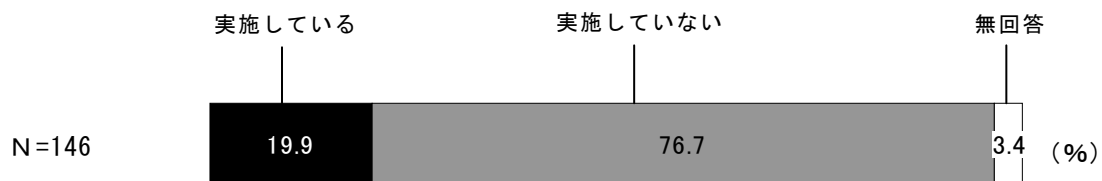
\* 図表 60 患者の受け入れ・紹介体制 \*



## (2) 地域連携退院時共同指導の実施状況

地域連携退院時共同指導の実施状況をみると、「実施していない」との回答が 76.7%、「実施している」との回答が 19.9%となっており、地域連携退院時共同指導を実施していない施設が 7 割以上を占めている。

\* 図表 61 地域連携退院時共同指導の実施状況 \*



## (3) 地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議への参画状況

地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議への参画状況をみると、「有」との回答が 59.6%、「無」との回答が 36.3%となっており、過半数の病院施設が地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議へ参画している。

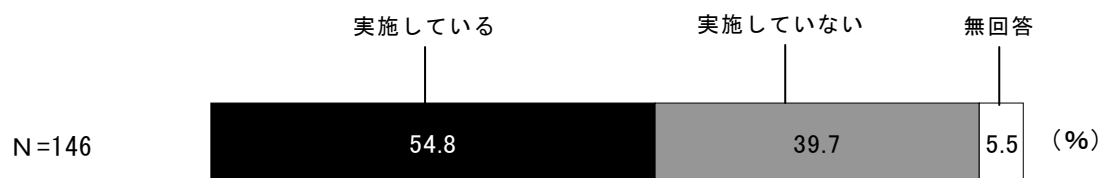
\* 図表 62 地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議への参画状況 \*



#### (4) 紹介医師との相互連携状況

紹介医師との相互連携状況をみると、「実施している」との回答が54.8%、「実施していない」との回答が39.7%となっており、半数以上の施設が紹介患者について定期的に報告や連絡を行っている。

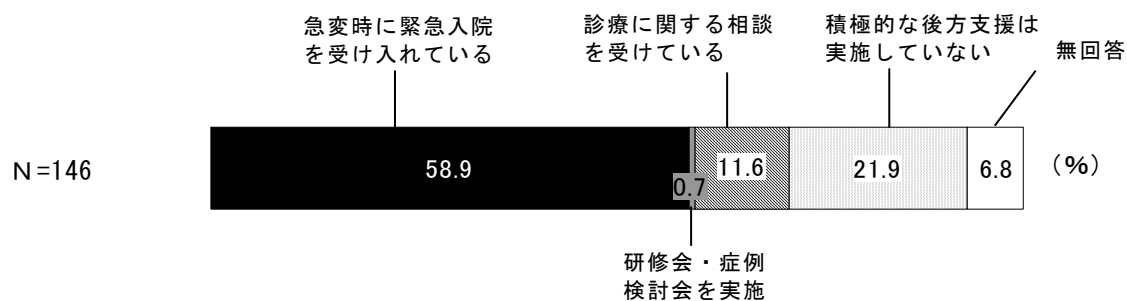
\* 図表 63 紹介医師との相互連携状況 \*



#### (5) 診療所への後方支援体制

後方支援体制についてみると、「急変時に緊急入院を受け入れている」との回答が58.9%で最も多く、次いで「積極的な後方支援は実施していない」(21.9%)となっている。「急変時に緊急入院を受け入れている」「研修会・症例検討会を実施」「診療に関する相談を受けている」をあわせると、診療所へ何らかの後方支援を行っている施設は7割以上となっている。

\* 図表 64 診療所への後方支援体制 \*



## 12. リハビリテーション医療について

### (1) リハビリテーション医療の実施状況

リハビリテーション医療の実施状況を見ると、「実施している」との回答が54.8%、「実施していない」との回答が32.9%となっており、半数以上の施設がリハビリ医療を行っている。

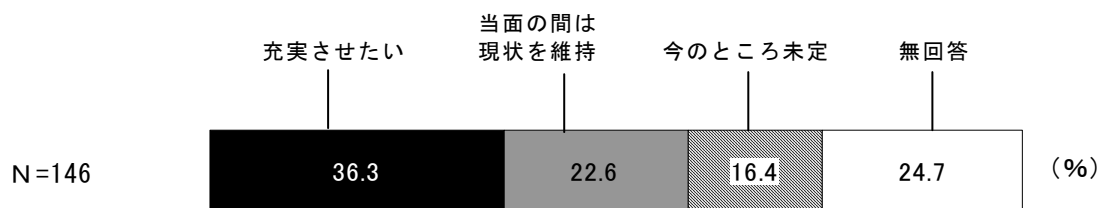
\* 図表 65 リハビリテーション医療の実施状況 \*



### (2) リハビリテーション医療の充実

リハビリテーション医療の充実についてみると、「充実させたい」と回答した施設が36.3%と最も多く、次いで「当面の間は現状を維持」(22.6%)となっている。

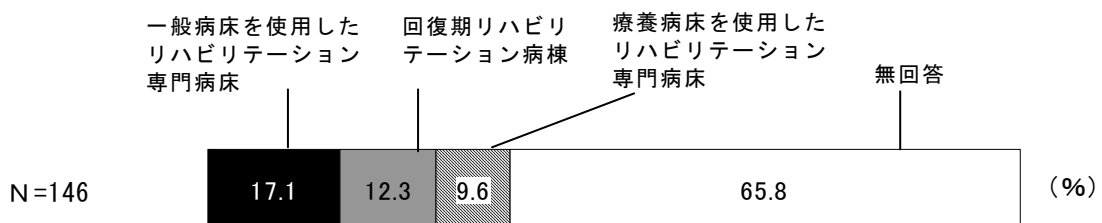
\* 図表 66 リハビリテーション医療の充実 \*



### (3) 今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類

今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類についてみると、「一般病床を使用したリハビリテーション病床」との回答が最も多く17.1%、次いで「回復期リハビリテーション病棟」(12.3%)、「療養病床を使用したリハビリテーション」(9.6%)となっている。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

\* 図表 67 今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類 \*

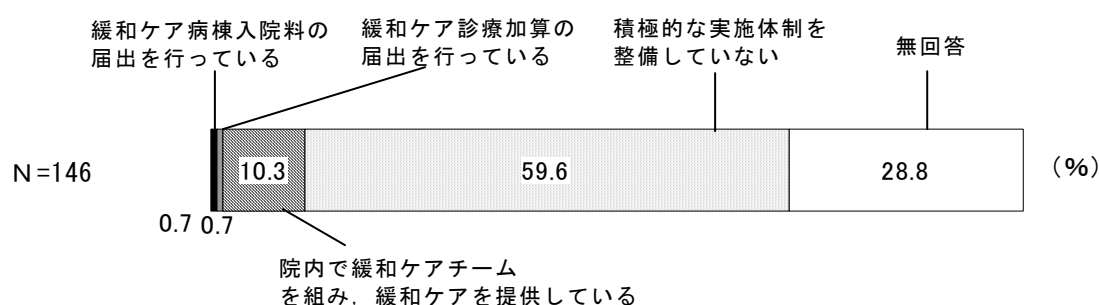


### 13. 緩和ケアについて

#### (1) 緩和ケアの実施状況

緩和ケアの実施状況をみると、「積極的な実施体制を整備していない」と回答した施設が 59.6% と最も多く、全体の約 6 割を占めている。「緩和ケア病棟入院料の届出を行っている」、「緩和ケア診療加算の届出を行っている」、「院内で緩和ケアチームを組み、緩和ケアを提供している」をあわせた、緩和ケアを行っている施設は 1 割程度になっている。

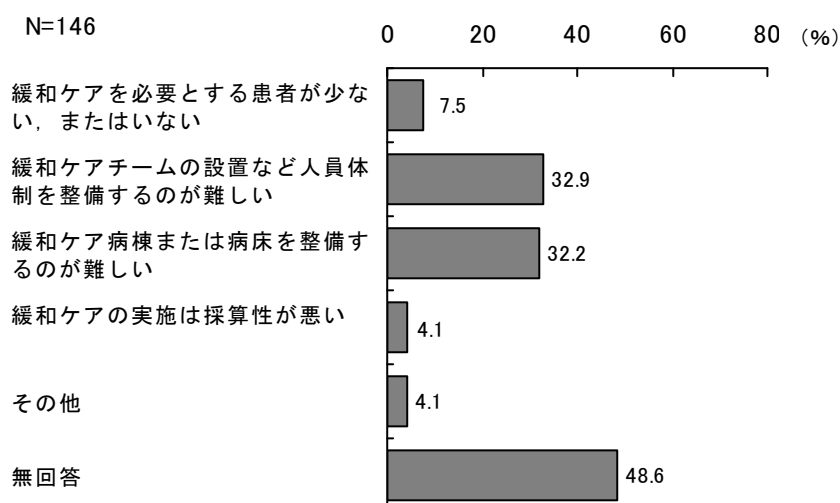
\* 図表 68 緩和ケアの実施状況 \*



#### (2) 緩和ケアの実施に関する課題

緩和ケアの実施の課題についてみると、「緩和ケアチームの設置など人員体制を整備するのが難しい」と回答した施設が 32.9% と最も多い。また、「緩和ケア病棟または病床を整備するのが難しい」と回答した施設も 32.2% と多くなっている。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

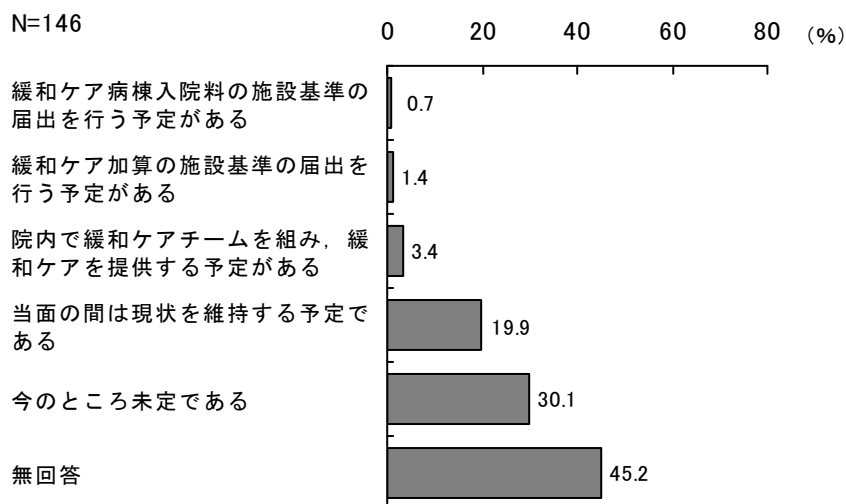
\* 図表 69 緩和ケアの実施に関する課題 \*



### (3) 緩和ケアの実施に関する課題について今後の予定

緩和ケアの課題について今後どのような予定があるかたずねたところ、「今のところ未定である」と回答した施設が 30.1%と最も多かった。「当面の間は現状を維持する予定である」と回答した施設も 19.9%となっている。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

\* 図表 70 緩和ケアの実施に関する課題について今後の予定 \*



## 1 4. 精神医療について

### (1) 精神医療の対応状況

精神医療の対応状況をみると、対応可能と回答した施設はすべての項目で全体の約 2～3 割となっている。「てんかんの専門的診療」への対応ができる施設が最も多く 46 施設、次いで「老年期精神疾患の専門的診療」が 40 施設となっている。これに対し、「薬物依存症の専門的診療」「アルコール依存症の専門的診療」は他の項目に比べやや対応可能な施設が少なくなっている。

\* 図表 71 精神医療の対応状況 \*

項目	可	否	無回答
01 精神科救急医療	31	86	29
02 アルコール依存症の専門的診療	28	89	29
03 薬物依存症の専門的診療	26	88	32
04 思春期の専門的診療	34	81	31
05 ストレス障害の専門的診療	39	74	33
06 てんかんの専門的診療	46	69	31
07 老年期精神疾患の専門的診療	40	74	32

## 15. 感染症対策について

### (1) 感染症医療の対応状況

感染症医療の対応状況をみると、「インフルエンザ迅速診断キット」で全体の9割以上の140施設が対応可能と最も多い。次いで、「N95マスク」が114施設となっている。また、「陰圧室」「感染管理認定看護師」はほとんどの施設で対応がない。

\* 図表 72 感染症医療の対応状況 \*

項目	有	無	無回答
01 眼の防護具（フェイスシールド又はゴーグル）	72	68	6
02 インフルエンザ迅速診断キット	140	2	4
03 センサー付き手洗い	71	68	7
04 N95マスク	114	26	6
05 陰圧室	14	124	8
06 感染管理認定看護師	7	131	8

## 16. 臓器等移植対策について

### (1) 臓器等移植医療の対応状況

臓器等移植医療の対応状況をみると、対応可能と回答した施設がそれぞれの項目で全体の1割未満となっている。最も対応可能施設が多かった項目は「角膜移植術」の6件だった。

\* 図表 73 臓器等移植医療の対応状況 \*

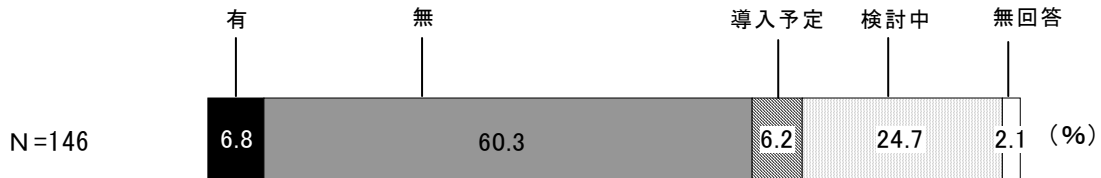
項目	可	否	無回答
01 角膜移植術	6	95	45
02 移植用肺採取術（死体）	4	96	46
03 同種死体肺移植術	0	100	46
04 移植用心採取術	4	96	46
05 同種心移植術	0	100	46
06 移植用心肺採取術	4	96	46
07 同種心肺移植術	0	100	46
08 移植用部分肝採取術（生体）	2	99	45
09 生体部分肝移植	1	100	45
10 移植用肝採取術（死体）	4	96	46
11 同種死体肝移植術	0	99	47
12 移植用膵採取術（死体）	5	95	46
13 同種死体膵移植術	1	99	46
14 移植用膵腎採取術（死体）	5	95	46
15 同種死体膵腎移植術	2	98	46
16 移植用腎採取術（生体）	3	96	47
17 移植用腎採取術（死体）	5	94	47
18 同種腎移植術	3	97	46
19 骨髄移植	4	97	45
20 臍帯血移植	2	99	45

## 17. 電子システムについて

### (1) 電子カルテの導入状況

電子カルテの導入状況を見ると、導入予定が「無」と回答した施設が60.3%と最も多かった。また、現在、電子カルテの導入が「有」としている施設は全体の6.8%となっている。

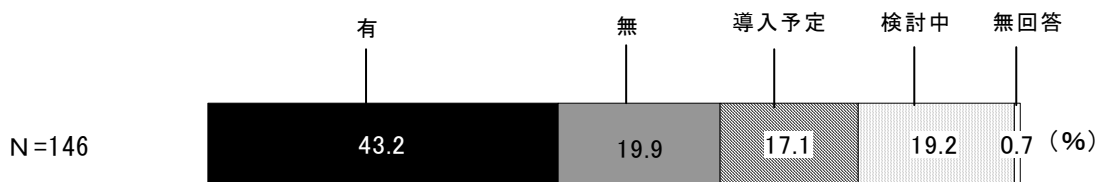
\* 図表 74 電子カルテの導入状況 \*



### (2) レセプト電算システムの導入状況

レセプト電算システムの導入状況を見ると、システムの導入が「有」と回答した施設が43.2%と最も多かった。「導入予定」(17.1%)とあわせると、今後、レセプト電算システムを保有する施設は全体の約6割を占める。

\* 図表 75 レセプト電算システムの導入状況 \*



### (3) ホームページの開設状況

ホームページの開設状況を見ると、ホームページが「有」と回答した施設が69.2%と最も多く、全体の約7割を占めている。

\* 図表 76 ホームページの開設状況 \*



#### (4) 遠隔医療システムの実施状況

遠隔医療システムの実施状況を見ると、導入が「無」と回答した施設が3項目全てで最も多かった。システムを実施している施設は「遠隔画像システム」では8施設、「遠隔病理診断」では1施設、「在宅療養支援」では4施設となっている。また、今後「導入予定」のある施設は、「遠隔画像システム」で2施設、「遠隔病理診断」「在宅療養支援」では0施設と、遠隔医療システムの導入意欲は低い。

\* 図表 77 遠隔医療システムの実施状況 \*

	実施状況				
	有	無	導入予定	検討中	無回答
01 遠隔画像システム	8	111	2	9	16
02 遠隔病理診断	1	124	0	4	17
03 在宅療養支援	4	116	0	7	19

#### (5) オーダリングシステムの導入状況

オーダリングシステムの導入状況を見ると、「導入していない」と回答した施設が77.4%と最も多く、全体の7割以上を占めている。

\* 図表 78 オーダリングシステムの導入状況 \*





## 18. 難病対策について

## (1) 対応可能な特定疾患（難病）

対応可能な特定疾患（難病）についてたずねたところ、「パーキンソン病関連疾患」と回答した病院が83施設と最も多く、次いで「潰瘍性大腸炎」（71施設）、「ベーチェット病」「脊髄小脳変性症」「後縦靭帯骨化症」（いずれも60施設）となっている。これに対し、対応施設が最も少ないのは「プリオン病」（9施設）だった。

\* 図表 79 対応可能な特定疾患（難病） \*

病名	施設数	病名	施設数
01 ベーチェット病	60	24 モヤモヤ病 (ウィリス動脈輪閉塞症)	28
02 多発性硬化症	40	25 ウェゲナー肉芽腫病	19
03 重症筋無力症	34	26 特発性拡張型(うっ血型) 心筋症	41
04 全身性エリテマトーデス	54	27 多系統萎縮症	28
05 スモン	15	28 表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	14
06 再生不良性貧血	38	29 膿疱性乾癬	22
07 サルコイドーシス	36	30 広範脊柱管狭窄症	26
08 筋萎縮性側索硬化症	44	31 原発性胆汁性肝硬変	46
09 強皮性・皮膚筋炎・多発性 筋炎	44	32 重症急性膵炎	23
10 特発性血小板減少性紫斑病	46	33 特発性大腿骨頭壊死症	26
11 結節性動脈周囲炎	28	34 混合性結合組織病	31
12 潰瘍性大腸炎	71	35 原発性免疫不全症候群	12
13 大動脈炎症候群	28	36 特発性間質性肺炎	35
14 ビュルガー病	35	37 網膜色素変性症	34
15 天疱瘡	30	38 プリオン病	9
16 脊髄小脳変性症	60	39 原発性肺高血圧症	20
17 クロウン病	43	40 神経線維腫症(I・II型)	14
18 難治性の肝炎のうち劇症肝 炎	17	41 亜急性硬化症全脳炎	11
19 悪性関節リウマチ	42	42 バット・キアリ症候群	11
20 パーキンソン病関連疾患	83	43 特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	17
21 アミロイドーシス	17	44 ライソゾーム病 (ファブリー病を含む)	11
22 後縦靭帯骨化症	60	45 副腎白質ジストロフィー	10
23 ハンチントン病	14		

## V 一般診療所の状況

---

---

## V 一般診療所の状況

### 1. 基礎項目

#### (1) 診療科目

一般診療所で診療している科目についてみると、「内科」を診療科目としている施設が調査施設 1,111 施設のうち 799 施設と最も多かった。以下、「小児科」(403 施設)、「消化器科」(357 施設)、「外科」(217 施設)となっている。

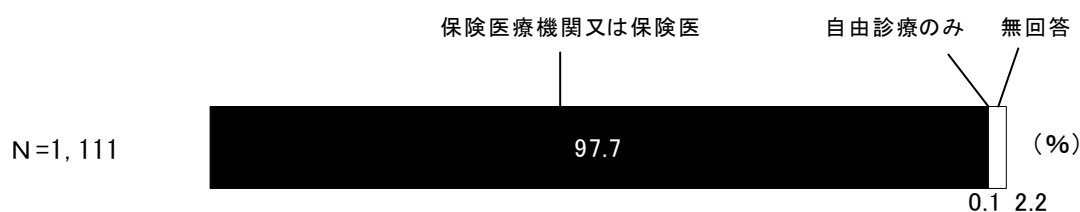
\* 図表 80 診療科目 \*

診療科目	施設数	診療科目	施設数
01 内 科	799	19 小 児 外 科	8
02 呼 吸 器 科	145	20 産 婦 人 科	46
03 消 化 器 科	357	21 産 科	9
04 循 環 器 科	204	22 婦 人 科	42
05 小 児 科	403	23 眼 科	85
06 精 神 科	51	24 耳 鼻 咽 喉 科	57
07 神 経 科	40	25 気 管 食 道 科	9
08 神 経 内 科	38	26 皮 膚 科	143
09 心 療 内 科	50	27 泌 尿 器 科	62
10 ア レ ル ギ ー 科	70	28 性 病 科	6
11 リ ウ マ チ 科	55	29 肛 門 科	63
12 外 科	217	30 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	166
13 整 形 外 科	190	31 放 射 線 科	36
14 形 成 外 科	16	32 麻 酔 科	22
15 美 容 外 科	3	33 歯 科	15
16 脳 神 経 外 科	26	34 矯 正 歯 科	2
17 呼 吸 器 外 科	2	35 小 児 歯 科	1
18 心 臓 血 管 外 科	4	36 歯 科 口 腔 外 科	3

#### (2) 社会保険診療等の状況

社会保険診療の状況を見ると、「保険医療機関又は保険医」となっている施設は全体の 97.7%で、「自由診療のみ」を行っている施設は全体の 0.1%だった。

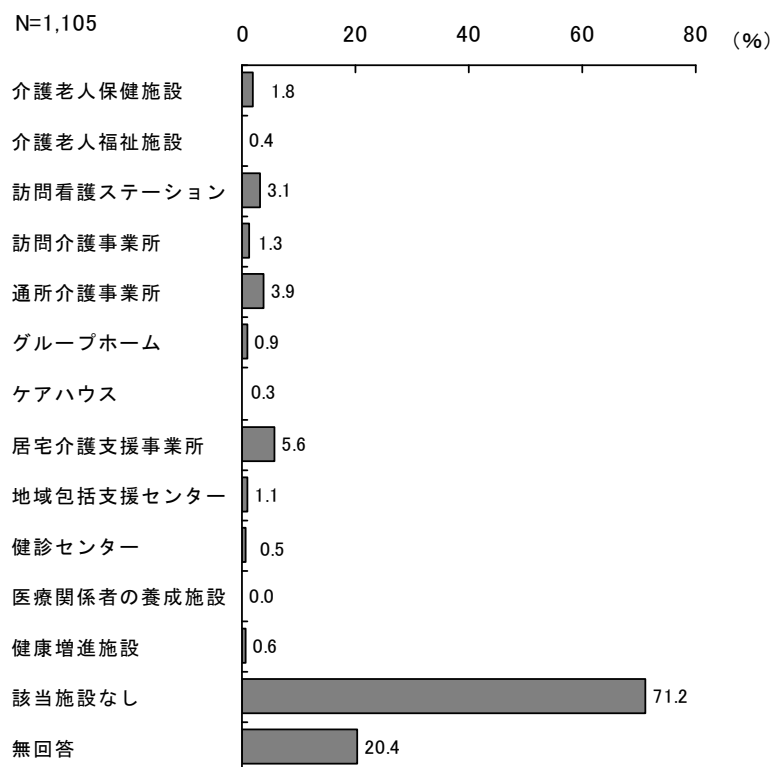
\* 図表 81 社会保険診療等の状況 \*



### (3) 併設施設の状況

施設の併設状況を見ると、併設施設がない施設が71.2%と最も多く、全体の7割以上を占めている。併設している施設のうち最も多い施設は「居宅介護支援事業所」(5.6%)、次いで「通所介護事業所」(3.9%)となっている。

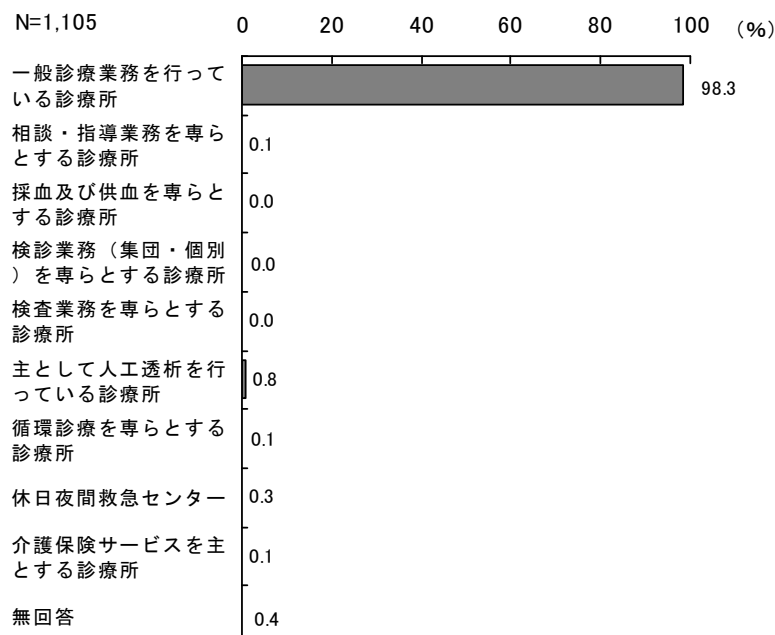
\* 図表 82 併設施設の状況 \*



### (4) 診療所の種類

診療所の種類についてみると、「一般診療業務を行っている診療所」が98.3%と最も多く、ほとんどの診療所が一般診療業務を行っている。

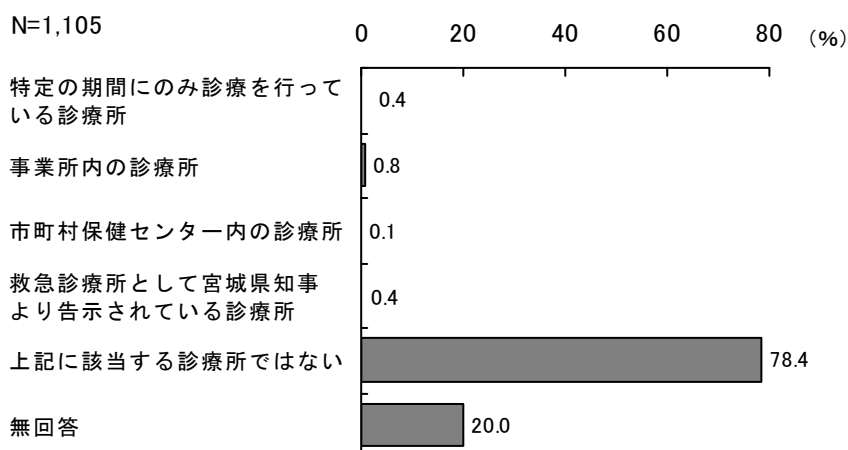
\* 図表 83 診療所の種類 \*



(5) 期間診療所等

期間診療所等についてみると、期間診療所等に該当する施設ではないと回答した人が78.4%と最も多く、全体の8割弱を占めている。該当する診療所として回答が多かったものは「事業所内の診療所」(0.8%)などとなっている。

\* 図表 84 期間診療所等 \*



(6) 表示診療時間の状況

表示診療時間の状況を見ると、調査数1,105施設のうち、平日(月～金)の午前は約9割前後の施設が診療を行っている。午後の診療では、水曜で全体の6割、木曜で7割と午前の診療を行っている施設より少なくなっている。18時以降の診療に関しては、全体の1～2割の施設のみである。

また、休日(土・日・祝日)は診療時間が表示されていない施設が多く、土曜の午前(993施設)、午後(454施設)以外の診療時間で1割以下の施設のみの診療となっている。

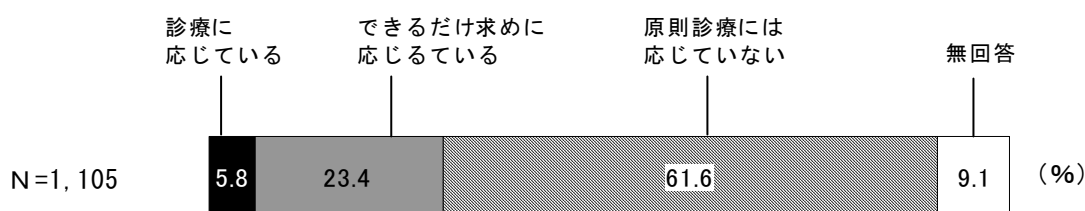
\* 図表 85 表示診療時間の状況 \*

	月	火	水	木	金	土	日	休日
午前	1,044	1,043	993	956	1,046	993	52	23
午後	1,033	1,013	778	687	1,028	454	19	13
18時以降	228	215	158	140	222	26	10	11
無回答	47	44	94	125	40	103	1,047	1,077

(7) 表示診療時間外の対応

表示診療時間外の対応についてみると、「原則診療には応じていない」と回答した人が61.6%と最も多く、全体の6割を占めている。「診療に応じている」と回答した施設は5.8%だった。

\* 図表 86 表示診療時間外の対応 \*



(8) 在宅医療サービスの実施状況

在宅医療サービスの実施状況をみると、実施の多いサービスは、「往診」(437 施設) が最も多く、次いで「在宅患者訪問診療」(318 施設)、「訪問看護ステーションへの指示書交付」(255 施設) となっている。これに対し、実施が特に少ないサービスは、「歯科訪問診療」、「精神科訪問看護・指導」、「居宅療養管理指導(医師によるもの)」以外で、いずれも実施している施設は 10 施設以下となっている。

また、在宅医療サービスで対応可能な医療行為では、「点滴の管理」が最も多く 339 施設、次いで、「じょくそうの管理」(281 施設)、「尿カテーテル」(277 施設) となっている。

\* 図表 87 在宅医療サービスの実施状況 \*

サービスの種類	可	否	無回答
01 往診	437	80	588
02 在宅時医学管理	212	187	706
03 在宅患者訪問診療	318	139	648
04 歯科訪問診療	3	318	784
05 在宅末期医療総合診療	113	239	753
06 在宅患者訪問看護・指導	100	251	754
07 精神科訪問看護・指導	8	314	783
08 在宅訪問リハビリテーション指導管理	26	299	780
09 訪問看護ステーションへの指示書交付	255	138	712
10 在宅療養機器貸出し	62	269	774
11 居宅療養管理指導(医師によるもの)	164	201	740
12 居宅療養管理指導(歯科医師によるもの)	1	303	801
13 居宅療養管理指導(歯科衛生士等によるもの)	0	304	801
14 居宅療養管理指導(薬剤師によるもの)	4	302	799
15 居宅療養管理指導(管理栄養士によるもの)	5	300	800
16 訪問看護	57	266	782
17 訪問リハビリテーション	13	297	795

\* 図表 88 在宅医療サービスで対応可能な医療行為 \*

サービスの種類	施設数
点滴の管理	339
中心静脈栄養	122
経鼻経管栄養	217
経皮経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	197
気管切開部の処置	127
人工肛門の管理	106
人工膀胱の管理	55
酸素療法	243
透析(CAPD)	8
レスピレーター(人工呼吸器)の管理	49
疼痛の管理	158
モニター測定(血圧・心拍等)	91
じょくそうの管理	281
尿カテーテル	277

## (9) 従事者数

県内の一般診療所従事者数は下表のとおりとなった。

病院とは異なり、一般診療所では看護師より准看護師の勤務が多い。

\* 図表 89 従事者数 \*

職 種		施設数	職 種		施設数
01 医師	常勤	1,274	13 歯科衛生士(常勤換算)		16.3
	非常勤(常勤換算)	126.9	14 歯科技工士(常勤換算)		3.0
02 歯科医師	常勤	15	15 社会福祉士(常勤換算)		5.0
	非常勤(常勤換算)	7.9	16 介護福祉士(常勤換算)		47.0
03 薬剤師	(常勤換算)	67.7	17 言語聴覚士(常勤換算)		0.0
04 保健師	実人数	10	18 精神保健福祉士(常勤換算)		14.4
	(常勤換算)	2.3	19 診療放射線技師(常勤換算)		61.3
05 助産師	実人員	64	20 診療エックス線技師(常勤換算)		10.2
	(常勤換算)	9.6	21 臨床検査技師(常勤換算)		110.9
06 看護師	実人数	1,197	22 衛生検査技師(常勤換算)		5.0
	(常勤換算)	462.8	23 臨床工学技士師(常勤換算)		55.0
07 准看護師	実人数	2,491	24 あん摩マッサージ指圧師(常勤換算)		45.6
	(常勤換算)	785.9	25 柔術整復師(常勤換算)		25.4
08 看護業務補助者(常勤換算)		393.8	26 栄養士(常勤換算)		67.2
09 理学療法師(常勤換算)		38.7	27 その他技術員(常勤換算)		80.9
10 作業療法士(常勤換算)		19.9	28 医療社会事業従事者(常勤換算)		25.7
11 視能訓練師(常勤換算)		38.9	29 事務職員(常勤換算)		2,402.2
12 義肢装具士(常勤換算)		0.3	30 その他の職員(常勤換算)		544.7

## (10) 看護職員等の採用

平成 19 年 4 月から常勤職員として勤務する看護職員等の募集採用人数をたずねたところ、従事者数と同様に看護師より准看護師の募集・内定が多い。また、看護師・准看護師・助産師いずれも採用内定者が募集人数の 3 割以下にとどまっている。

\* 図表 90 看護職員等の採用状況 \*

区 分	採用募集人数	募集人数のうち採用内定者数
01 看護師	83	12
02 准看護師	97	25
03 助産師	17	6

## 2. 一般診療所の状況

### (1) 糖尿病診療スタッフの配置状況

糖尿病診療スタッフの配置状況を見ると、常勤の糖尿病療養指導士は 26 人、糖尿病の診療に従事する管理栄養士は 25 人となっている。また、非常勤スタッフのいる施設は糖尿病療養指導士（4 施設）、管理栄養士（17 施設）ともに全体の 1%前後となっている。

二次医療圏別では、いわきが常勤の糖尿病療養指導士（10 人）・管理栄養士（7 人）ともに最も多く、次いで県北となっている。

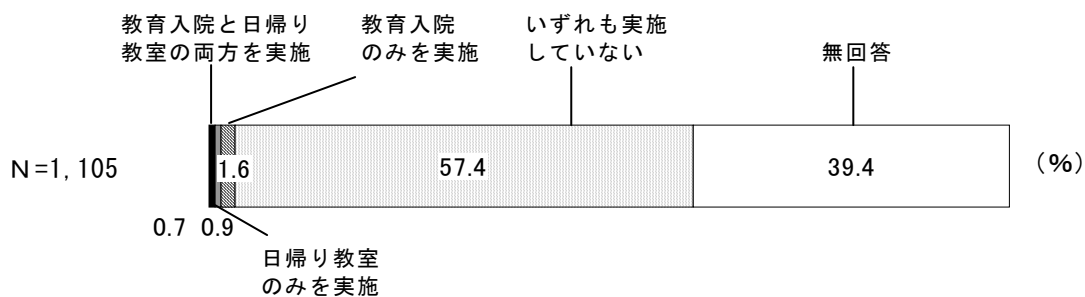
\* 図表 91 糖尿病診療スタッフの配置状況 \*

	糖尿病療養指導士			糖尿病の診療に従事する管理栄養士		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
	人数	有(施設数)	無(施設数)	人数	有(施設数)	無(施設数)
合計	26	4	365	25	17	351
県北	5	2	124	7	7	120
県中	5	2	98	3	1	97
県南	0	0	14	2	1	12
会津	6	0	39	5	0	39
南会津	0	0	3	0	0	3
相双	0	0	26	1	1	25
いわき市	10	0	61	7	7	55

### (2) 糖尿病教育入院及び糖尿病教室（日帰り）の実施状況

糖尿病の教育入院・教室の実施状況を見ると、「いずれも実施していない」と回答した施設が 57.4%と最も多かった。どちらも実施している施設は全体の 1%以下となっている。

\* 図表 92 糖尿病教育入院及び糖尿病教室（日帰り）の実施状況 \*



### (3) 糖尿病指導の実施状況

糖尿病指導の実施状況を見ると、「自院の常勤スタッフで実施」と回答している施設が運動指導で 326 施設、栄養（食生活）指導で 326 施設、禁煙指導で 285 施設、生活指導で 344 施設となっている。



\* 図表 93 糖尿病指導の実施状況 \*

指導内容	実施状況				
	自院の常勤 スタッフで実施	自院と外部 スタッフで実施	外部職員 のみで実施	外部機関に 委託して実施	無回答
01 運動指導	326	6	1	18	754
02 栄養（食生活）指導	326	17	9	27	726
03 禁煙指導	285	4	2	15	799
04 生活指導	344	8	1	12	740

#### （４）糖尿病にかかる関係機関との連携

糖尿病について関係機関との連携状況をみると、すべての項目で、連携が「無」と回答した施設が「有」と回答した施設を上回っている。連携がある施設数は、それぞれ医療機関が 269 施設、保健所等が 128 施設、職域等で 90 施設となっている。

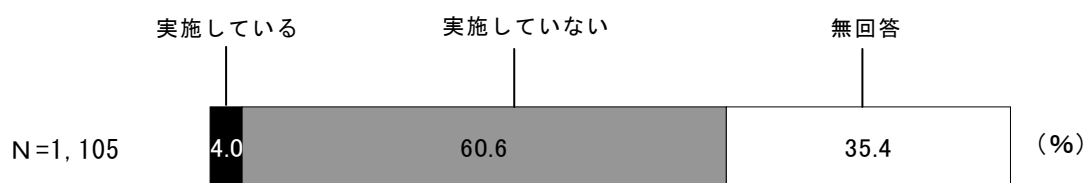
\* 図表 94 糖尿病にかかる関係機関との連携状況 \*

項目	有	無	無回答
01 医療機関との連携	269	389	447
02 保健所・市町村保健センターとの連携	128	480	497
03 職域・産業保健部門との連携	90	508	507

#### （５）周産期医療の状況

周産期医療の状況をみると、「実施していない」との回答が 60.6%、「実施している」との回答が 4.0%となっており、周産期医療を実施していない施設が約 6 割を占めている。

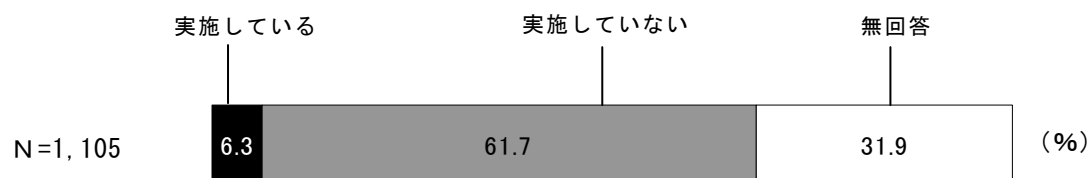
\* 図表 95 周産期医療の状況 \*



#### （６）精神医療の状況

精神医療の状況をみると、「実施していない」との回答が 61.7%、「実施している」との回答が 6.3%となっており、精神医療を実施していない施設が 6 割以上を占めている。

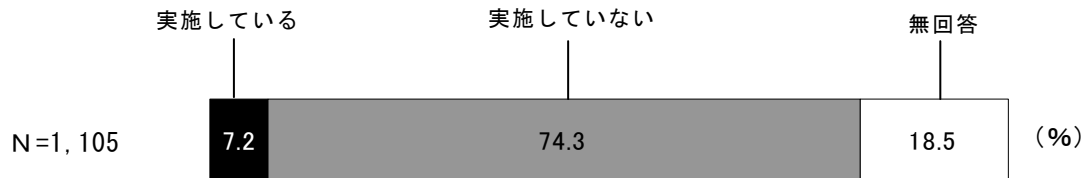
\* 図表 96 精神医療の状況 \*



(7) リハビリテーション医療の実施状況

リハビリテーション医療の実施状況を見ると、「実施していない」との回答が74.3%、「実施している」との回答が7.2%となっており、リハビリ医療を行っている施設は全体の1割未満となっている。

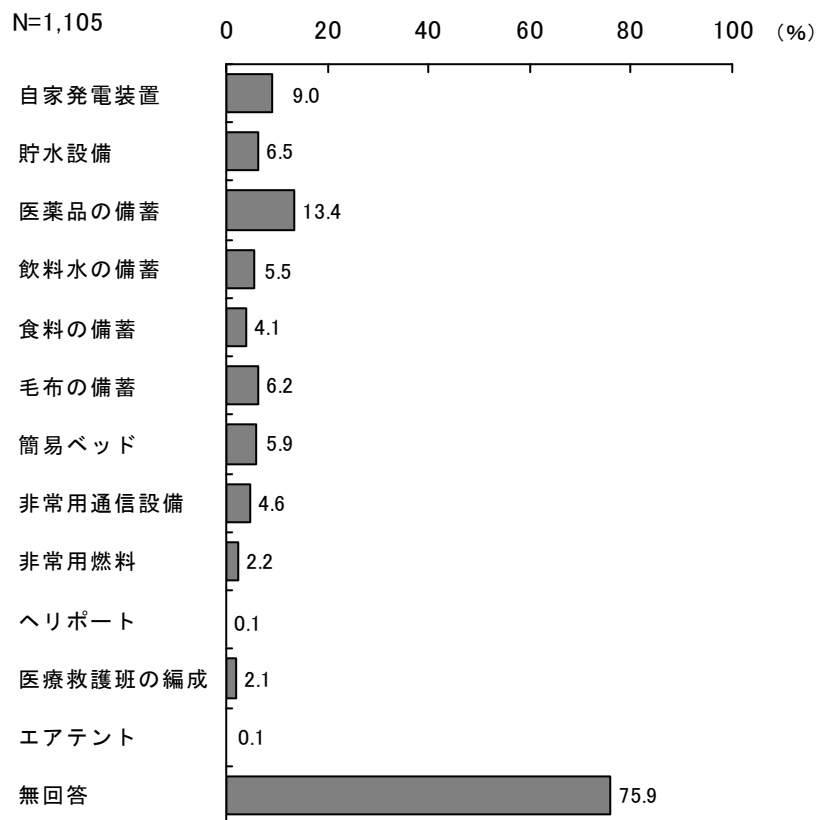
\* 図表 97 リハビリテーション医療の実施状況 \*



(8) 災害対応の状況

災害対応の状況を見ると、「医薬品の備蓄」が13.4%と最も多く、次いで「自家発電装置」(9.0%)、「貯水設備」(6.5%)となっている。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

\* 図表 98 災害対応の状況 \*

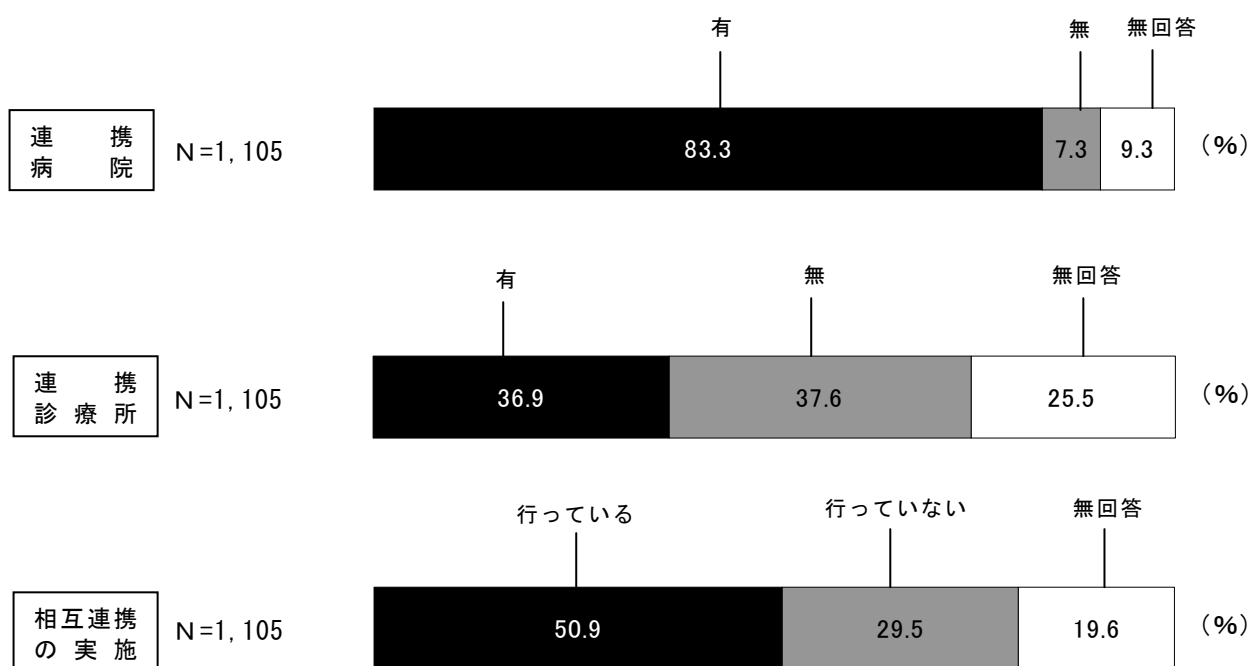


(9) 医療機関との連携の状況

医療機関との連携の状況をみると、連携病院が「有」と回答した施設が83.3%となっており、全体の8割以上の診療所が病院と連携している。これに対して、連携診療所が「有」と回答した施設は36.9%で、診療所同士の連携は全体の4割弱の施設での実施となっている。

また、紹介患者について、連携先との定期的報告や連絡等の相互連携の実施についてたずねたところ、「行っている」と回答した施設は50.9%で、約半数の施設で相互連携が行われている。

\* 図表 99 医療機関との連携の状況 \*



(10) 外来患者への処方数

外来患者への処方数についてみると、院外処方せん交付数が院内処方数を上回っている。二次医療圏別にみると、県北、県南、南会津、相双では院外処方せん交付数より院内処方数が多く、特に南会津では院外処方せん交付数の2倍以上の処方数となっている。これに対し、県中、会津、いわきでは院外処方せん交付数の方が多い。

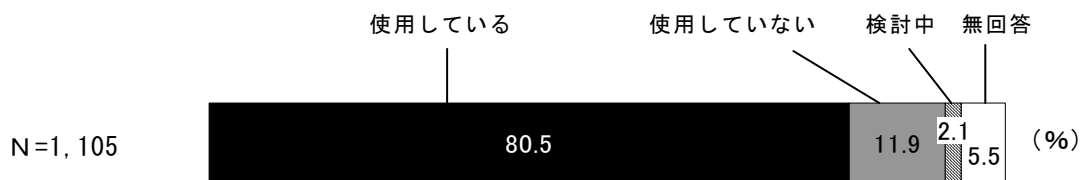
\* 図表 100 外来患者への処方数 \*

二次医療圏別	施設数	院内処方数	院外処方せん交付数
合計	1,105	453,132	505,518
県北	311	114,789	140,027
県中	302	132,699	127,836
県南	67	44,535	23,185
会津	130	44,795	62,264
南会津	9	6,331	2,558
相双	90	51,939	29,347
いわき市	196	58,044	120,301

(11) ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品の使用状況を見ると、「使用している」と回答した施設が最も多く、80.5%と全体の8割を占めている。院外処方に関しても「交付している」(51.5%)との回答が最も多く、ジェネリック医薬品の使用割合は高い。

\* 図表 101 ジェネリック医薬品使用状況 \*



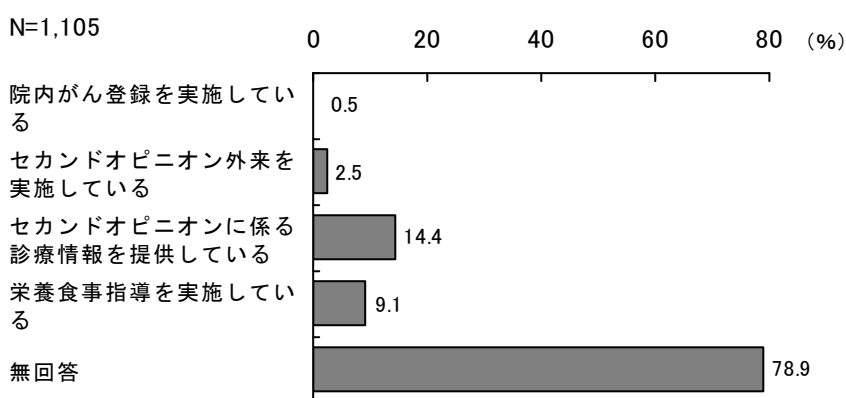
\* 図表 102 ジェネリック医薬品院外処方箋交付 \*



(12) その他の状況

その他の状況を見ると、「セカンドオピニオンに係る診療情報を提供している」と回答した施設が14.4%と最も多い。「栄養食事指導を実施している」施設は9.1%、「セカンドオピニオン外来を実施している」施設は2.5%だった。ただし、この設問は無回答が多いため結果は参考程度とする。

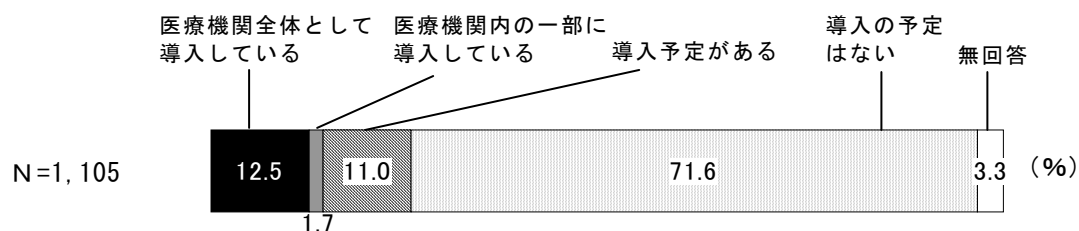
\* 図表 103 その他の状況 \*



## (13) 電子カルテシステムの導入状況

電子カルテの導入状況を見ると、「導入の予定はない」と回答した施設が 71.6%と最も多く、次いで「医療機関全体として導入している」(12.5%)となっている。「医療機関内の一部に導入している」をあわせても、現在、電子カルテの導入がある施設は全体の 14.2%だった。

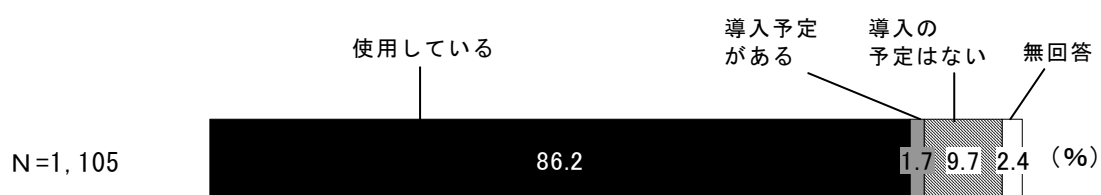
\* 図表 104 電子カルテシステムの導入状況 \*



## (14) レセプト処理用コンピュータの使用状況

レセプト処理用コンピュータの使用状況を見ると、「使用している」と回答した施設が 86.2%と最も多く、次いで「導入の予定はない」(9.7%)となっている。「導入予定がある」(1.7%)とあわせると、今後、レセプト電算システムを使用する施設は全体の 9割近くとなる。

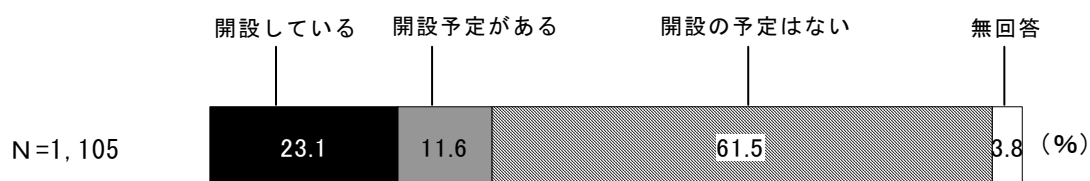
\* 図表 105 レセプト処理用コンピュータの使用状況 \*



## (15) ホームページの開設状況

ホームページの開設状況を見ると、「開設の予定はない」と回答した施設が 61.5%と最も多く、全体の約 6割を占めている。現在ホームページを開設している施設は 23.1%となっている。

\* 図表 106 ホームページの開設状況 \*



(16) 遠隔医療システムの導入状況

遠隔医療システムの導入状況を見ると、「導入していない」と回答した施設が3項目全てで最も多かった。システムを実施している施設は「遠隔画像システム」では19施設、「遠隔病理診断」では3施設、「在宅療養支援」では11施設となっている。また、今後導入予定のある施設は、「遠隔画像システム」で18施設、「遠隔病理診断」で8施設、「在宅療養支援」では22施設と、遠隔医療システムの導入意欲はあまり高くない。

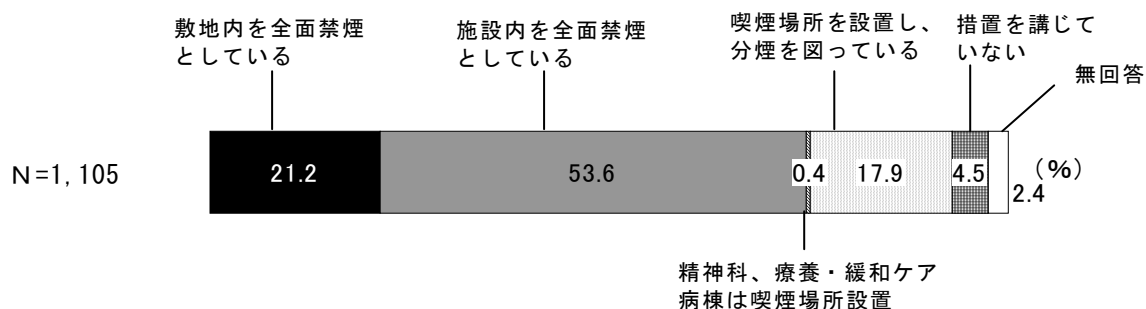
\* 図表 107 遠隔医療システムの導入状況 \*

	実施状況			
	導入している	検討中	導入していない	無回答
01 遠隔画像システム	19	18	944	124
02 遠隔病理診断	3	8	962	132
03 在宅療養支援	11	22	937	135

(17) 受動喫煙防止対策の状況

受動喫煙防止対策の状況を見ると、「施設内を全面禁煙としている」との回答が53.6%と最も多く、「敷地内を全面禁煙としている」(21.2%)とあわせると『施設の中が全面禁煙』になっている割合は全体の7割以上となっている。また、受動喫煙に対して何ら措置を講じていないと回答した施設は4.5%で、受動喫煙の取り組みは十分といえる。

\* 図表 108 受動喫煙防止対策の状況 \*



## VI 調査票

---

---

# 福島県医療機能調査票（病院）

平成19年1月1日現在


※保健所符号	
※市区町村コード	

上欄には記入しないでください。

## 1 調査票記入者名

(1) 部署	
(2) 職名	
(3) 氏名	
(4) 連絡先 TEL	
(5) 連絡先 FAX	
(6) メールアドレス	

## 2 基礎項目

(1) ※ 施設番号	 記入いただかなくて結構です。空欄のまま提出してください。		
(2) 施設名			
(3) 施設の住所	〒		
(4) 電話番号（代表）	（電話番号 昼間）	（ ）	—
FAX番号（代表）	（電話番号 夜間）	（ ）	—
	（FAX番号）	（ ）	—
(5) 休止・休診の状況 <small>（該当する番号一つを○で囲んでください。）</small>	<b>1 休止中                      2 1年以上休診中                      3 1年未満休診中</b> <small>※「休止」とは、医療法上の休止届を既に出してある状態。            ※「休診」とは、H19.1.1 現在、休診の状態（年末年始の休診を除く）。            ※「1」又は「2」の施設は、「2 基礎項目」の「(1)施設名」～「(4)電話番号FAX番号」、「(11)社会保険診療等の状況」を記入し、それ以外は記入する必要はありません。「3」の施設は、すべての項目に可能な限り記入してください。</small>		
(6) 併設施設の状況 <small>（該当するすべての番号を○で囲んでください。）</small>  <small>※併設とは、同一法人（法人が異なっても実質的に同一経営の場合を含みます。）が同一敷地内又は隣接の敷地内で「1」～「12」の施設を運営する場合があります。「法人が異なっても実質的に同一経営」とは、例えば医療法人の病院と社会福祉法人の介護老人福祉施設を運営している者が同じ場合等をいいます。</small>	1 介護老人保健施設 2 介護老人福祉施設 3 訪問看護ステーション 4 訪問介護事業所 5 通所介護事業所 6 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム） 7 有料老人ホーム・軽費老人ホーム（ケアハウス） 8 居宅介護支援事業所 9 地域包括支援センター 10 健診センター 11 医療関係者の養成施設 12 健康増進施設 13 上記施設の該当なし		

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。



(7) 許可病床数 (「医療法」第7条第2項に規定する次の病床の種類ごとに許可病床数を記入してください。)	病床の種類	許可病床数	病床の種類	許可病床数		
	01 精神病床	床	04 療養病床(医療保険適用)	床		
	02 感染症病床	床	05 療養病床(介護保険適用)	床		
	03 結核病床	床	06 一般病床	床		
			07 全病床合計	床		
(8) 平均在院日数 (病床の種類毎の年間 (H18.1.1～18.12.31) 在院患者延数、年間新入院患者数、平均在院日数等について記入してください。なお、療養病床については、年間同一医療機関内の他の病床から移された患者及び他の病床へ移された患者数も記入してください。)	【平均在院日数の算出方法】 ※療養病床以外の平均在院日数は、 年間在院患者延数÷((年間新入院患者数+年間退院患者数)×1/2) で算出。 ※療養病床の平均在院日数は、 年間在院患者延数÷([年間新入院患者数+年間同一医療機関内の他の病床から移された患者数+年間退院患者数+年間同一医療機関内の他の病床へ移された患者数]×1/2) で算出。					
	年間在院患者延数	年間新入院患者数	年間退院患者数	年間同一医療機関内の他の病床から移された患者数	年間同一医療機関内の他の病床へ移された患者数	平均在院日数 (小数点第2位を四捨五入)
	精神病床	人	人	人	人	. 日
	感染症病床	人	人	人	人	. 日
	結核病床	人	人	人	人	. 日
	療養病床(医療保険適用)	人	人	人	人	. 日
	療養病床(介護保険適用)	人	人	人	人	. 日
	一般病床	人	人	人	人	. 日
	全病床合計	人	人	人	人	. 日
	(9) 従事者数 (H19.1.1の0時現在に在籍する下記の職種・有資格者すべてにかかる従事者の状況について、数字を記入してください(派遣労働者を含む)。複数の免許を有する場合又は複数の業務に従事している場合は、主な業務を1つ決め、該当する欄に計上してください。また、H19.4月に常勤職の採用の予定がある場合、職種ごとに募集人数及び採用内定人数を記入してください。)	非常勤の常勤換算について 1 非常勤(常勤換算)欄には、常勤以外の従事者について施設で定めた1週間の勤務時間(32時間未満の場合は32時間に切り上げ)により換算して記入してください。 2 勤務時間が1週間サイクルでない場合は、所要の調整(例えば、月1回(4週に1回)のみの勤務サイクルである場合には1/4を乗じるなど)をしてください。 3 当直にあたる者について換算する場合の分母は、施設で定めた1週間の勤務時間(32時間未満の場合は、32時間に切り上げ)の2倍としてください。換算後の数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示は小数点以下第1位までとしますが、1人について1を超える場合は「1.0人」としてください。 <計算例> 例1 1週間の通常の勤務時間が30時間(32時間へ切り上げ)の診療所で、週3日・8時間勤務の者が1人の場合 $\frac{8\text{時間} \times 3\text{日}}{32\text{時間}} = 0.75\text{人} \approx 0.8\text{人 (小数点第2位を四捨五入)}$ 例2 1週間の通常の勤務時間が40時間の診療所で、週2日・5時間勤務の者が1人と週3日・3時間勤務の者が3人いる場合 $\frac{(2\text{日} \times 5\text{時間} \times 1\text{人}) + (3\text{日} \times 3\text{時間} \times 3\text{人})}{40\text{時間}} = 0.95\text{人} \approx 0.9\text{人 (小数点第2位を四捨五入)}$ 例3 計算の結果が、0.1人に満たない場合は、0.1人として換算。				
職種・有資格者		常勤	非常勤	H19.4月 常勤採用 募集人数	うち採用 内定人数	
01 医師		人	—	人	人	
うち日本循環器学会認定の循環器専門医資格を持っている		人	—	—	—	
うち日本糖尿病学会認定の糖尿病専門医資格を持っている		人	—	—	—	
うち日本小児科学会認定の小児科専門医資格を持っている		人	—	—	—	
うち日本小児科外科学会認定の小児外科専門医資格を持っている医師		人	—	—	—	
うち日本脳卒中学会認定の専門医、日本神経学会認定の神経内科専門医、日本脳神経外科学会認定の脳神経外科専門医のいずれか、または複数の資格を持っている医師		人	—	—	—	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

職種・有資格者	常勤	非常勤	H19.4月 常勤採用 募集人数	うち採用 内定人数
うち日本産科婦人科学会認定の産婦人科専門医資格を持っている 医師	人	—	—	—
うち日本救急医学会認定の救急科専門医資格を持っている 医師	人	—	—	—
うち日本リハビリテーション医学会認定のリハビリテーション科 専門医資格を持っている医師	人	—	—	—
02 歯科医師	人	人	人	人
03 薬剤師	人	人	人	人
04 保健師	人	人	人	人
05 助産師	人	人	人	人
06 看護師	人	人	人	人
07 准看護師	人	人	人	人
08 理学療法士	人	人	人	人
09 作業療法士	人	人	人	人
10 言語聴覚士	人	人	人	人
11 視能訓練士	人	人	人	人
12 歯科衛生士	人	人	人	人
13 歯科技工士	人	人	人	人
14 社会福祉士	人	人	人	人
15 精神保健福祉士	人	人	人	人
16 診療放射線技師・診療エックス線技師	人	人	人	人
17 臨床検査技師・衛生検査技師	人	人	人	人
18 臨床工学技師	人	人	人	人
19 管理栄養士	人	人	人	人
20 栄養士	人	人	人	人
21 あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師・柔道整復師	人	人	人	人
22 臨床心理士	人	人	人	人
23 健康運動指導士	人	人	人	人
24 健康運動実践指導者	人	人	人	人
25 医療社会事業従事者（医療ソーシャルワーカー等）	人	人	人	人
26 事務職員	人	人	人	人
27 その他の職員	人	人	人	人

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(10) 診療科目 (広告・標榜する診療科目について、該当するすべての番号を○で囲んでください。なお、麻酔科については医療法第70条第2項による標榜の許可を受けた者のいる施設に限ります。)		下欄について、「1 1月中の外来患者延数」、「2 1/31の在院患者数」、「3 常勤医師・歯科医師数」、「4 非常勤医師・歯科医師数」を記入してください。			
		1 1月中の 外来患者延数	2 1/31の 在院患者数	3 常勤医師・ 歯科医師数	4 非常勤医師・ 歯科医師数
		<p>「1 1月中の外来患者延数」 診療科目ごとに外来患者延数を記入してください。(救急患者及び健康診断を行った者も含まれます。)</p> <p>①初診・再診・往診・巡回診察・健康診断等を行い、診療録を作成した者の延数を記入してください。</p> <p>②同一患者を2つ以上の診療科で診察し、それぞれの診療科で診療録が作成された場合は、それぞれに計上してください。(電子カルテを複数の診療科で共有している場合も、それぞれに計上してください。)</p> <p>③入院中の患者が、他の診療科で診察を受けた場合は、その診療科で診療録が作成された場合にのみ、その診療科の外来患者として計上してください。</p> <p>④外来患者が診療を受けそのまま入院した場合は、外来患者、在院患者それぞれに計上してください。</p> <p>⑤例えば、広告する科目が皮膚泌尿器科の場合には、皮膚科又は泌尿器科に整理して記入してください。</p> <p>「2 1/31の在院患者数」 H19.1.31の24時現在に在院している患者数を診療科目毎に記入してください。なお、在院患者が外泊した場合も在院患者数に計上してください。</p> <p>「3 常勤医師・歯科医師数」及び「4 非常勤医師・歯科医師数」 ①H19.1.1の0時現在に在籍する医師・歯科医師を計上してください。 ②「常勤医師・歯科医師数」の合計と、「(9)従業者数」の「1 医師数」及び「2 歯科医師」の合計とが一致するようにしてください。 ③当該医師・歯科医師の主たる診療科目に計上してください。 ④非常勤医師等の数は、「(9)従業者数」に示した方法で常勤換算してください。(小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表記)</p>			
01 内科	人	人	人	人	
02 呼吸器科	人	人	人	人	
03 消化器科 (胃腸科)	人	人	人	人	
04 循環器科	人	人	人	人	
05 小児科	人	人	人	人	
06 精神科	人	人	人	人	
07 神経科	人	人	人	人	
08 神経内科	人	人	人	人	
09 心療内科	人	人	人	人	
10 アレルギー科	人	人	人	人	
11 リウマチ科	人	人	人	人	
12 外科	人	人	人	人	
13 整形外科	人	人	人	人	
14 形成外科	人	人	人	人	
15 美容外科	人	人	人	人	
16 脳神経外科	人	人	人	人	
17 呼吸器外科	人	人	人	人	
18 心臓血管外科	人	人	人	人	
19 小児外科	人	人	人	人	
20 産婦人科	人	人	人	人	
21 産科	人	人	人	人	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

	1 1月中の 外来患者延数	2 1/31の 在院患者数	3 常勤医師・歯科 医師数	4 非常勤医師・歯 科医師数
22 婦人科	人	人	人	人
23 眼科	人	人	人	人
24 耳鼻いんこう科	人	人	人	人
25 気管食道科	人	人	人	人
26 皮膚科	人	人	人	人
27 泌尿器科	人	人	人	人
28 性病科	人	人	人	人
29 こう門科	人	人	人	人
30 リハビリテーション科	人	人	人	人
31 放射線科	人	人	人	人
32 麻酔科	人	人	人	人
33 歯科	人	人	人	人
34 矯正歯科	人	人	人	人
35 小児歯科	人	人	人	人
36 歯科口腔外科	人	人	人	人
1 月中の外来患者の 延べ数と内訳	人	1 月中の外来患者の延べ数		
	人	うち初診の患者の数(初診で診療録を作成した患者数)		
<b>(11) 社会保険診療等の状況</b>	1 保険医療機関		2 自由診療のみ	
<b>(12) 承認等の状況</b> (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 地域医療支援病院		6 老人性認知症疾患療養病棟を有する病院	
	2 災害拠点病院		7 緩和ケア病棟を有する病院	
	3 開放型病院		8 がん診療連携拠点病院	
	4 特定承認保険医療機関		9 上記承認等の該当なし	
	5 特殊疾患入院施設又は 特殊疾患療養病棟を有する病院			
<b>(13) 各種委員会の設置状況</b> (施設で設置している委員会に該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 倫理委員会		7 医療機器治験審査委員会	
	2 院内感染防止委員会		8 別管理廃棄物管理委員会	
	3 医療ガス安全・管理委員会		9 災害対策委員会	
	4 薬剤委員会		10 児童虐待防止の取組又は委員会の設置	
	5 医薬品治験審査委員会		11 栄養サポートチーム (NST)	
	6 医療安全体制委員会		12 上記委員会の設置該当なし	
<b>(14) 医療安全体制</b> (体制整備の有無について該当する番号を○で囲んでください) ※「患者のための相談窓口」とは、病院内に患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情、相談に応じられる体制が確保されていることをいいます。	安全管理のための委員会		1 有	2 無
	安全管理のための指針		1 有	2 無
	安全管理の責任者		1 有	2 無
	安全管理のための医療事故等の院内報告制度		1 有	2 無
	安全管理のための職員研修		1 有	2 無
	安全管理部門		1 有	2 無
	患者のための相談窓口 (※)		1 有	2 無
<b>(15) 医療費明細書の発行状況</b> (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 常に発行している			
	2 求めに応じて発行している			
	3 発行していない			

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(16) 表示診療時間の状況	(施設で表示している診療時間について、毎週診療を行っている旨表示している場合のみ、月曜日から日曜日及び休日(祝祭日)を「午前(0:00~12:00)」・「午後(12:00~18:00)」・「18時以降」の区分毎に、該当するすべての番号を○で囲んでください。)								
		月	火	水	木	金	土	日	休日
	午前	1	1	1	1	1	1	1	1
	午後	2	2	2	2	2	2	2	2
	18時以降	3	3	3	3	3	3	3	3
(17) 予約診療の実施状況	01 予約に基づく診療の実施	1 実施している 2 実施していない							
	02 予約に関する特別な料金の設定	1 有 (料金: _____ 円) 2 無							
(18) 麻酔及び手術等の状況  (各手術について、1月中の実施件数を記入してください。)  1人の患者に1月中に手術と再手術を行った場合は、その合計実施件数を記入してください。(院外医師が行った場合も含みます。)  ただし、手術のみを他施設に委託した場合は含みません。)  全身麻酔により手術を行った場合は、全身麻酔(静脈麻酔は除く)と該当する手術のそれぞれに実施件数を計上してください。  また、該当項目の装置の台数をH19.1.1の午前0時現在で記入してください(レンタルやリースのものも含みます。)  *治療の対象となる疾患に対して所期の目標を達成するまで行う一連の治療を1件としてください。	01 全身麻酔(静脈麻酔は除く)								件
	02 開頭手術								件
	03 人工心肺を用いた手術								件
	04 悪性腫瘍手術(内視鏡・胸腔鏡・腹腔鏡手術は除く)								件
	05 胃・大腸悪性腫瘍手術(再掲)								件
	06 肺悪性腫瘍手術(再掲)								件
	07 乳房悪性腫瘍手術(再掲)								件
	08 子宮悪性腫瘍手術(再掲)								件
	09 肝臓・胆嚢・膵臓悪性腫瘍手術(再掲)								件
	10 人工関節置換術								件
	11 ペースメーカー手術								件
	12 腹腔鏡下手術								件
	13 胸腔鏡下手術								件
	14 内視鏡下消化管手術								件
	15 経皮的冠動脈形成術								件
	16 経皮的動脈塞栓術								件
	17 網膜光凝固術*								件
	18 体外衝撃波結石破碎術* (体外衝撃波結石破碎装置の台数)								台
	19 I A B P (I A B P駆動装置の台数)								台
	20 ハイパーサーミア*								件
	21 放射線治療(体外照射法)* (放射線治療装置の台数)								台
	22 ガンマナイフ・定位多軌道照射(再掲)								件
	23 放射線治療(密封小線源治療)*								件
	24 人工透析 (人工透析装置の台数)								台
	25 分娩(正常分娩を含む)								件
	26 帝王切開娩出術(再掲)								件

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

<b>(19) 特殊診療設備</b> (厚生労働省の定める施設基準又は要件を満たすもの(「5 無菌治療室」, 「6 放射線治療室」は要件を満たすもの。それ以外は施設基準を満たすもの。))で、H19.1.1の午前0時現在の状態を記入してください。 1 月中の取扱患者延数は日数ではなく、各室を使用した回数で記入してください。)		病床数又は専用共用の別	1 月中の取扱患者延数		
	01 特定集中治療室	床	人		
	02 新生児特定集中治療室	床	人		
	03 母体・胎児集中治療室	床	人		
	04 広範囲熱傷特定集中治療室	床	人		
	05 無菌治療室(手術室は除く)	床	人		
	06 放射線治療病室	床	人		
	07 理学療法室	1 専用 2 共用 3 無	人		
	08 作業療法室	1 専用 2 共用 3 無	人		
	09 精神科作業療法室	1 専用 2 共用 3 無	人		
	10 精神科デイ・ケア室又は精神科ナイト・ケア室	1 専用 2 共用 3 無	人		
11 重度認知症患者デイ・ケア室	1 専用 2 共用 3 無	人			
<b>(20) 検査等の実施状況</b> (1 月中の各検査等の実施状況について、診療報酬上の算定件数を計上してください(診療報酬の請求をしていない施設においても、検査を実施した場合は件数を計上してください。)) 装置の台数については、H19.1.1の午前0時現在で記入してください(レンタルやリースのものも含みます。)) また、一つの機器で複数の機能を持つ場合は、各々の台数に計上してください。 「12」から「14」については、H19.1.1の午前0時現在で利用可能なものが存在するかどうかについて、該当する番号を○で囲んでください。)		1 月中の実施状況	装置の台数		
	01 上部消化管内視鏡検査	件			
	02 気管支内視鏡検査	件			
	03 大腸内視鏡検査	件			
	04 血管連続撮影	件			
	05 CTガイド下生検	件			
	06 MRI 検査	件	台		
	07 RI 検査(シンチグラム)	件	台		
	08 シングルフォトエミッションCT(SPECT) 検査	件	台		
	09 PET(陽電子断層撮影) 検査	件	台		
	10 スパイラルCT検査	件	台		
	11 乳房X線検査(マンモグラフィ)	件	台		
	12 DSA	1 有	2 無		
	13 コンピューテッドラジオグラフィ	1 有	2 無		
14 デジタル透視撮影	1 有	2 無			
<b>(21) 歯科設備</b> (前記「(10)診療科目」の「33 歯科」, 「34 矯正歯科」, 「35 小児歯科」, 「36 歯科口腔外科」のいずれかを○で囲んだ場合のみ記入してください。)	1 歯科診療台( 台)(※)	※H19.1.1の午前0時現在の保有設備について、該当する番号を○で囲み、「1 歯科診療台」を○で囲んだ場合は台数を記入してください。			
	2 パノラマX線装置	4 下顎運動解析診断装置	6 高周波電気メス		
	3 吸入麻酔装置	5 マイオモニター			
<b>(22) 看護の実施状況</b> (「入院基本料」は、特定入院等にかかる看護を除く部分の看護配置、看護補助配置について病棟毎に記入してください。「特定入院料にかかる看護」は、診療報酬に定める特定入院料を算定している場合に、「1 有」を○で囲んでください。)					
区分	精神病棟	結核病棟	一般病棟	療養病棟	
				医療保険適用	介護保険適用
入院基本料	看護配置	: 1	: 1	: 1	: 1
	看護補助配置	: 1	: 1	: 1	: 1
特定入院料にかかる看護	1 有 2 無		1 有 2 無	1 有 2 無	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(23) 病棟における看護職員 の体制 <small>(勤務形態、病棟種別毎に「配置 看護職員数」及び「(深)夜帯・準夜帯勤務者数別看護単位数」を記入してください。)</small>	勤務形態	病棟種別	配置看護職員等の数(※1)	看護単位数(※2)																																										
				(深)夜帯			準夜帯																																							
				1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上																																					
※1「配置看護職員等の数」については、該当する病棟の看護師及び准看護師の総数を上段に、看護業務補助者を下段に記入してください(いずれもパート職員を含みます)。なお、複数種類の病棟を有する病棟は、割合の一番高い病棟に該当する病棟欄に記入してください。  ※2 看護単位数とは、看護の責任者を置き、24時間継続した看護を行うために組まれたチーム数をいいます。 例 1病棟(50床)を1チーム(21人)の看護師等が三交代(日勤8人、準夜勤3人、深夜勤2人)で看護していた場合の1チームを1看護単位といたします。	三交代制	一般病棟																																												
		療養病棟																																												
		精神・結核病棟																																												
	二交代制	一般病棟								記載例 看護師等が三交代制で日勤8人、準夜勤3人、深夜勤務2人のチームが2つの場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(深)夜帯</th> <th colspan="3">準夜帯</th> </tr> <tr> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人以上</th> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 看護師等が三交代制で日勤6人、準夜勤2人、深夜勤務2人のチームが1つの場合 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(深)夜帯</th> <th colspan="3">準夜帯</th> </tr> <tr> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人以上</th> <th>1人</th> <th>2人</th> <th>3人以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(深)夜帯			準夜帯			1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上		2				2	(深)夜帯			準夜帯			1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上		1			1	
		(深)夜帯			準夜帯																																									
		1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上																																							
		2				2																																								
	(深)夜帯			準夜帯																																										
	1人	2人	3人以上	1人	2人	3人以上																																								
	1			1																																										
療養病棟																																														
精神・結核病棟																																														
当直制・その他	一般病棟																																													
	療養病棟																																													
	精神・結核病棟																																													
(24) 看護職員の週休状況 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 週休1日制	5 隔週週休2日制																																												
2 週休1日半制	6 月2回週休2日制																																													
3 完全週休2日制	7 月1回週休2日制																																													
4 月3回週休2日制	8 その他																																													
(25) 外来患者への処方数 <small>(1月中の通常の診療時間内に処方した院内処方数及び院外処方せん交付数を記入してください。)</small>	1 月中の延回数	院内処方数 回																																												
		院外処方せん交付数 回																																												
(26) ジェネリック医薬品 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	使用について	1 有      2 無      3 検討中																																												
	院外処方せん	1 発行している      2 発行していない      3 検討中																																												
(27) 財団法人日本病院評価機構の認定 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 認定を受けている	3 認定を受ける予定はない																																												
	2 認定を受けることを予定している	4 検討中																																												
(28) セカンド・オピニオン 外来の実施 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 有																																													
	2 無																																													
(29) 保健事業等の実施 <small>(該当するすべての番号を○で囲んでください。)</small>	1 人間ドック																																													
	2 保険者・企業等の委託等による健診・検診																																													
	3 保険者・企業等の委託等による集団的な保健指導																																													
	4 いずれも実施していない。																																													
(30) 受動喫煙防止対策の状況 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 敷地内を全面禁煙としている																																													
	2 施設内を全面禁煙としている																																													
	3 精神科・療養病棟・緩和ケア病棟については喫煙場所を設置し分煙を図り、その他の病棟については原則禁煙としている。																																													
	4 喫煙場所を設置し、分煙を図っている																																													
	5 何ら措置を講じていない																																													
(31) 栄養食事指導 <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	「1」を○で囲んだ場合、1月中の延件数も記入してください。																																													
	1 実施している (1月中の延件数 件)	2 実施していない																																												

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(32) 職員のための院内保育サービスの実施状況	(該当する番号をすべて○で囲んでください。)		
	1 院内で提供	2 院外で提供	3 提供していない

### 3 がん（※）対策について

※「がん」とは、本調査では、肉腫も含め悪性腫瘍全般を指します。

(1) 実施しているがんの部位別治療方法 (部位別治療方法すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。)	治療方法	実施状況		
		当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施（麻酔医の派遣含む）	実施していない
部位別がん				
01 脳腫瘍	手術療法	1	2	3
	うち経耳的聴神経腫瘍摘出術	1	2	3
	うち経鼻的下垂体腫瘍摘出術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
02 咽頭がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
03 舌がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
04 喉頭がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
05 甲状腺がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
06 乳がん	手術療法	1	2	3
	うち乳癌冷凍凝固摘出術	1	2	3
	乳房再建術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
07 肺がん	手術療法	1	2	3
	うち胸腔鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
08 食道がん	手術療法	1	2	3
	うち早期食道悪性腫瘍内視鏡的粘膜切除術	1	2	3
	表在性食道悪性腫瘍光線力学療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。



部位別がん	治療方法	実施状況		
		当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施（麻酔医の派遣含む）	実施していない
09 胃がん	手術療法	1	2	3
	うち内視鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	うち腹腔鏡による胃切除及び全摘術	1	2	3
	表在性早期胃癌光線力学療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
10 胆のうがん・胆管がん	手術療法	1	2	3
	うち腹腔鏡による胆のう摘出術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
11 肝がん	手術療法	1	2	3
	エタノールの局所注入	1	2	3
	肝悪性腫瘍マイクロ波凝固法	1	2	3
	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	1	2	3
	肝動脈塞栓術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
12 膵臓がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
13 大腸がん	手術療法	1	2	3
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	うち内視鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
14 腎がん	手術療法	1	2	3
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
15 膀胱がん	手術療法	1	2	3
	うち経尿道的切除術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
16 前立腺がん	手術療法	1	2	3
	うち腹腔鏡による悪性腫瘍切除術	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

部位別がん	治療方法	実施状況		
		当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施（麻酔医の派遣含む）	実施していない
17 子宮がん	手術療法	1	2	3
	レーザー照射治療	1	2	3
	光線力学療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
18 卵巣がん	手術療法	1	2	3
	化学療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
19 悪性リンパ腫	手術療法	1	2	3
	放射線療法	1	2	3
	骨髄移植等の移植治療	1	2	3
20 白血病	化学療法	1	2	3
	骨髄移植等の移植治療	1	2	3
(2) 院内がん登録の実施 (該当する番号を○で囲んでください。)	1 有      2 無      3 実施予定 ( 年 月 )      4 検討中			

#### 4 脳卒中（※）対策について

※「脳卒中患者」とは、本調査では、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血のいずれかを発症した患者を指します。

(1) 受け入れ可能な脳卒中患者の状態 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 急性期（脳卒中に対し積極的な治療が必要な状態）	
	2 回復期（脳卒中急性期を脱した患者で、リハビリテーションにより一定の機能回復が可能な状態。発症後60日以内を目安に180日まで）	
	3 維持期（脳卒中急性期、回復期を経た患者で、維持の向上が必要な状態。急性期から直接維持期に移行する場合もあり）	
	4 脳卒中患者の受け入れには積極的には対応していない	
(2) 脳卒中急性期患者に対する検査・治療 (検査・治療の対応可否について、通常診療時間帯と診療時間外のそれぞれに該当する番号を○で囲んでください。)		
区分	通常診療時間帯	診療時間外
01 放射線等機器検査 (MRI, CT等)	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可
02 臨床検査	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可
03 治療 (開頭手術, 脳血管手術等)	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可
(3) 脳卒中急性期患者を受け入れる専用病棟等の設置状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。なお、「1 設置している」を選択した場合は、病床数と付間にもお答えください。)	1 脳卒中専用集中治療室（SCU）またはそれに準じた専用病棟を設置している (病床数： _____ 床)	診療報酬上の脳卒中ケアユニット入院医療管理料の届出について 1 届出している 2 今後届出したい 3 届出は考えていない
	2 専用ではないが、主として脳卒中急性期患者を受け入れる病棟を決めている	
	3 設置していない	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(4) 脳卒中の急性期リハビリテーションの実施状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 急性期リハビリテーションを実施している 2 急性期医療のみ実施しており、リハビリテーションが必要な患者は他病院に紹介している 3 その他			
(5) 実施している脳卒中の治療方法 (治療方法すべてについて、実施状況として該当する番号を○で囲んでください。)	実施状況			
脳卒中の種類	治療方法	当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施(麻酔医の派遣含む)	実施していない
01 脳出血	脳内血腫摘出術	1	2	3
02 くも膜下出血	脳血管内手術(コイル塞栓術等)	1	2	3
	脳動脈瘤被包術, 脳動脈瘤クリッピング	1	2	3
03 脳梗塞 ※t-PA(tissue plasminogen activator)を用いた経静脈的血栓溶解療法については、実績が未だなくても、症例があれば実施できる体制があれば「1」ないし「2」を○で囲んでください。	開頭手術(バイパス移植術, 脳血管塞栓摘出術等)	1	2	3
	経皮的脳血管形成術(バルーン・ステント等)	1	2	3
	t-PA(※)を用いた経静脈的血栓溶解療法(発症後3時間以内)	1	2	3
(6) 脳卒中回復期患者の受入れ範囲 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 入院・外来とも受入れている 2 入院のみ受入れている 3 外来のみ受入れている			
(7) 脳卒中患者がリハビリテーション目的で入院できる病床 (該当する番号一つを○で囲んでください。「1 有」を選択した場合は、病床数も記入してください。)	1 有(病床数: _____ 床) 2 無			
(8) 脳卒中維持期患者の受入れ範囲 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 入院・外来とも受入れている 2 入院のみ受入れている 3 外来のみ受入れている			
(9) 脳卒中維持期患者に対する訪問診療の実施状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 実施している 2 実施していない			

## 5 急性心筋梗塞対策について

(1) 冠状動脈疾患専用集中治療室(CCU)等の設置状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 CCUまたはそれに準じた専用病棟を設置している(病床数 _____ 床) 2 専用ではないが、主として急性心筋梗塞患者を受入れる病棟を決めている 3 設置していない	
(2) 急性心筋梗塞患者に対する検査・治療	(検査・治療の対応可否について、通常診療時間帯と診療時間外のそれぞれに該当する番号を○で囲んでください。)	
区分	通常診療時間帯	診療時間外
01 放射線等機器検査(心電図, 胸部X線写真等)	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可
02 臨床検査	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可
03 治療(開胸手術, 経皮的冠動脈形成手術等)	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可	1 いつでも対応可能 2 曜日・時間帯により対応可能 3 対応不可

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(3)実施している急性心筋梗塞の治療方法 (治療方法すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。)	実施状況		
	当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施(麻酔医の派遣含む)。	実施していない。
治療方法			
01 冠動脈バイパス手術	1	2	3
02 冠動脈閉塞に対する経皮的治療(カテーテルによる治療)	1	2	3
03 経静脈的血栓溶解療法	1	2	3

## 6 糖尿病対策について

(1)糖尿病診療スタッフの配置状況 (診療スタッフの常勤者の人数及び非常勤の有無について記入してください。)	1 日本糖尿病療養指導士認定機構その他の団体が認定する糖尿病療養指導士		常勤	非常勤	
	2 糖尿病の診療に従事する管理栄養士		人	1 有 2 無	
(2)実施している糖尿病の治療方法 (治療方法すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。)	実施状況				
	治療方法	当院の設備・常勤スタッフで実施	外部より非常勤医師等の応援を求めて実施(麻酔医の派遣含む)	実施していない	
01 強化インスリン療法	1	2	3		
02 インスリン皮下持続注入療法	1	2	3		
03 人工臓臓	1	2	3		
(3)人工透析を必要とする糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症、糖尿病性足病変への対応 (1から3の傷病への対応可否について、該当する番号を○で囲んでください。)	1 人工透析を必要とする糖尿病性腎症		1 可 2 否		
	2 糖尿病性網膜症		1 可 2 否		
	3 糖尿病性足病変(足の血流の悪化、皮膚の潰瘍・壊疽)		1 可 2 否		
(4)糖尿病教育入院及び糖尿病教室(日帰り)の実施状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 教育入院と日帰り教室の両方を実施している 2 教育入院のみを実施している 3 日帰り教室のみを実施している 4 いずれも実施していない				
(5)糖尿病指導の実施状況 (糖尿病指導すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。)	1 自院のスタッフのみで実施	2 自院のスタッフと外部から招いた職員等で実施	3 外部から招いた職員のみで実施	4 外部機関に委託等して実施	
	01 運動指導	1	2	3	4
	02 栄養(食生活)指導	1	2	3	4
	03 禁煙指導	1	2	3	4
	04 生活指導	1	2	3	4
(6)関係機関との連携 (関係機関との連携状況すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。なお、「1有」を選択した場合は、付間にもお答えください。)	01 医療機関との連携	1 有	1 症例検討 2 その他		
		2 無			
	02 保健所、市町村保健センターとの連携	1 有	1 糖尿病関連会議等の参画 3 検診の協力 2 講演、健康教育の協力 4 その他		
		2 無			
	03 職域、産業保健部門との連携	1 有	1 糖尿病関連会議等の参画 3 検診の協力 2 講演、健康教育の協力 4 その他		
		2 無			

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

## 7 周産期医療について

<b>(1) 周産期医療の状況</b> <small>(周産期医療について、該当する番号を○で囲み、H17.1.1 からH17.12.31までの1年間の件数を記入してください。)</small>	周産期医療について		1 実施している 2 実施していない		
	↓				
	実施している場合は次の項目について、それぞれ該当番号を○で囲み、件数を記入してください。				
	項目		対応の可否 該当番号に○	H17.1.1～ H17.12.31の件数	
	01 分娩		1 可 2 否	件	
	02 母体搬送受入		1 可 2 否	件	
	うち緊急搬送受入		1 可 2 否	件	
	03 他の医療機関への母体搬送依頼件数		/	件	
	04 他の医療機関への新生児搬送依頼件数			件	
05 MFICU入院患者数			人		
06 NICU入院患者数	総数		人		
	うち院内出生		人		
	うち院外出生（新生児搬送数）		人		
07 妊婦健診		1 実施している	2 実施していない		

## 8 小児医療について

<b>(1) 小児科専用病床の設置状況</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 設置している（病床数 _____ 床） 2 設置していない
<b>(2) 時間外の小児救急診療への対応</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 いつでも対応している 2 対応していない 3 一部の曜日・時間帯に限って対応している
<b>(3) 時間外の小児救急診療における対応医師</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 病棟兼任の（当直）医師である小児科医師が診療する 2 病棟勤務の医師以外に、救急患者対応として配置している小児科医師が診療する 3 当日の勤務体制によるため、必ずしも小児科医師が診療するとは限らない

## 9 救急医療について

<b>(1) 時間外救急診療への対応</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 対応している 2 対応していない	
<b>(2) 救急告示（※）の有無</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 有 2 無 <small>※「救急病院等を定める省令」第2条第1項の規定に基づき、救急病院として都道府県知事に告示された病院。</small>	
<b>(3) 救急医療体制</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 初期 2 二次 3 三次（救命救急センター） 4 体制なし	
<b>(4) 時間外救急診療における医師・看護師の配置状況</b> <small>(時間外救急診療における医師・看護師の配置状況および日本救急医学会の救急科専門医資格保有者の有無について、該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>		
	配置の有無	救急科専門医資格保有者の有無
01 常勤の救急専任医師	1 有 2 無	1 有 2 無
02 常勤の病棟兼任医師	1 有 2 無	1 有 2 無
03 非常勤の医師	1 有 2 無	/
04 専任の看護師	1 有 2 無	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

05 放射線技師	1 有	2 必要に応じオンコール	3 無					
06 臨床検査技師	1 有	2 必要に応じオンコール	3 無					
(5)夜間（深夜を含む）の救急対応（オンコールでの対応も含む）	「(3)救急医療体制」の「1 初期」～「3 三次」に該当する施設は、該当する番号を○で囲んでください。なお、オンコールでの対応も「可能」に含めてください。							
診療科目名	平日（月～金曜）				休日（土曜・日曜・祝日）			
	毎日可能	週3～4日可能	週1～2日可能	不可能	土曜日可能	日曜日可能	祝日可能	不可能
01 内科	1	2	3	4	1	2	3	4
02 整形外科	1	2	3	4	1	2	3	4
03 小児科	1	2	3	4	1	2	3	4
04 精神科	1	2	3	4	1	2	3	4
05 産科	1	2	3	4	1	2	3	4
06 耳鼻いんこう科	1	2	3	4	1	2	3	4
07 眼科	1	2	3	4	1	2	3	4
08 脳神経外科（開頭術が可能）	1	2	3	4	1	2	3	4
09 循環器科（心臓カテーテルが可能）	1	2	3	4	1	2	3	4
10 消化器外科（開腹術が可能）	1	2	3	4	1	2	3	4
11 多発外傷への対応	1	2	3	4	1	2	3	4
(6)夜間（深夜を含む）の救急対応ができない場合の他医療機関との連携状況  <small>（夜間（深夜）の救急対応ができない場合に備え、日頃から連携し、救急患者を移送（紹介）できる医療機関の有無について、該当する番号を○で囲んでください。）</small>	診療科目名			連携先の有無				
	01 内科	1 有		2 無				
	02 整形外科	1 有		2 無				
	03 小児科	1 有		2 無				
	04 精神科	1 有		2 無				
	05 産科	1 有		2 無				
	06 耳鼻いんこう科	1 有		2 無				
	07 眼科	1 有		2 無				
	08 脳神経外科	1 有		2 無				
	09 循環器科	1 有		2 無				
10 消化器外科	1 有		2 無					

## 10 災害医療について

(1)災害対応の状況  <small>（整備済みの番号を○で囲んでください。）</small>	1 自家発電装置	4 飲料水の備蓄	7 簡易ベッド	10 ヘリポート
	2 貯水設備	5 食料の備蓄	8 非常用通信設備	11 医療救護班の編成
	3 医薬品の備蓄	6 毛布の備蓄	9 非常用燃料	12 エアレント

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

## 1 1 在宅医療について

<b>(1) 在宅医療サービスの実施状況等</b> <small>(訪問診療で対応可能な医療行為について、該当する番号すべてを○で囲んでください。なお、「医療保険等による」については、診療報酬点数表に定められたサービス、もしくは同等のサービスを提供した件数を記入し、「介護保険による」については、指定居宅サービス、指定居宅介護支援、指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準に定められたサービスを提供した件数を記入してください。)</small>	サービスの種類 (併設施設により実施されたサービスは除く)	対応の可否 該当番号に○	対応可能な場合 11月中の件数	
	医療保険等による	01 往診	1 可 2 否	件
		02 在宅時医学管理	1 可 2 否	件
		03 在宅患者訪問診療	1 可 2 否	件
		04 歯科訪問診療	1 可 2 否	件
		05 在宅末期医療総合診療	1 可 2 否	件
		06 在宅患者訪問看護・指導	1 可 2 否	件
		07 精神科訪問看護・指導	1 可 2 否	件
		08 在宅訪問リハビリテーション指導管理	1 可 2 否	件
		09 訪問看護ステーションへの指示書交付	1 可 2 否	件
		10 在宅療養機器貸出し	1 可 2 否	件
	介護保険による	11 居宅療養管理指導 (医師によるもの)	1 可 2 否	件
		12 居宅療養管理指導 (歯科医師によるもの)	1 可 2 否	件
		13 居宅療養管理指導 (歯科衛生士等によるもの)	1 可 2 否	件
		14 居宅療養管理指導 (薬剤師によるもの)	1 可 2 否	件
		15 居宅療養管理指導 (管理栄養士によるもの)	1 可 2 否	件
		16 訪問看護	1 可 2 否	件
		17 訪問リハビリテーション	1 可 2 否	件
<b>(2) 在宅医療サービスで対応可能な医療行為</b> <small>(訪問診療で対応可能な医療行為について、該当するすべての番号を○で囲んでください。)</small>	1 点滴の管理 2 中心静脈栄養 3 経鼻経管栄養 4 経皮経管栄養 (胃ろう又は腸ろう) 5 気管切開部の処置 6 人工肛門の管理 7 人工膀胱の管理 8 酸素療法	9 透析 (CAPD) 10 レスピレーター (人工呼吸器) の管理 11 疼痛の管理 12 モニター測定 (血圧・心拍等) 13 じょくそうの管理 14 尿カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル等)		
<b>(3) 訪問診療を担当する医療従事者</b> <small>(非常勤医師等の数は、「2 基礎項目」の「(9) 従事者数」に示した方法で常勤換算し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表記してください。)</small>		常勤	非常勤	
01 医師		人	人	
02 看護職員		人	人	
03 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士		人	人	
04 その他		人	人	

## 1 2 地域における連携状況について

<b>(1) 患者の受入れ・紹介体制</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	1 地域医療連携室を設置し、医療機関から患者の受入れ等を行っている 2 地域医療連携室の名称を用いていないが、医療機関から患者の受入れ等を行う体制を整備している 3 医療機関から患者の受入れ等を行うための体制は、特に整備していない
<b>(2) 地域連携退院時共同指導の実施状況 (※)</b> <small>(該当する番号一つを○で囲んでください。)</small>	<small>※地域連携退院時共同指導とは、入院医療機関の医師と退院後の療養を支援する医師及び訪問看護ステーションの看護師等が共同し、退院予定の患者の在宅療養に関し、患者又は家族等に説明・指導を行い、その内容についてに文書にて提供するもの。</small> 1 実施している      2 実施していない
<b>(3) 地域ケア会議や介護支援サービス担当者会議への参画状況</b>	<small>(市町村等が開催する地域ケア会議や介護支援専門員が開催するサービス担当者会議への参画について、該当する番号一つを○で囲んでください。)</small> 1 有      2 無

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(4) 紹介医師との相互連携	(紹介患者について定期的に報告や連絡を行うなど紹介医師との相互連携状況について、該当する番号一つを○で囲んでください。) 1 実施している      2 実施していない		
(5) 診療所への後方支援体制	(該当する番号一つを○で囲んでください。) 1 急変時に緊急入院を受入れている      3 診療に関する相談を受けている 2 研修会・症例検討会を実施している      4 積極的な後方支援は実施していない		
(6) 他施設に勤務する医師 (地域の開業医など)による設備等の利用	(他施設に勤務する医師に設備等を利用させているかどうかについて、該当する番号を○で囲んでください。なお、「1 利用させている」を選択した場合は、付問についても該当する番号すべてを○で囲んでください。)		
	1 利用させている	1 研修会    3 外来診療設備    5 手術設備    7 その他 2 検査設備    4 入院診療設備    6 実地訓練	
(7) 他の施設への患者の紹介人数 (H19.1月の実績について記入してください。)	病院（介護療養型医療施設を除く）		人
	診療所（介護療養型医療施設を除く）		人
	介護保険施設		人
	その他		人
(8) 他の施設からの患者紹介・受入れ数 (H19.1月の実績について記入してください。)	病院（介護療養型医療施設を除く）		人
	診療所（介護療養型医療施設を除く）		人
	介護保険施設		人
	その他		人
(9) 地域連携クリティカルパス（※）の導入 (地域連携クリティカルパスの導入状況について、該当する番号を○で囲んでください。なお、「1 有」を選択した場合は、種類数も記入してください。)	※「地域連携クリティカルパス」とは、急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いるものです。 1 有（種類の数      種類）      2 無      3 検討中		
(10) 他医療機関等との電子カルテの共有	(該当する番号一つを○で囲んでください。) 1 有      2 無      3 導入予定		

### 1.3 リハビリテーション医療について

(1) リハビリテーション医療の実施状況	(該当する番号一つを○で囲んでください。) 1 実施している      2 実施していない		
(2) リハビリテーションが必要な患者のために専用で確保している病床数 (リハビリテーション専用病床について、該当する病床数をそれぞれ記入してください。)	リハビリテーション専用病床		床
	うち一般病床		床
	うち回復期リハビリテーション病棟 (回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準の届出を行っているもの)		床
	うち療養病床		床
(3) リハビリテーション部門専任医師数と、そのうちの専門医資格保有者数 (リハビリテーション専門医師数等について、該当する医師数をそれぞれ記入してください。)	リハビリテーション部門専任医師数	常勤	人
		非常勤（実数）	人
	うち日本リハビリテーション医学会専門医資格保有者数		人
(4) リハビリテーション医療の充実 (今後リハビリテーションを充実させたいかどうかについて、該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 充実させたいと考えている 2 当面の間は現状を維持する予定である 3 今のところ未定である		
(5) 今後充実させたいと考えている内容 (リハビリテーション医療に関して今後充実させたいと考えている内容について、該当する番号に優先順位を数字で記入してください。)			優先順位 (数字で3つまで記入)
	1 リハビリテーション料の施設基準の届出		
	2 リハビリテーション専門病床の整備		
	3 訓練室の施設改善		

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。



	4 リハビリテーション医療機器の整備・更新	
	5 リハビリテーション関連医療従事者の確保・増員	
	6 地域リハビリテーションに対する支援への積極的な取組	
	7 その他	
(6) 今後充実させたいと考えているリハビリテーション料の施設基準の種類 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 心大血管疾患リハビリテーションⅠ 2 心大血管疾患リハビリテーションⅡ 3 脳血管疾患等リハビリテーションⅠ 4 脳血管疾患等リハビリテーションⅡ 5 運動器リハビリテーションⅠ	6 運動器リハビリテーションⅡ 7 呼吸器リハビリテーションⅠ 8 呼吸器リハビリテーションⅡ 9 難病患者リハビリテーション 10 障害児(者)リハビリテーション
(7) 今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 一般病床を使用したリハビリテーション専門病床 2 回復期リハビリテーション病棟(回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準の届出が必要なもの)の整備 3 療養病床を使用したリハビリテーション専門病床	

#### 1.4 緩和ケアについて

(1) 緩和ケアの実施状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。なお、「1」と「2」を選択した場合、病床数も記入してください。)	1 緩和ケア病棟入院料の届出を行っている (緩和ケア病棟の病床数: _____ 床) 2 緩和ケア診療加算の届出を行っている (緩和ケア専用病床数: _____ 床) 3 上記1, 2には該当しないが、院内で緩和ケアチームを組み、緩和ケアを提供している 4 積極的な実施体制を整備していない
(2) 緩和ケア病棟又は緩和ケアチームにおける各職種の数	(「(1)で「1」に○を囲んだ場合のみ、各職種の人数を記入してください。)
	01 医師 人 06 薬剤師 人 02 看護職員 人 07 管理栄養士・栄養士 人 03 看護補助職員 人 08 ボランティア 人 04 医療社会事業従事者 人 09 その他 人 05 臨床心理士 人
(3) 緩和ケア外来の設置状況及びH18.1.1~12.31における外来患者数	(該当する番号一つを○で囲んでください。なお、「1 設置している」を選択した場合、H18.1.1~H18.12.31における外来患者数も記入してください。) 1 設置している (外来患者数: _____ 人) 2 設置していない
(4) 在宅療養患者への緩和ケア提供体制 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 訪問診療を実施している 4 急変時に一般病棟への入院を受入れている 2 訪問看護を実施している 5 診療所又は訪問看護ステーションを支援している 3 急変時に緩和ケア病棟への入院を受入れている 6 積極的な実施体制を整備していない
(5) 緩和ケア病棟又は緩和ケアチームが連携している診療所や訪問看護ステーションの箇所数	(連携している診療所・訪問看護ステーションの箇所数について、それぞれ記入してください。) 1 診療所 (_____ 箇所) 2 訪問看護ステーション (_____ 箇所)
(6) 緩和ケア実施に関する課題 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 緩和ケアを必要とする患者が少ない、またはいない 2 緩和ケアチームの設置など人員体制を整備するのが難しい 3 緩和ケア病棟または病床を整備するのが難しい 4 緩和ケアの実施は採算性が悪い 5 その他
(7) 緩和ケアの実施に関する課題について今後の予定 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 緩和ケア病棟入院料の施設基準の届出を行う予定がある 2 緩和ケア加算の施設基準の届出を行う予定がある 3 上記1, 2には該当しないが、院内で緩和ケアチームを組み、緩和ケアを提供する予定がある 4 当面の間は現状を維持する予定である 5 今のところ未定である

#### 1.5 精神医療について

(1) 精神医療の対応状況 (精神医療のすべての項目における対応の可否について、該当する番号を○で囲んでください。)	項目	対応の可否	
	01 精神科救急医療	1 可	2 否
	02 アルコール依存症の専門的診療	1 可	2 否

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

	03 薬物依存症の専門的診療	1 可	2 否
	04 思春期の専門的診療	1 可	2 否
	05 ストレス障害の専門的診療	1 可	2 否
	06 てんかんの専門的診療	1 可	2 否
	07 老年期精神疾患の専門的診療	1 可	2 否

### 16 感染症対策について

(1) 感染症医療対応の状況 (整備の有無について該当するすべての番号を○で囲んでください。)	項目	対応状況
	01 眼の防護具（フェイスシールド又はゴーグル）	1 有 2 無
	02 インフルエンザ迅速診断キット	1 有 2 無
	03 センサー付き手洗い	1 有 2 無
	04 N95マスク	1 有 2 無
	05 陰圧室	1 有 2 無
	06 感染管理認定看護師	1 有 2 無

### 17 臓器等移植対策について

(1) 臓器等移植医療の対応状況 (臓器等移植医療の対応可否について該当するすべての番号を○で囲んでください。)	項目	対応の可否	項目	対応の可否
	01 角膜移植術	1 可 2 否	11 同種死体肝移植術	1 可 2 否
	02 移植用肺採取術（死体）	1 可 2 否	12 移植用脾採取術（死体）	1 可 2 否
	03 同種死体肺移植術	1 可 2 否	13 同種死体脾移植術	1 可 2 否
	04 移植用心採取術	1 可 2 否	14 移植用脾採取術（死体）	1 可 2 否
	05 同種心移植術	1 可 2 否	15 同種死体脾腎移植術	1 可 2 否
	06 移植用心肺採取術	1 可 2 否	16 移植用腎採取術（生体）	1 可 2 否
	07 同種心肺移植術	1 可 2 否	17 移植用腎採取術（死体）	1 可 2 否
	08 移植用部分肝採取術（生体）	1 可 2 否	18 同種腎移植術	1 可 2 否
	09 生体部分肝移植	1 可 2 否	19 骨髄移植	1 可 2 否
	10 移植用肝採取術（死体）	1 可 2 否	20 臍帯血移植	1 可 2 否

### 18 電子システム等について

(1) 電子カルテの導入等	01 電子カルテの導入 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 有      2 無      3 導入予定      4 検討中
	02 電子カルテの活用状況 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 自施設内で活用 2 患者への治療方針の説明などに活用 3 他の医療機関との連携に活用
(2) レセプト電算システムの導入 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 有      2 無      3 導入予定      4 検討中	
(3) ホームページの開設等	01 ホームページの開設 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 有      2 無      3 開設予定      4 検討中
	02 ホームページアドレス	http://

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

	03 サイトの掲載内容 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 手術・治療の内容や件数等の診療実績 2 第三者機関が実施した病院の評価結果 3 差額ベッド代や自由診療に係る費用等を含む自己負担額 4 医師の氏名、略歴、専門分野等 5 連携している医療機関名 6 セカンドオピニオンを求める患者への対応体制
(4) 遠隔医療システム (該当する番号一つを○で囲んでください。)	01 遠隔画像システム	1 有    2 無    3 導入予定    4 検討中
	02 遠隔病理診断	1 有    2 無    3 導入予定    4 検討中
	03 在宅療養支援	1 有    2 無    3 導入予定    4 検討中
(5) オーダリングシステムの導入状況 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 検査    2 処方    3 予約    4 導入していない	

### 19 難病等対策について

(1) 対応可能な難病(特定疾患) (対応可能な難病について該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 ベーチェット病	23 ハンチントン病
	2 多発性硬化症	24 モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)
	3 重症筋無力症	25 ウェゲナー肉芽腫病
	4 全身性エリテマトーデス	26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症
	5 スモン	27 多系統萎縮症(線条体黒質変性症, オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)
	6 再生不良性貧血	28 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)
	7 サルコイドーシス	29 膿疱性乾癬
	8 筋萎縮性側索硬化症	30 広範脊柱管狭窄症
	9 強皮性・皮膚筋炎・多発性筋炎	31 原発性胆汁性肝硬変
	10 特発性血小板減少性紫斑病	32 重症急性膵炎
	11 結節性動脈周囲炎	33 特発性大腿骨頭壊死症
	12 潰瘍性大腸炎	34 混合性結合組織病
	13 大動脈炎症候群	35 原発性免疫不全症候群
	14 ビュルガー病	36 特発性間質性肺炎
	15 天疱瘡	37 網膜色素変性症
	16 脊髄小脳変性症	38 プリオン病
	17 クロウン病	39 原発性肺高血圧症
	18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	40 神経線維腫症(I・II型)
	19 悪性関節リウマチ	41 亜急性硬化症全脳炎
	20 パーキンソン病関連疾患 (進行性核上性麻痺, 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	42 バット・キアリ症候群
	21 アミロイドーシス	43 特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)
	22 後縦靭帯骨化症	44 ラインゾーム病(ファブリー[FABLY]病を含む)
	45 副腎白質ジストロフィー	

御協力ありがとうございました。

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

## 福島県医療機能調査票（一般診療所）

平成19年1月1日現在

※保健所符号	
※市区町村コード	

上欄には記入しないでください。

### 1 調査票記入者名

(1) 部署	
(2) 職名	
(3) 氏名	
(4) 連絡先 TEL	
(5) 連絡先 FAX	
(6) メールアドレス	

### 2 基礎項目

(1) ※医療機関コード	 記入いただかなくて結構です。空欄のまま提出してください。		
(2) 施設名			
(3) 施設の住所	〒		
(4) 電話番号（代表）	（電話番号 昼間）	（ ）	—
F A X 番号（代表）	（電話番号 夜間）	（ ）	—
	（F A X 番号）	（ ）	—
(5) 休止・休診の状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	<b>1 休止中                      2 1年以上休診中                      3 1年未満休診中</b> <small>※「休止」とは、医療法上の休止届を既に出してある状態。            ※「休診」とは、H19.1.1 現在、休診の状態(年末年始の休診を除く)。            ※「1」又は「2」の施設は、「2 基礎項目」の「(1)施設名」～「(4)電話番号FAX番号」, 「(8)社会保険診療等の状況」を記入し、それ以外は記入する必要はありません。「3」の施設は、すべての項目に可能な限り記入してください。</small>		
(6) 病床数 (各病床数について、区分ごとに記入してください。)	区分	病床数	
	01 療養病床		床
	02 うち医療保険適用		床
	03 うち介護保険適用		床
	04 一般病床		床
	05 合計		床

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(7) 診療科目 (広告・標榜する診療科目について、該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 内科	13 整形外科	25 気管食道科						
	2 呼吸器科	14 形成外科	26 皮膚科						
	3 消化器科(胃腸科)	15 美容外科	27 泌尿器科						
	4 循環器科	16 脳神経外科	28 性病科						
	5 小児科	17 呼吸器外科	29 こう門科						
	6 精神科	18 心臓血管外科	30 リハビリテーション科						
	7 神経科	19 小児外科	31 放射線科						
	8 神経内科	20 産婦人科	32 麻酔科						
	9 心療内科	21 産科	33 歯科						
	10 アレルギー科	22 婦人科	34 矯正歯科						
	11 リウマチ科	23 眼科	35 小児歯科						
	12 外科	24 耳鼻いんこう科	36 歯科口腔外科						
二つ以上の科目を○で囲んだ場合は、主たる診療科目の番号を右欄に記入してください。 ※主たる診療科は、①患者数の多い診療科、①で判断できない場合は②院長又は常勤医若しくは管理医師の主たる専門科目、②でも判断できない場合は③院長判断によることとします。			37 <input type="text"/>						
(8) 社会保険診療等の状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 保険医療機関又は保険医 2 自由診療のみ								
(9) 併設施設の状況 (該当するすべての番号を○で囲んでください。) ※併設とは、同一法人(法人が異なっても実質的に同一経営の場合を含みます。)が同一敷地内又は隣接の敷地内で「1」～「12」の施設を運営する場合があります。「法人が異なっても実質的に同一経営」とは、例えば医療法人の病院と社会福祉法人の介護老人福祉施設を運営している者が同じ場合等をいいます。	1 介護老人保健施設 2 介護老人福祉施設 3 訪問看護ステーション 4 訪問介護事業所 5 通所介護事業所 6 認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)	7 有料老人ホーム・軽費老人ホーム(ケアハウス) 8 居宅介護支援事業所 9 地域包括支援センター 10 健診センター 11 医療関係者の養成施設 12 健康増進施設 13 01～12の施設該当なし							
(10) 診療所の種類 (専門又は主として行っている業務について、該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 一般診療業務を行っている診療所 2 相談・指導業務を専らとする診療所 3 採血及び供血を専らとする診療所 4 検診業務(集団・個別)を専らとする診療所 5 検査業務を専らとする診療所 6 主として人工透析を行っている診療所 7 巡回診療を専らとする診療所 8 休日夜間救急センター 9 介護保険サービス提供を主とする診療所								
(11) 期間診療所等 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 特定の期間(季節)にのみ診療を行っている診療所 2 事業所内の診療所 3 市町村保健センター内の診療所 4 救急病院等を定める省令に基づき救急診療所として福島県知事より告示されている診療所 5 上記に該当する診療所ではない								
(12) 表示診療時間の状況 (毎週診療を行っている旨表示している時間帯を含む区分の番号をすべて○で囲んでください。)		月	火	水	木	金	土	日	休日
	午 前	1	1	1	1	1	1	1	1
	午 後	2	2	2	2	2	2	2	2
	18時以降	3	3	3	3	3	3	3	3

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(13) 表示診療時間外の対応

(表示診療時間外の夜間の救急患者等への対応について、それぞれ該当する番号を○で囲んでください。)

- 1 緊急時の連絡体制を整備し、診療に応じている
- 2 できるだけ求めに応じるようにしている
- 3 診療時間外は医師不在等のため、原則診療には応じていない

上記で1・2の場合の夜間の救急対応(オンコールでの対応も含む)について、対応可能な診療科・曜日の該当番号すべてを○で囲んでください。

診療科目名	月曜～金曜日			土曜・日曜・祝日		
	毎日可能	週3～4日可能	週1～2日可能	土曜可能	日曜可能	祝日可能
1 内科	1	2	3	1	2	3
2 整形外科	1	2	3	1	2	3
3 小児科	1	2	3	1	2	3
4 精神科	1	2	3	1	2	3
5 産科	1	2	3	1	2	3
6 耳鼻いんこう科	1	2	3	1	2	3
7 眼科	1	2	3	1	2	3
8 脳神経外科(開頭手術が可能)	1	2	3	1	2	3
9 循環器科(心臓カテーテルが可能)	1	2	3	1	2	3
10 消化器外科(開腹手術)	1	2	3	1	2	3
11 多発性外傷への対応	1	2	3	1	2	3

夜間(深夜を含む)の救急対応ができない場合の他医療機関との連携状況(日ごろから連携して患者を移送(紹介)できる医療機関の有無)について、該当番号一つを○で囲んでください。

診療科目名	連携先の有無	
1 内科	1 有	2 無
2 整形外科	1 有	2 無
3 小児科	1 有	2 無
4 精神科	1 有	2 無
5 産科	1 有	2 無
6 耳鼻いんこう科	1 有	2 無
7 眼科	1 有	2 無
8 脳神経外科	1 有	2 無
9 循環器科	1 有	2 無
10 消化器外科	1 有	2 無

<b>(14) 在宅医療サービスの実施状況等</b> (在宅医療サービスの実施状況等について、該当する番号をそれぞれ○で囲み、また届出月・件数・箇所数を記入してください。)	在宅療養支援診療所の届出 1 届出済み (H18年 <input type="text"/> 月)      2 届出予定有り      3 していない			
	↓ 届出後、H18.12.31までに訪問診療を行った患者の実人数		人	
	届出後、H18.12.31までに看取った患者数		人	
	サービスの種類 (併設施設により実施されたサービスは除く)	対応の可否 該当番号に○	対応可能な場合 1月中の件数	
	医療保険等による	01 往診	1 可 2 否	件
		02 在宅時医学管理	1 可 2 否	件
		03 在宅患者訪問診療	1 可 2 否	件
		04 歯科訪問診療	1 可 2 否	件
		05 在宅末期医療総合診療	1 可 2 否	件
		06 在宅患者訪問看護・指導	1 可 2 否	件
		07 精神科訪問看護・指導	1 可 2 否	件
		08 在宅訪問リハビリテーション指導管理	1 可 2 否	件
		09 訪問看護ステーションへの指示書交付	1 可 2 否	件
		10 在宅療養機器貸出し	1 可 2 否	件
	介護保険による	11 居宅療養管理指導 (医師によるもの)	1 可 2 否	件
12 居宅療養管理指導 (歯科医師によるもの)		1 可 2 否	件	
13 居宅療養管理指導 (歯科衛生士等によるもの)		1 可 2 否	件	
14 居宅療養管理指導 (薬剤師によるもの)		1 可 2 否	件	
15 居宅療養管理指導 (管理栄養士によるもの)		1 可 2 否	件	
16 訪問看護		1 可 2 否	件	
17 訪問リハビリテーション		1 可 2 否	件	
訪問診療で対応可能な医療行為について、該当する番号すべてを○で囲んでください。				
1 点滴の管理 2 中心静脈栄養 3 経鼻経管栄養 4 経皮経管栄養 (胃ろう又は腸ろう) 5 気管切開部の処置人工肛門の管理 6 人工肛門の管理 7 人工膀胱の管理 8 酸素療法	9 透析 (CAPD) 10 レスピレーター (人工呼吸器) の管理 11 疼痛の管理 12 モニター測定 (血圧・心拍等) 13 じょくそうの管理 14 尿カテーテル (コンドームカテーテル、留置カテーテル等)			
在宅医療に関して連携している医療機関等の箇所数を記入してください。				
区分	貴院所在市町村内	貴院所在市町村以外		
01 病院	箇所	箇所		
02 一般診療所	箇所	箇所		
03 歯科診療所	箇所	箇所		
04 保険薬局	箇所	箇所		
05 訪問看護ステーション	箇所	箇所		
06 介護保険施設	箇所	箇所		
07 指定居宅介護支援事業者	箇所	箇所		
患者に関して、連携先との定期的な報告や打合せ、会議等の実施	1 実施している	2 実施していない		

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

<b>(15) 麻酔及び手術等の状況</b> (該当する項目に1月中の実施件数・台数を記入してください。)  ※一連のものは1件として記入してください。	項目	実施件数・台数		
	01 全身麻酔（静脈麻酔は除く）		件	
	02 内視鏡下消化管手術（生検目的を除く）		件	
	03 悪性腫瘍手術（内視鏡，胸腔鏡，腹腔鏡による手術を除く）		件	
	04 うち胃・大腸悪性腫瘍手術		件	
	05 うち乳房悪性腫瘍手術（生検目的を除く）		件	
	06 うち子宮悪性腫瘍手術（生検目的を除く）		件	
	07 体外衝撃波結石破砕術（一連のものは1件）		件	
	08 体外衝撃波結石破砕装置台数		台	
	09 網膜光凝固術（一連のものは1件）		件	
	10 人工透析（腹膜透析を除く）		件	
	11 人工透析装置台数		台	
	12 分娩（正常分娩を含む。死産を除く）		件	
13 うち帝王切開娩出術		件		
<b>(16) 検査等の実施状況</b> (該当する項目に1月中の実施件数・台数を記入してください。)  ※一連のものは1件として記入してください。	項目	実施件数	台数等	
	01 上部消化管内視鏡検査		件	
	02 気管支内視鏡検査		件	
	03 大腸内視鏡検査		件	
	04 超音波断層法検査		件	
	05 単純X線撮影		件	
	06 消化管造影検査		件	
	07 乳房X線検査（マンモグラフィ）		件	台
	08 MRI検査		件	台
	09 X線CT検査		件	台
	10 PET（陽子電子断層撮影）検査		件	台
11 骨塩量測定		件		
<b>(17) 歯科設備</b> (該当する項目番号をそれぞれ○で囲んでください。また歯科診療台については、台数を記入してください。)  ※一連のものは1件として記入してください。	項目	設備の有無		台数
	01 歯科診療台	1 有	2 無	台
	02 パノラマX線装置	1 有	2 無	
	03 吸入麻酔装置	1 有	2 無	
	04 下顎運動解析装置	1 有	2 無	
	05 マイオモニター	1 有	2 無	
06 高周波電気メス	1 有	2 無		

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。



**(18) 従事者数**

(H19.1.1 の 24 時現在に在籍する下記の職種・有資格者すべてにかかる従事者の状況について、数字を記入してください(派遣労働者・一般従事者と同様の勤務状況の家族従事者を含む)。

複数の免許を有する場合又は複数の業務に従事している場合は、主な業務を1つ決め、該当する欄に計上してください。)

※非常勤の常勤換算について

- 1 非常勤(常勤換算)欄には、常勤以外の従事者について施設で定めた1週間の勤務時間(32時間未満の場合は32時間に切り上げ)により換算して記入してください。
- 2 勤務時間が1週間サイクルでない場合は、所要の調整(例えば、月1回(4週に1回)のみの勤務サイクルである場合には1/4を乗じるなど)をしてください。
- 3 当直にあたる者について換算する場合の分母は、施設で定めた1週間の勤務時間(32時間未満の場合は、32時間に切り上げ)の2倍としてください。換算後の数値は、小数点以下第2位を四捨五入し、表示は小数点以下第1位までとしますが、1人について1を超える場合は「1.0人」としてください。

<計算例>

例1 1週間の通常の勤務時間が30時間(32時間へ切り上げ)の診療所で、週3日・8時間勤務の者が1人の場合

$$\frac{8 \text{ 時間} \times 3 \text{ 日}}{32 \text{ 時間}} = 0.75 \text{ 人} \approx 0.8 \text{ 人 (小数点第2位を四捨五入)}$$

例2 1週間の通常の勤務時間が40時間の診療所で、週2日・5時間勤務の者が1人と週3日・3時間勤務の者が3人いる場合

$$\frac{(2 \text{ 日} \times 5 \text{ 時間} \times 1 \text{ 人}) + (3 \text{ 日} \times 3 \text{ 時間} \times 3 \text{ 人})}{40 \text{ 時間}} = 0.975 \text{ 人} \approx 0.9 \text{ 人 (小数点第2位を四捨五入)}$$


例3 計算の結果が、0.1人に満たない場合は、0.1人として換算。

職種		従事者数		職種		従事者数		
医師	常勤		人	歯科衛生士(常勤換算)		.	人	
	非常勤(常勤換算)		.		人	歯科技工士(常勤換算)		.
歯科医師	常勤		人	社会福祉士(常勤換算)			.	人
	非常勤(常勤換算)		.	人	介護福祉士(常勤換算)		.	人
薬剤師	(常勤換算)		.	人	言語聴覚士(常勤換算)		.	人
	保健師	実人数		人	精神保健福祉士(常勤換算)		.	人
(常勤換算)			.	人	診療放射線技師(常勤換算)		.	人
助産師	実人員		人	診療エックス線技師(常勤換算)		.	人	
	(常勤換算)		.	人	臨床検査技師(常勤換算)		.	人
看護師	実人数		人	衛生検査技師(常勤換算)		.	人	
	(常勤換算)		.	人	臨床工学技士師(常勤換算)		.	人
准看護師	実人数		人	あん摩マッサージ指圧師(常勤換算)		.	人	
	(常勤換算)		.	人	柔術整復師(常勤換算)		.	人
看護業務補助者(常勤換算)		.	人	栄養士(常勤換算)		.	人	
理学療法師(常勤換算)		.	人	その他技術員(常勤換算)		.	人	
作業療法士(常勤換算)		.	人	医療社会事業従事者(常勤換算)		.	人	
視能訓練師(常勤換算)		.	人	事務職員(常勤換算)		.	人	
義肢装具士(常勤換算)		.	人	その他の職員(常勤換算)		.	人	
<b>(19) 看護職員等の採用</b>		区分	H19.4 採用募集人数		募集人数のうち採用内定者数			
(H19.4 から常勤職員として勤務する看護職員等の募集人数等について、該当する人数を記入してください。)		看護師		人		.	人	
		准看護師		人		.	人	
		助産師		人		.	人	

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(20) 糖尿病診療スタッフの配置状況 (診療スタッフの常勤者の人数及び非常勤の有無について記入してください。)	区分		常勤	非常勤		
	01 日本糖尿病療養指導士認定機構その他の団体が認定する糖尿病療養指導士		人	1 有	2 無	
	02 糖尿病の診療に従事する管理栄養士		人	1 有	2 無	
(21) 糖尿病教育入院及び糖尿病教室(日帰り)の実施状況 (該当する番号一つを○で囲んでください。)	1 教育入院と日帰り教室の両方を実施している					
	2 教育入院のみを実施している					
	3 日帰り教室のみを実施している					
	4 いずれも実施していない					
(22) 糖尿病指導の実施状況 (糖尿病指導について、それぞれ該当する番号を○で囲んでください。)		1自院のスタッフのみで実施	2自院のスタッフと外部から招いた職員等で実施	3外部から招いた職員のみで実施	4外部機関に委託等して実施	
	01 運動指導	1	2	3	4	
	02 栄養(食生活)指導	1	2	3	4	
	03 禁煙指導	1	2	3	4	
	04 生活指導	1	2	3	4	
(23) 糖尿病にかかる関係機関との連携 (関係機関との連携状況すべてについて、該当する番号を○で囲んでください。なお、「1 有」を選択した場合は、付問についても該当する番号すべてを○で囲んでください。)	01 医療機関との連携	1 有	1 症例検討 2 その他			
		2 無				
	02 保健所、市町村保健センターとの連携	1 有	1 糖尿病関連会議等の参画		3 検診の協力	
		2 無	2 講演、健康教育の協力		4 その他	
	03 職域、産業保健部門との連携	1 有	1 糖尿病関連会議等の参画		3 検診の協力	
		2 無	2 講演、健康教育の協力		4 その他	
(24) 周産期医療の状況 (周産期医療について、該当する番号を○で囲み、H18.1.1 からH18.12.31までの1年間の件数を記入してください。)	01 周産期医療について 1 実施している 2 実施していない					
	実施している場合は次の項目について、それぞれ該当番号を○で囲み、件数を記入してください。					
	項目		対応の可否 該当番号に○	H18.1.1~ H18.12.31の件数		
	02 分娩		1 可 2 否			件
	03 母体搬送受入		1 可 2 否			件
	04 うち緊急搬送受入		1 可 2 否			件
	05 他の医療機関への母体搬送依頼件数		/			件
	06 他の医療機関への新生児搬送依頼件数					件
	07 妊婦健診		1 実施している	2 実施していない		
	(25) 精神医療の状況 (精神医療について、該当する番号を○で囲んでください。)	01 精神医療について 1 実施している 2 実施していない				
実施している場合は、次の項目について、それぞれ該当番号を○で囲んでください。						
02 精神科救急医療		1 実施している	2 実施していない			
03 アルコール依存症の専門的診療		1 実施している	2 実施していない			
04 薬物依存症の専門的診療		1 実施している	2 実施していない			
05 思春期の専門的診療		1 実施している	2 実施していない			
06 ストレス障害の専門的診療		1 実施している	2 実施していない			
07 てんかんの専門的診療		1 実施している	2 実施していない			
08 老年期精神疾患の専門的診療		1 実施している	2 実施していない			

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

<b>(26) リハビリテーション医療の実施状況</b> <small>(リハビリテーション医療について、該当する番号を○で囲み、また数値を記入してください。)</small>	01 リハビリテーション医療について	1 実施している	2 実施していない		
	 <b>実施している場合は、病床数、該当する番号すべてを○で囲んでください。</b>				
	02 リハビリテーション専用病床				床
	03 うち回復期リハビリテーション病棟				床
	<b>04 リハビリテーション施設基準の届出状況 (該当する番号すべてを○で囲んでください。)</b>				
	1 心大血管疾患リハビリテーションⅠ	6 運動器リハビリテーションⅡ			
	2 心大血管疾患リハビリテーションⅡ	7 呼吸器リハビリテーションⅠ			
	3 脳血管疾患等リハビリテーションⅠ	8 呼吸器リハビリテーションⅡ			
	4 脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	9 難病患者リハビリテーション			
	5 運動器リハビリテーションⅠ	10 障害児(者)リハビリテーション			
<b>(27) 災害対応の状況</b> <small>(災害対応のため、設置や備蓄を行っている事項について、該当するすべての番号を○で囲んでください。)</small>	1 自家発電装置	4 飲料水の備蓄	7 簡易ベッド	10 ヘリポート	
	2 貯水設備	5 食料の備蓄	8 非常用通信設備	11 医療救護班の編成	
	3 医薬品の備蓄	6 毛布の備蓄	9 非常用燃料	12 エアテント	
<b>(28) 医療機関との連携の状況</b> <small>(連携の状況について、該当する番号を○で囲み、また該当項目の箇所数を記入してください。)</small>  <small>※連携の内容は問いません。</small>	01 連携病院	1 有 <input type="text" value="箇所"/>	1 連携先を増やしたい		
		2 無	2 現状で十分		
	02 連携診療所	1 有 <input type="text" value="箇所"/>	1 連携先を増やしたい		
		2 無	2 現状で十分		
03 紹介患者について、連携先との定期的報告や連絡等の相互連携の実施			1 行っている		
			2 行っていない		
<b>(29) 患者紹介等の状況</b> <small>(1月中の該当件数・人数を記入してください。)</small>	<b>他の医療機関等への患者の診療情報の提供</b>				
	01 地域医療支援病院への提供			件	
	02 がん診療連携拠点病院への提供			件	
	03 特定機能病院への提供			件	
	04 その他の病院			件	
	05 診療所			件	
	06 市区町村・保健所・精神保健福祉センター			件	
	07 精神障害者社会復帰施設			件	
	08 介護保険施設			件	
	09 指定居宅介護支援事業者			件	
	10 保険薬局			件	
	<b>患者の紹介・転送状況</b>				
	11 貴院から病院へ紹介			人	
	12 貴院から他の診療所へ紹介			人	
	13 貴院から介護保険施設へ紹介			人	
	14 病院からの紹介患者の受入			人	
	15 他の診療所から紹介患者の受入			人	
16 介護保険施設から紹介患者の受入			人		
<b>(30) 外来患者への処方数</b> <small>(1月中の延べ回数を記入してください。)</small>	01 院内処方数				回
	02 院外処方せん交付数				回

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

(31) ジェネリック医薬品 (ジェネリック医薬品について、該当する番号を○で囲んでください。)	01 ジェネリック医薬品の使用	1 使用している 2 使用していない 3 検討中		
	02 ジェネリック医薬品の院外処方箋の交付	1 交付している 2 交付していない 3 検討中		
(32) その他の状況 (該当するすべての番号を○で囲んでください。)	1 院内がん登録を実施している			
	2 セカンドオピニオン外来を実施している			
	3 セカンドオピニオンに係る診療情報を提供している			
	4 栄養食事指導（糖尿病に対する指導を除く）を実施している			
(33) 電子カルテシステム※の導入状況 (該当する番号を○で囲んでください。)  ※電子カルテシステム： 診療録等の診療情報を電子化して保存・更新するシステム	電子カルテシステムを	1 医療機関全体として導入している	その活用状況の範囲で該当する番号をすべて○で囲んでください。 1 自施設内 2 患者への情報提供 3 他の医療機関等との連携	
		2 医療機関内の一部に導入している		
		3 導入予定がある		
		4 導入の予定はない		
(34) レセプト処理用コンピュータ (該当する番号を○で囲んでください。)	1 使用している			
	2 導入予定がある			
	3 導入の予定はない			
(35) ホームページ※の開設 (該当する番号を○で囲んでください。)  ※ホームページ： 共同設置，委託による設置を含みます。	1 開設している	掲載内容で該当する番号をすべて○で囲んでください。		
		1 医師等スタッフの情報		
		2 診療の実績		
		3 費用に関する情報		
		4 連携医療機関		
		5 セカンドオピニオンを求める患者への協力体制		
	2 開設予定がある			
	3 開設の予定はない			
(36) 遠隔医療システムの導入状況 (該当する番号を○で囲んでください。)	医療機関の間を通信でつなぎ、患者情報の送受信による画像診断や病理診断などの専門的診療支援。また、患者宅と医療機関を通信で結び、健康管理などを行う遠隔医療のための設備・体制について、該当する番号を○で囲んでください。			
	01 遠隔画像診断	1 導入している	2 検討中	3 導入していない
	02 遠隔病理診断	1 導入している	2 検討中	3 導入していない
	03 在宅療養支援	1 導入している	2 検討中	3 導入していない
(37) 受動喫煙防止対策の状況 (該当する番号を○で囲んでください。)	1 敷地内を全面禁煙としている			
	2 施設内を全面禁煙としている			
	3 精神科・療養病棟・緩和ケア病棟については喫煙場所を設置し、分煙を図り、その他の病棟については、原則禁煙としている			
	4 喫煙場所を設置し、分煙を図っている			
	5 何も措置を講じていない			

御協力ありがとうございました。

該当する番号を○で囲み、または該当項目に数値を記入してください。該当がない場合は、空欄のまま提出してください。

平成 18 年度  
福島県医療機能調査  
報告書

平成 19 年 3 月

調査主体：福島県 保健福祉部

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16  
TEL 024-521-7221/FAX 024-521-2191

集計・分析：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 11 番 11 号  
TEL 022-225-3871/FAX 022-225-3866